知多の自然観察

2016(平28)年 1月～12月

年　報

側溝の桝は絶好の観察ポイント

大きな蛇が泳いでた

知多自然観察会

－愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部－

はじめに

今年度も知多半島の自然環境に恵まれた場所が存在する、当地の観察会に近郷にお住まいの、自然の大好きな、自然保護に活動に感心のある方々のご参加を頂きまして実施された。この年報「知多の自然観察」2016（平成28）年度版は当観察会の各地域で開催された自然観察会記録と当会の活動内容を掲載いたしています。今年度は（公財）日本自然保護協会の自然保護活動「自然しらべ2016（海辺の花しらべ！）」と漂着物観察会（県自然観察指導員連絡協議会の交流会）を蒲池海岸で実施したことである。いずれも当地の特色、特徴を生かした観察会であり、漂着物については伊勢湾に流れ込む、木曽三川を始め、愛知県、三重県の各河川からと太平洋から海岸にたどり着いた自然物、人工物（ごみ）である漂着物の観察会で、一言に漂着物と表現されるが、自然に還元されると生物環境、生態系に悪影響を与える漂着物があり、大半のものは人間の生活環境による不法処理による物が目立ち、それらが自然破壊に繋がるものである。漂着物を観察すればその物体の関連先の自然環境が読み取れるのではないかと想定される現実を認識した観察会であった。

さて今年も異常気象が遠因による台風の影響で東北地方と北海道を襲う自然災害が発生しました。地球温暖化による異常気象や有用資源の枯渇などから地球環境が無尽蔵で無限でないことは明白です。また再生可能な資源を生かした資源開発は現実的でなく、不可能でありますから、開発か環境か二者拓一でなく、適正な（バランスの取れた）開発が望まれる中「将来のニーズを充たしつつ、現在の世代のニーズをも満足される開発」という意味を持つ「持続可能な開発（発展）」思考が提案されています。こうした開発が実現されているのが「持続可能な社会」となります。

上記の地球温暖化による異常気象や地球環境や目に見えない自然破壊を少しでも阻止しようと生物多様性、自然保護、環境保全に向けての観察会を効果的にする為に担当地域外の観察会、県協議会等の研修会に参加されて、自己研鑽されることをお願いします。特に思いますのは、親子を対象とした観察会で子供の目線での本物の自然観察です。子供は本来自然が大好きで、適正な年齢に合わせて、その潜在能力を伸ばしてあげることと自然環境の大切さを伝えることが重要であり私たち、指導員の役割ではないかと思います。

所詮人間は自然に生かされている生物でありますと同時に、生物の頂点であり生態系自然環境活動をコントロールのできるのが人間であります。一人ひとりが身近なことから出来る、地球にやさしい生活をして「人と自然の共生」に向けた行動を今から即、実践して行くことが大切です。「自然に学び」「自然を親しみ」「自然を守る」の自然保護活動の原点を再認識して、会員の皆様の日々地道に持続可能な活動していくことが大切であると思っています。

2017年1月　知多自然観察会代表　　南川　陸夫

目　　次

はじめに

		頁
1	目　　　次 ----------------------------------	2
2	編集について	3
3	知多自然観察会について	
	・概　　要	4
	・会　　則	5
	・総会報告書（2016.2.7 開催のもの）	6
4	2016年の事業計画（会員用）----------------------	9
5	支部担当の事業	14
6	ブロック担当の観察会	
	(1) 阿久比ブロック ------------------------	19
	(2) 大府ブロック	25
	(3) 武豊ブロック	26
	(4) 知多ブロック	34
	(5) 東海ブロック ------------------------	43
	(6) 常滑ブロック	48
	(7) 半田ブロック	55
	(8) 東浦ブロック	61
	(9) 美浜・南知多ブロック ------------------	66
7	臨時の観察会	73
8	調査活動	82
9	発表の場（会員の投稿記事）	84
10	編集後記	92

子どもの目の高さを意識して

編集について

知多自然観察会ＨＰのＵＲＬ

http://chitakan.com/

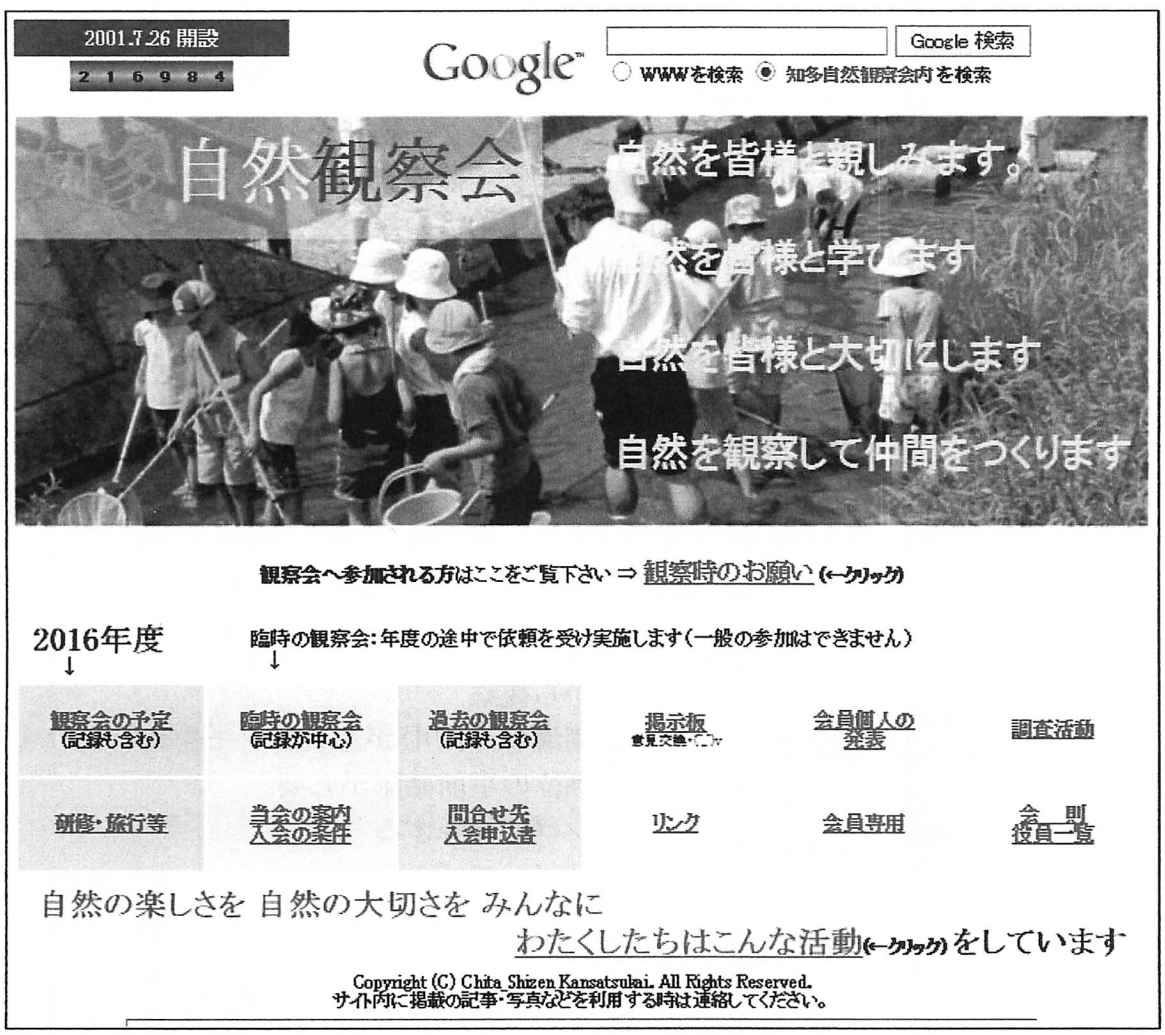
この「2016年　年報」は2016年１月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

従って、掲載の活動例などはホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと写真の多いページなどは２，３ページどころか１０ページ以上になるのもありますので、ここでは、すべて、最初の１ページに程よく収まる程度の分だけを印刷し掲載しました。そのため、掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知ください。

機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただきまして活動の実際の様子をご覧ください。

以下は知多自然観察会ＨＰのトップページです。



※2017.1.7 現在のトップページ

本 会 の 概 要

1．名 称 等

・会の名称　知多自然観察会　（愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部）
・設立年月　１９８２年５月
　　知多地方自然観察研究会の名称で発足（会員８名で発足）
・周年記念　1192.6　発足 10 周年記念大会開催（半田市勤労会館）
　　2002.5　　20 周年　　(知多市地域文化センター)
　　2012.11　　30 周年　　(　　〃　　)
・会則制定　2006.2.19 総会で承認
・総　　会　原則、毎年２月に開催
・事業年度　４月から翌年３月。ただし、会計年度は１月から１２月
・会　　員　８８名（2016.12.31 現在）
・役　　員　１５名（顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役）
・ブロック　９ブロック
　　（阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜・南知多）
・年 会 費　１，０００円

2．事業の実施状況（2016 年１月～１２月）

・支部担当事業　役員会、会員研修会、県民センター委託など…２１回
・自 然 観 察 会　本会主催観察会（各ブロック主催の観察会）…３２回
　　受 託 観 察 会（前年度に予約済の観察会）…６０回
　　臨 時 観 察 会（年度途中に要請の観察会）…約８回
・観察会の場所　公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
・一般参加者数　少ないとき…０～１家族(２，３名)　多いとき…数十名
　　当日指導員…２～10 数名(特別な場合は 20 数名)
・雨 天 の 場 合　雨天は原則中止。ただし、担当指導員およびほかの指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3．観察会の様子　原則、土曜または日曜　９：３０～１１：３０

・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝(or 小川)があればタモを入れたりする
・海岸…　〃　から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
・ 川 …　〃　から川へ移動。ハシゴで昇降する
・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
・ 夜 …日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

知多自然観察会　会則

(名　称)　第１条　本会は知多自然観察会と称する。
(目　的)　第２条　自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
(事　業)　第３条　前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
(会　員)　第４条　自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
(会　費)　第５条　会員は毎年５月末日までに会費を納入しなければならない。
(退　会)　第６条　退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
２．会費未納の者はその資格を失う。
(役　員)　第７条　本会には次の役員をおく。

顧　　問	若干名
代　　表	１名
副 代 表	若干名
世 話 役	市、町からの代表
庶　　務	１名
会　　計	１名
会計監査	２名

(役員の任期)　第８条　任期は一年とするが再任を妨げない。
(役員の選出)　第９条　代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
(役員の補充)　第 10 条　役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
(総　　会)　第 11 条　本会は毎年１回、原則２月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。
(役　員　会)　第 12 条　総会に代わる決議機関とする
(会計年度)　第 13 条　会計年度は毎年１月１日に始まり 12 月 31 日に終わる。
(役員の補充)　第 14 条　会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
(内　　規)　第 15 条　本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
(附　　則)　１　この会則は平成 26 年２月９日より実施する。
２　本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。
＊ 附則の１の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。
(覚え)　１　この会則の最初の制定日は平成 18 年２月 19 日である
(当日の総会で承認された)
２　平成 19 年２月 19 日の総会で７条を次のように変更した。
・世話役「市町代表…10 名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
・会計監査「１名」を上記条文の２名に変更
３　平成 23 年２月 13 日の総会で７条を次のように変更した。
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更

知多自然観察会　2016年総会　議事録

2016(平28)年2月7日 エスペランス丸山にて開催

1　開会のことば（榊原正）

2　代表あいさつ（南川）
3年目　今年も続投。今後とも協力体制をお願いしたい。

3　出席者自己紹介・・・資料6参照 32名出席　委任状48通受理　合計80名　当該総会は成立と宣言した。

4　議長、書記の選出
議長に吉房さん、書記に村瀬さんを選出した。

5　議事＝2015年度事業報告　　[年報の各ページ参照]
（1）主な事業の報告
1）支部行事に関する報告（平田）[p14]
漂着物、持ち寄り会は内容が充実していた。
役員会には、役員以外の出席もぜひ、お願いしたい。
2）ブロックの活動報告
・阿久比（平松裕）[p18]・・多数の参加を呼びかけたい。
・常滑（森田琢）[p23]・・・みどりの少年団受託した。
・知多（吉房）[p29]・・・会場により参加者のばらつきがあった。
・東浦（竹内秀）[p36]・・・内容により参加者が少なかった。
・半田（榊原正）[p42]・・・市環境課主催は40～50名の申し込みがあった。
・美南（田中達）[p47]・・・受託事業も好評だった。
・東海（平松俊）[p53]・・・好評のものもあるが、うちきりの対象（竹工作）になったものもある。
・武豊（畠）[p59]・・・観察会主催のものが天候（雨天）で中止となり、研修会になった。
・大府（村瀬）[p64]・・・受託事業を主に行っている。
3）臨時の観察会に関する報告（南川）　　ｐ６９・・・それぞれ大変好評だった。
4）調査活動に関する報告（平松俊）　　ｐ７６・・・東海市緑陽公園を前年度に引き続き実施し、予定通り進行できた
5）ホームページに関する報告（榊原正）　ｐ８０・・・例年通り各ブロックの報告を載せている。是非会員向けのページ部分も見ていただきたいし、投稿もお願いしたい。ホームページ関係で要望のある方は，榊原正までメールで連絡を。
6）年報作成に関する報告（榊原正）　　「掲示板、私の発表」等投稿があったものは、記載するようにした。感動したもの、皆さんに知らせたいもの等はぜひ投稿をお願いしたい。
（2）一般会計報告（森田琢）　　資料－1
（3）一般会計報告監査（牧野）　問題がなかったとの報告。
（4）委託金管理報告（南川）　　資料－2：通帳等詳細資料回覧
（5）特別会計報告（榊原正）　　資料－3：繰越金を一定程度に減らす方向で検討を進めている。

6．議事＝2016年度事業計画

（1）役員の選出

1）代表……南川さんが再選された。

2）会計監査…牧野、山田公子が選出された。

・代表あいさつ…後1年続投。皆さんのご協力の下にがんばりたい。

（2）　役員の委嘱＝会則により、南川代表が次の者に委嘱した。

1）顧問……降幡

2）副代表……榊原靖、榊原正

3）庶務……吉川勉

4）会計……森田琢

（3）世話役（ブロック正・副代表）が次のとおり選出された。

東海…平松俊、岩崎　　大府…村瀬、吉川洋　　知多…吉房、神野

東浦…竹内秀、岩本　　阿久比…平松裕、宮内　　常滑…中井三、森田琢

半田…榊原靖…榊原正　　武豊…畠、鈴木樹　　美南…田中達、永田孝

（4）各種担当の選出

年報…榊原正　　ホームページ…榊原正　　調査…平松俊

研修旅行…牧野　　持ち寄り会…榊原正　年間計画…（今年10月までに役員会で決めるのでそれまで未選出。）

（5）県協議会関係の役員

県協議会には、現在、以下の４人の理事と会計監査を派遣している。

理事/副会長……降幡

理事/支部代表……南川

理事/HP担当……永田孝

理事/名簿管理……森田琢

会計監査……榊原靖

（6）主な行事計画

1）支部全体の主な事業計画（吉川勉）

① 役員会　　：5月、7月、9月、11月、12月2回、1月の定例7回開催

② みどりの少年団　：10月15日（土）に開催、場所等は未定。

③ 研修旅行　　：春は6月4日（土）～5日（日）、及び秋は10月29日（土）～30日（日）

④ 調査活動　　：東海市緑陽公園にて、

一回目　：　4月24日（日）

二回目　：　7月10日（日）

三回目　：　10月9日（日）

⑤ 総会　　：2月5日（日）（2017年）

⑥ 持ち寄り会　　：3月11日（土）（2017年）

2）2016年度年間行事予定について　資料－4参照

変更分等については、本年度庶務…平田さんに2月20日（土）までに報告をする。

3）県協議会事業（南川）

①　あいちの自然観察会……6 支部協力をして観察会を開催するもので、昨年度は矢勝川で開催した。次年度は5月4日開催予定。

② 協議会交流の日……昨年度、犬山で開催。今年度は知多支部担当で11月3日（木…祝）漂着物　常滑市蒲池海岸で開催予定。

（7）2016年度　自然観察会活動に係る事業予算（森田琢）　資料－5

・ 特別会計の利用について（榊原正）

観察会時に必要なものの購入に対する補助を進めいていく方向で検討を進めている。

（8）その他／連絡等

1）会員名簿について（吉川勉）　資料－6

2）観察会時のリクレーション保険について（南川）　資料－7

…安全対策を確認、事故が起こった場合の対応を的確にして欲しい。

…傷害保険は、入院費と通院費は約款に沿って出るがそれ以外は出ない。内容について確認しておくこと。

…事前に下見等を行い事故の危険性について把握し、必要に応じて連絡を取っておくこと。

…県協議会の保険料は一人1回あたり 40 円。キチッと納めていただきたい。現在は南川代表が取りまとめてを行っている。

…このほかに、会員が指導者として損害賠償を請求される恐れがあるので、これをカバーするNACS－Jの「自然観察指導員災害保障制度」への加入を勧めたい。

3）会員の動向[昨年度の総会以降]（吉川勉）　p２参照

退会者：大川秀樹、宮原泰子、山本辰巳、五藤孝子、杉浦広志、竹内匡史、

入会者：井上育正、森下保男、森下栄子、藤井辰子、渡邊康晴

4）その他

① 特別会計からの観察会器具購入補助金（2,000円）について

○メールでの報告の際に、件名で「補助金…2,000円の要求」を明確にして欲しい。

○本年度の観察会への出席手当は1回あたり800円とする。

※例年は600円ぐらい。不足分は特別会計から補充する

② 県民センター観察会からの手当について

○出席手当は通常の観察会の倍額以上ある。

7、議長、書記の解任

＊情報交換＊（榊原正提案による）

○ ナンバンギセルの群生地についての報告（野村）……知多中学校付近の新しい道路の法面１００ｍぐらい両脇に、9月20日に撮影

○ オオバウマノスズクサがタンザワウマノスズクサだという報告（吉川洋）……葉の裏,花の色が異なる。ホームページで確認をしてほしい。

○ 巻貝の巻き方は、右巻き…左巻き？（榊原正）……キセルガイは左巻き、右巻きならオカチョウジガイ。

○ ハマベゾウムシ（４ｍｍぐらい）60年ぶりに知多で発見と新聞にあった（平田）……蒲池海岸でヒョウタンゾウムシを見たことはあるが……（平松俊）

○ 自家生産野菜の配布（降幡）

○ 愛知県の「侵略的外来種への対応について」のプリント…内容について各ブロックの観察会で周知してほしい（南川）

○ 庶務の変更により、連絡先が変更となったので周知を（南川）

8．閉会のことば（榊原正）

以上

2016(平28)年 （1月～12月） 事業計画

◎備　考

・種らん……募集＝知多自然観察会主催。受募＝市町等が主催、当日受付でも参加可。
受託＝市町等が主催、当日受付での参加は不可（事前申し込みが必要）

・保らん(保険)…協保＝県協議会へ保険金を納入

・担当らん……阿久＝阿久比、美南＝美浜・南知多、
県協＝県協議会＝愛知県自然観察指導員連絡協議会

・テーマらんの主催者…セレトナ→二ツ池セレトナ

・集合場所らん……セレトナ＝二ツ池セレトナ、
健康の森事務所＝あいち健康の森公園管理事務所、
みどり公園事務所＝大府みどり公園管理事務所、　　P＝駐車場

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/09(土)	研修		支部	「持寄り会」	阿久比中央公民館 9:30	榊原正(0569-21-7000)
2	16/01/10(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑨野鳥のおもしろ生態Ⅱ」●セレトナ(1/4)	セレトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
3	16/01/16(土)	打合		支部	「1月役員会」総会次第、役割分担	エスペランス丸山 13:30	庶務
4	16/01/23(土)	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)山田絹
5	16/01/23(土)	受託		東海	「公園の野鳥観察」●東海市施設管理協会　参加料100円	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
6	16/01/24(日)	募集	協	阿久	「朽木の虫を監察しよう」	エスペランス丸山P 9:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
7	16/01/24(日)	募集	協	武豊	「冬の風物・渡って来た海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)畠
8	16/01/30(土)	受募		知多	「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きものを観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	小島(0569-42-4537)山田絹
9	16/01/30(土)	打合		支部	「総会資料の印刷等」	青海公民館 13:30	庶務
10	16/01/31(日)	募集	協	常滑	「冬、雑木林の小鳥たち」	桧原公園東P 9:00	降幡(0569-43-8060)谷川
11	16/02/06(土)	受託		知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察しよう」●知多市こども未来館	知多市こども未来館 9:30	神野(080-5169-3964)平田
12	16/02/06(土)	受託		半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)山田和
13	16/02/07(日)	打合		支部	「知多自然観察会 総会」	エスペランス丸山 9:30	庶務
14	16/02/14(日)	受募	協	美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課 ハンマー、ﾊﾞｹﾂ、ルーﾍﾟ持参	JAあいち知多みさき支店P 9:30	河原(0569-82-2307)永田孝
15	16/02/20(土)	募集	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
16	16/02/21(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑩朽木にすむ虫たち」●セレトナ(2/14)	セレトナ 9:30	門脇(0562-46-6807)村瀬
17	16/02/27(土)	打合		支部	「総会議事録の印刷等」	青海公民館 13:30	庶務
18	16/02/28(日)	受募	協	美南	「冬鳥と旅鳥カワウの子育」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87-5661)永田孝

19	16/03/06(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑪野鳥のおもしろ生態Ⅲ」●セレトナ(2/29)	セレトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
20	16/03/20(日)	受募		常滑	「春の息吹、朽木でうごめく生きものたち」●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708) 赤石
21	16/03/21(月)	打合		県協	「愛知県自然観察指導員連絡協議会 総会」	未定	代表
22	16/04/02(土)	受募	—	東浦	「春の野山を見よう」●東浦町環境課	東浦高校正門前 9:30	岩本(0569-58-0952)竹内秀
23	16/04/03(日)	募集	協保	武豊	「息吹いっぱい・春の野山探検」	別曽池公園P 9:30	畑中(0569-72-4050)古川
24	16/04/10(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室①植物おもしろ講座」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
25	16/04/17(日)	募集	協保	阿久	「植物・野鳥・虫たちの躍動を感じよう」	エスペランス丸山P 9:30	牧野(090-9222-0109)平松裕
26	16/04/23(土)	募集	協保	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	加藤(0569-21-7702)榊原靖
27	16/04/23(土)	募集	協保	東浦	「竹の芽吹きを観察しよう」(自然環境学習の森)	自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
28	16/04/24(日)	研修	—	支部	調査活動-緑陽公園予定地生き物①	緑陽公園予定地P 13:30	平松俊(052-601-1491)
29	16/05/04(水)	募集	協保	支部	あいちの自然観察会(一斉観察会)中止	未定 9:30	未定
30	16/05/07(土)	受託	—	知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」●こども未来館	こども未来館 9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉川勉
31	16/05/14(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-1」●知多市環境政策課	中電知多火力発電所 9:30	南川(0569-42-5382)中井康
32	16/05/14(土)	受募	—	東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-84-6040)岩本
33	16/05/14(土)	打合	—	支部	5月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
34	16/05/15(日)	募集	協保	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
35	16/05/15(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室②昆虫おもしろ講座」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
36	16/05/15(日)	募集	協保	武豊	「初夏の生きものに会おう」	壱町田湿地P 9:30	原(0569-72-2377)伊藤伸
37	16/05/21(土)	受募	—	知多	「信濃川の生きものを観察を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	金内(0562-55-8614)野村
38	16/05/21(土)	受託	—	東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管理協会 参加料100円	上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)岩崎
39	16/05/21(土)	受募	協保	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美浜町環境保全課	時志観音P 21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛
40	16/05/22(日)	受募	協保	常滑	「湿地の食虫植物たち」愛知用水沿道 ●生きがい工房まなとこ	南陵市民センター P 9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
41	16/05/22(日)	受託	—	半田	「亀崎海岸の生き物観察」●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)牧野
42	16/05/28(土)	募集	協保	阿久	「春の阿久比板山湿地周辺の観察」	阿久比ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)伊藤祐
43	16/05/29(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
44	16/06/**	打合	—	支部	(みどりの少年団・林務課と初回打合せ)	未定	代表
45	16/06/04(土)	受募	協保	美南	「アオウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	小佐県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)森田博

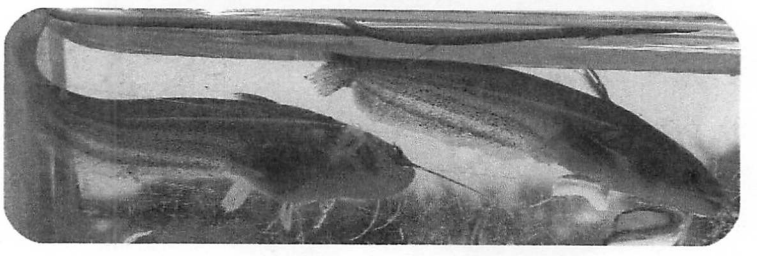
46	16/06/04(土)	募集	協保	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P 15:00	大矢晃(052-841-6048)田中達
47	16/06/04(土)	研修	—	支部	宿泊研修　1日目	未定	牧野、浅井一
48	16/06/05(日)	研修	—	支部	宿泊研修　2日目	未定	牧野、浅井一
49	16/06/11(土)	受募	—	東浦	「明徳寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-84-6040)山田公
50	16/06/12(日)	募集	協保	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
51	16/06/12(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
52	16/06/18(土)	募集	協保	武豊	「光り飛ぶホタルに会おう」	市原農村広場P 18:30	畠(0569-73-3518)鈴木樹
53	16/06/18(土)	受託	—	知多	「海辺の生きものを観察しよう」●こども未来館(干潮10:46)	新舞子海岸郷戸広場P 9:30	中井康(0569-43-0884)吉川勉
54	16/06/19(日)	受募	協保	常滑	「海辺のヤドカリたち」●生きがい工房まなとこ(干潮11:23)	蒲池漁港P 9:30	中井三(0569-42-2021)降幡
55	16/06/19(日)	受募	協保	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	奥田農協P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田寛
56	16/06/25(土)	受託	—	知多	「里山のヘイボタルを観察しよう」●こども未来館	水の生活館P 19:00	吉房(0562-55-9025)中井康
57	16/06/25(土)	受託	—	常滑	「雑木林のキノコたち」●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井三
58	16/07/02(土)	受募	—	東浦	「初夏の野山を見よう」●東浦町環境課	自然環境学習の森P 9:30	山田公(0562-83-3297)桑原
59	16/07/03(日)	募集	協保	武豊	「新川の生きものを探ってみよう」	福寿園西500m新川沿い 9:30	原(0569-72-2377)金内
60	16/07/03(日)	受募	協保	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	冨具崎港 P9:30	森田博(0569-87-0725)大矢晃
61	16/07/09(土)	受託	—	東海	「オオケマイマイを見よう」●東海市施設管理協会 参加料100円	しあわせ村玄関前 9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
62	16/07/10(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
63	16/07/10(日)	受募	協保	常滑	「里山のトンボたち」井間池・高砂山●生きがい工房まなとこ	南陵市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)森田琢
64	16/07/10(日)	研修	—	支部	調査活動-緑陽公園予定地生き物② 中止	緑陽公園予定地P 13:30	平松俊(052-601-1491)
65	16/07/15(金)	募集	協保	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086)水野利
66	16/07/16(土)	受募	協保	美南	「山海川生き物観察」●南知多町環境課	旧山海小学校P 9:30	田中達(090-1626-3231)森田博
67	16/07/16(土)	打合	—	支部	7月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
68	16/07/22(金)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室④灯火に集まる虫」●セレトナ	セレトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
69	16/07/23(土)	受募	—	知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	神野(0562-34-3964)藤井辰
70	16/07/30(土)	募集	協保	半田	「矢勝川の生き物観察」	修農公民館 9:30	榊原靖(0569-21-3497)石川
71	16/08/**	打合	—	支部	(みどりの少年団・林務課及び半田市と打合せ)	未定	未定
72	16/08/06(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JX日鉱日石 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)沖田

73	16/08/06(土)	募集	協保	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
74	16/08/07(日)	受募	協保	常滑	「川のメダカたち」前山川上流 ●生きがい工房まなとこ	青海市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)金内
75	16/08/07(日)	受託	—	半田	「稗田川・平地川の生き物観察」●半田市環境課	乙川東小学校 9:30	榊原正(0569-21-7000)加藤
76	16/08/13(土)	募集	協保	阿久	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聴こう」	知多バイクトライアルランドP 19:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
77	16/08/20(土)	募集	協保	武豊	「秋の鳴く虫と灯火に集まる虫を見よう」	武豊自然公園P 18:30	畠(0569-73-3518)平松俊
78	16/08/20(土)	受託	—	半田	「神戸川の生き物観察」●半田市環境課	青山記念武道館 9:30	榊原靖(0569-21-3497)鈴木汎
79	16/08/21(日)	募集	協保	東浦	「須賀川の生き物を探そう」	南部ふれあいセンターP 9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
80	16/08/27(土)	受募	協保	常滑	「雑木林で夜鳴く虫たち」 ●生きがい工房まなとこ	多賀神社P 19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊
81	16/09/03(土)	受託	—	知多	「水田や水路の生きものを観察をしよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	金内(0562-55-8614)吉川勉
82	16/09/03(土)	受募	協保	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	布土公民館P 9:30	斉藤(0569-82-3922)榊原靖
83	16/09/10(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-2」●知多市環境政策課	IHI愛知事業所 9:30	沖田(0562-55-7250)南川
84	16/09/11(日)	募集	協保	阿久	「秋の阿久比板山湿地周辺の観察」	阿久比ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)澁谷
85	16/09/17(土)	募集	協保	武豊	「実り近し・秋の野山探検」	別曽池公園P 9:30	鈴木樹(0569-72-1393)畠
86	16/09/17(土)	打合	—	支部	9月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
87	16/09/18(日)	募集	協保	常滑	「草原のバッタたち」大曽公園内	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708)平松俊
88	16/09/24(土)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑤秋の夜の虫たち」●セレトナ	セレトナ 17:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
89	16/09/25(日)	受託	—	東海	「秋の虫を探そう」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園テニスコート前P 9:30	平松俊(052-601-1491)森田琢
90	16/10/01(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-3」●知多市環境政策課	LIXIL知多事業所 9:30	中井康(0569-43-0884)近藤
91	16/10/01(土)	打合	—	支部	みどりの少年団・下見	半田運動公園第3P 13:30	榊原正(090-9336-3788)
92	16/10/02(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
93	16/10/02(日)	募集	協保	半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
94	16/10/08(土)	受託	—	東海	「公園のキノコ観察」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
95	16/10/08(土)	受募	—	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	高根の森P 9:30	山田絹(0562-34-8755)水野恭
96	16/10/09(日)	受託	—	知多	「身近にあるキノコを観察しよう」●こども未来館	旭公園北P 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
97	16/10/09(日)	研修	—	支部	調査活動-緑陽公園予定地生き物③ 中止	緑陽公園予定地P 13:30	平松俊(052-601-1491)
98	16/10/15(土)	臨研	—	県協	協議会交流の日・下見 ●知多自然観察会	蒲池漁港 P 14:00	榊原正(090-9336-3788)
99	16/10/15(土)	受託	—	支部	みどりの少年団・本番●愛知県知多事務所林務課 (雨天 半田市役所P 8:45)	半田運動公園第3P 9:10	榊原正(090-9336-3788)

100	16/10/16(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
101	16/10/16(日)	募集	協保	武豊	「木の実や枝・自然物で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	原(0569-72-2377)畑中
102	16/10/16(日)	募集	協保	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川(0569-23-1101)牧野
103	16/10/22(土)	募集	協保	東浦	「秋の野山を見よう」	東浦高校正門前 9:30→飛山池	竹内秀(0562-83-9023)岩本
104	16/10/29(土)	研修	—	支部	宿泊研修　1日目　奥三河方面	未定	牧野、浅井一
105	16/10/30(日)	研修	—	支部	宿泊研修　2日目　奥三河方面	未定	牧野、浅井一
106	16/11/03(木)	募集	協保	県協	協議会交流の日「漂着物の観察会」蒲池海岸　※雨でも実施	蒲池漁港P 役員 8:45　会員10:00	降幡(0569-43-8060)
107	16/11/05(土)	受託	—	東海	「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園多目的室 9:30	早川(052-602-2992)降幡
108	16/11/05(土)	受募	—	東浦	「森の宝物で工作」材料費100円 ●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	山田公(0562-83-3297)田中央
109	16/11/05(土)	打合	—	支部	11月の役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務
110	16/11/06(日)	協力	—	大府	「セレトナフェスタ」(自然観察ガイドミニツアー)●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
111	16/11/19(土)	募集	協保	武豊	「遥か渡ってきた鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸
112	16/11/20(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑦小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
113	16/11/26(土)	募集	協保	知多	「日長神社の紅葉谷を愛でよう」	日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)霜鳥
114	16/12/03(土)	打合	—	支部	12月①役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務
115	16/12/04(日)	募集	協保	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
116	16/12/04(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑧野鳥のおもしろ生態Ⅰ」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
117	16/12/10(土)	募集	協保	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
118	16/12/17(土)	打合	—	支部	12月②役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務

支部担当の事業　2016(平28)年　(1月～12月)

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/09(土)	研修	—	支部	「持寄り会」	阿久比中央公民館 9:30	榊原正(0569-21-7000)
2	16/01/16(土)	打合	—	支部	「1月役員会」総会次第、役割分担	エスペランス丸山 13:30	庶務
3	16/01/30(土)	打合	—	支部	「総会資料の印刷等」	青海公民館 13:30	庶務
4	16/02/07(日)	打合	—	支部	「知多自然観察会 総会」	エスペランス丸山 9:30	庶務
5	16/02/27(土)	打合	—	支部	「総会議事録の印刷等」	青海公民館 13:30	庶務
6	16/03/21(月)	打合	—	県協	「愛知県自然観察指導員連絡協議会 総会」	未定	代表
7	16/04/24(日)	研修	—	支部	調査活動-緑陽公園予定地生き物①	緑陽公園予定地P 13:30	平松俊(052-601-1491)
8	16/05/14(土)	打合	—	支部	5月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
9	16/06/**	打合	—	支部	(みどりの少年団・林務課と初回打合せ)	未定	代表
10	16/06/04(土)	研修	—	支部	宿泊研修　1日目・宿泊研修　2日目	未定	牧野、浅井一
11	16/07/16(土)	打合	—	支部	7月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
12	16/08/**	打合	—	支部	(みどりの少年団・林務課及び半田市と打合せ)	未定	未定
13	16/09/17(土)	打合	—	支部	9月役員会	エスペランス丸山 13:30	庶務
14	16/10/01(土)	打合	—	支部	みどりの少年団・下見	半田運動公園第3P　13:30	榊原正(090-9336-3788)
15	16/10/15(土)	臨研	—	県協	協議会交流の日・下見 ●知多自然観察会	蒲池漁港 P 14:00	榊原正(090-9336-3788)
16	16/10/15(土)	受託	—	支部	みどりの少年団・本番●愛知県知多事務所林務課 (雨天　半田市役所P 8:45)	半田運動公園第3P 9:10	榊原正(090-9336-3788)
17	16/10/29(土)	研修	—	支部	宿泊研修　1日目　奥三河方面・宿泊研修　2日目	未定	牧野、浅井一
18	16/11/03(木)	募集	協保	県協	協議会交流の日「漂着物の観察会」蒲池海岸　　※ 雨でも実施	蒲池漁港P 役員8:45　会員10:00	降幡(0569-43-8060)
19	16/11/05(土)	打合	—	支部	11月の役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務
20	16/12/03(土)	打合	—	支部	12月①役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務
21	16/12/17(土)	打合	—	支部	12月②役員会	事前に庶務から案内 13:30	庶務



持ち寄り会

・2016(H28)年1月9日（晴れ） 阿久比中央公民館304号室にて

・出席者：19名 〔午前…17名。午後（3名帰って、2名出席）…16名〕
浅井一、岩本、大矢晃、大矢美、桑原、榊原靖、榊原正、鈴木汎、竹内秀、
竹内大、田中央、永田孝、畠、平田、平松俊、降幡、南川、森田琢、吉房

・日程および内容は、事前にメールで開催案内を兼ねて連絡
・持ち寄り発表会は事前の案内通り実施
・持ち寄り談義の内容は当日の参加者次第で展開

・日程および内容
※会場準備 ～9:45

(1)持ち寄り発表会 9:45～11:20
① 調査報告（緑陽公園予定地の昆虫調査） 平松俊彦
② 地震雲について 吉房 瞳
・学会で発表したレポートをプレゼン
③ キツネ調査-その後-の報告 南川陸夫
④ 離島の螢探検～菅島、与那国島、
壱岐・対馬（ツシマヤマネコに遭遇）～ 平田秀彦

(2)昼食休憩 11:20～13:00
a.弁当持参OK
b.持参しない人は外食→例年は最寄りの中華飯店へ
c.なお、この時間に、色々な持参物を展示、試食、説明

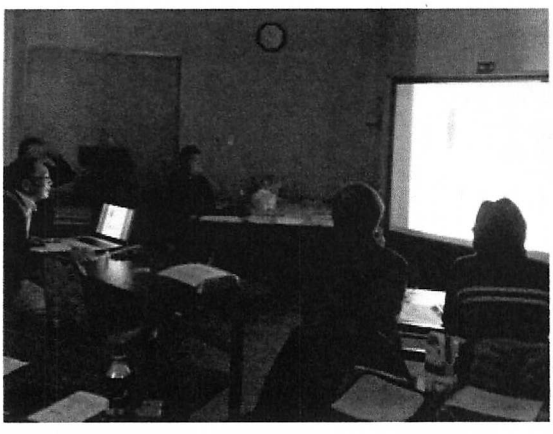
(3)持ち寄り談義 13:00～15:10
① 前段のc.の続き
・色々な持参品の紹介（持参した人が紹介する）
・持参品のプレゼント（すてきなお土産もあり）
※持参品等…下段の写真参照

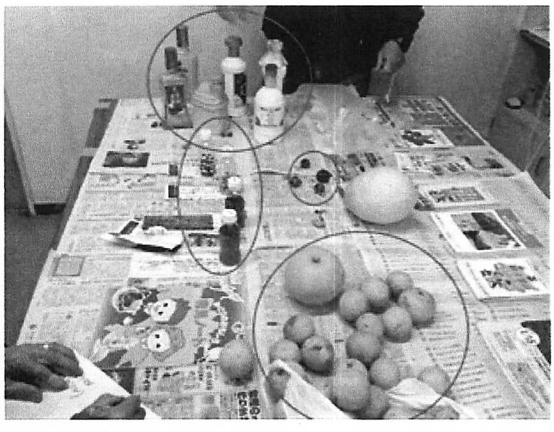
● プラナリアの現状（予定では午前の部であった）榊原 靖
→外来プラナリアの話（実物を持参して説明）
② タブレットパソコンの活用事例……森田琢磨
③ パソコンにかかわる質疑応答
・Windows10への変更について質問があった
④ コウノトリ、ウミウシ、ウミサボテン等の映像…大矢 晃
・コウノトリの名前は…はなちゃん。居場所はネット上で判る
・はなちゃんの背中に居場所発信器が見える写真を提供
⑤ 象牙椰子、緬茄（メンガ）について……榊原正躬
・不思議な果実で、話はそれなりに盛り上がった

(4)会場の後片付け 15:10～15:20

※写真をクリック→ビッグサイズの写真

＜活動の様子＞





【行事名】 知多支部　親睦研修旅行　木曽の自然をたずねて

【日　時】 2016年6月4日(土)～5(日)
【場　所】　　＜1日目＞
　　城山史跡の森　→　宿:木曽駒天神温泉青雲荘
　　＜2日目＞
　　山本のハナノキ→　飯田美術博物館　→　猿庫の泉　→　大平宿
【天　気】 1日目　曇り・2日目　雨
【担　当】 牧野
【参加者】 15名
　(指導員:降幡、南川、桑原、永田、吉房、浅井、村瀬、今西、吉川洋、森下、森下栄、鈴木汎、吉川勉、藤井、牧野)
【内　容】
　天気を気にしながらのスタート。まず、一路木曽町福島の「城山史跡の森」を目指しました。
　登り始めしばらくするとモミやツガの森。植物を中心とした観察をしながらの行程です。ヒメコウゾの実、クサノオウ、オドリコソウ、エイザンスミレ、ナルコユリ、ラショウモンカズラ等。フタリシズカ、フタバアオイの花は見ごろでした。また、カツラの大樹は幹回りを計測し、なんと5メートル越えの巨木もありました。昆虫は、ウスバシロチョウ、カワゲラ類などと遭遇。
　昼食は、木曽義仲が御嶽権現の出現を願い沐浴したと伝えられる「権現滝」を見ながら摂りました。ここでは、木曽路トレッキングイベントの「パズルラリー」のパズルを発見。この企画は、2017年11月までに木曽6市町村のポイントに設置されたパズルを集めるとミニ浮世絵が完成するというもの。各々パズルの一片を手にしました。
　1281mの児野山三角点までは、サワラの森林。下草は、ハシリドコロ、ハンショウズル、フユイチゴ、オシダなど。山頂付近では、御嶽山をはっきり見ることができました。
　山城、福島城跡は、本丸・二の丸・三の丸の跡として県の史跡指定を受けているようです。ここまででかなり時間オーバー、急いで下山し、待機組と木曽義仲公の墓のある興禅寺で合流しました。
　今回の宿は、木曽駒天神温泉青雲荘という温泉宿。夕食は、バーベキューで満足。
　2日目は、朝から雨。軽く宿泊施設の庭を散策。一部に金属色のあるタテハの蛹、樹脂に閉じ込められた昆虫などを観察。また、敷地の一角にとても人に慣れたイノシシが飼われていました。
　飯田の向かい「山本のハナノキ」を雨の中見学。この木は、高さ約23m枝の広がりは東西22mで自生の木の中で最大といわれています。推定樹齢300年で長野県の天然記念物となっています。
　本降りの雨の中、飯田市美術博物館へ。学芸員の村松さんの案内で飯田ゆかりの画家の作品や写真展示、自然系コレクションなどを観賞。
　その後、名水百選、猿庫の泉にて名水を賞味。繭から羽化したてのガやヘビに遭遇。
　最後は、大平宿へ。様々な営みを行っていた家々が残るこの古い宿場町は、現在廃村となっていますが、電気・水道が使用でき宿泊できる江戸時代の建物群となっているようです。
　村の方にお話を伺いながら宿泊施設やギョウジャニンニクや巨大サルノコシカケ等を見せていただきました。
　今回の城山は、観察会の旅行の中でも結構ハードな道のりでした。そしてあまり天気の良くない中でも有意義な観察会研修旅行になったと思います。(記・牧野)
【親睦研修旅行の様子】

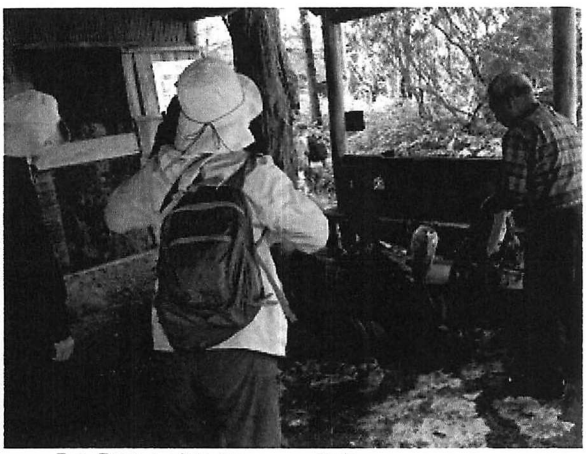
【左】児野山三角点を前に

【右】「山本のハナノキ」(国天)

【行事名】「奥三河の自然をたずねて」　支部親睦研修旅行

【日　時】 2016年10月29日(土) ～ 10月30日(日)
【場　所】 東海市大池公園⇒棚山高原⇒栗代鉱山⇒奥三河総合センター(泊)⇒ 設楽町川向(水晶)⇒東栄町総合文化センター(博物館・花祭会館)⇒面の木⇒ 東海市大池公園
【天　気】 晴れ
【担　当】 牧野
【参加者】　 8名
　(指導員:牧野・南川・桑原・降幡・吉房・浅井一・藤井辰・竹内秀・永田・)
【内　容】
　準備中(記・)
【観察会の様子】

【左】谷川で岩石観察

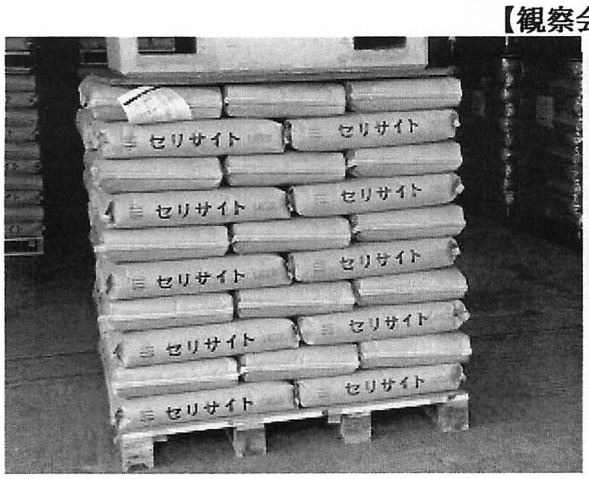


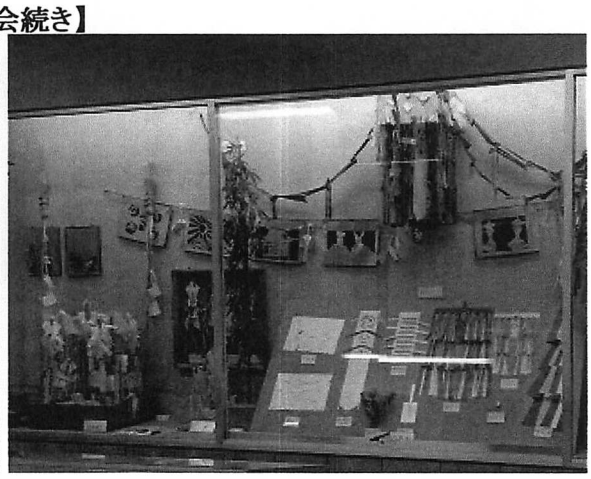
【右】棚山高原キャンプ跡

【左】瀬戸岩

【右】栗代鉱山

【観察会続き】





【行事名】「漂着物観察会」　　あいち自然観察会の交流会

【日　時】 2016年11月3日(木・祝) 9:30～11:30
【場　所】 常滑市蒲池海岸⇒蒲池コミュニティーセンター
【天　気】 晴れ、風やや強し
【担　当】知多支部
【参加者】 計36名 (知多20　名古屋10　　尾張3　　西三河2　東三河1
　　(指導員:榊原正、榊原靖、竹内秀、中井三、畠、降幡、牧野、南川、森田琢、吉川勉、吉房、大矢晃、鈴木汎、森下栄、森下保、桑原、山田和、斉藤、田中央、藤井、)
【内　容】
　知多支部が担当し、講師として漂着物の専門家である林 重雄(はやししげお)先生(漂着物学会会員)をお迎えし、次のような日程で交流会が行われました。

1＜受付＞09:40～10:00
2＜開会行事＞ 10:00～
　　・協議会会長あいさつ
　・知多自然観察会代表あいさつ
　　・講師紹介
・講師あいさつ
3＜海岸での漂着物観察会＞ 10:15～11:00
　・蒲池海岸…昨今の現状…
　・観察会の方法の説明
　・講師を囲んで、漂着物採集
…　フィールドサークルへ漂着物を置く
4＜講師による説明・解説＞11:00～11:20
・フィールドサークルで講師による説明・解説
5＜観察会の閉会行事＞11:20
6＜蒲池コミュニティーセンターへ＞11:30
7＜ 昼食、懇親、情報交換 ＞11:30～13:30
・講師による展示された漂着物の解説
　・漂着物モビール作り
8＜各支部活動の紹介＞13:30～13:50
　9＜閉会行事＞13:50～14:00
　・協議会会長あいさつ
　・知多自然観察会代表あいさつ
　・記念写真

林 重雄　先生のホームページ
http://beachcomberjp.jimdo.com/
http://beachcomb.exblog.jp/

【交流会の様子】

【左】受付

【右】 開会式

阿久比ブロッグ観察会　2016(平28)年　(1月～12月)

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/24(日)	募集	協	阿久	「朽木の虫を監察しよう」	エスペランス丸山P 9:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
2	16/04/17(日)	募集	協保	阿久	「植物・野鳥・虫たちの躍動を感じよう」	エスペランス丸山P 9:30	牧野(090-9222-0109)平松裕
3	16/05/15(日)	募集	協保	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
4	16/05/28(土)	募集	協保	阿久	「春の阿久比板山湿地周辺の観察」	阿久比ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)伊藤祐
5	16/06/12(日)	募集	協保	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
6	16/08/13(土)	募集	協保	阿久	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聴こう」	知多バイクトライアルランドP 19:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
7	16/09/11(日)	募集	協保	阿久	「秋の阿久比板山湿地周辺の観察」	阿久比ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)澁谷
8	16/12/04(日)	募集	協保	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野

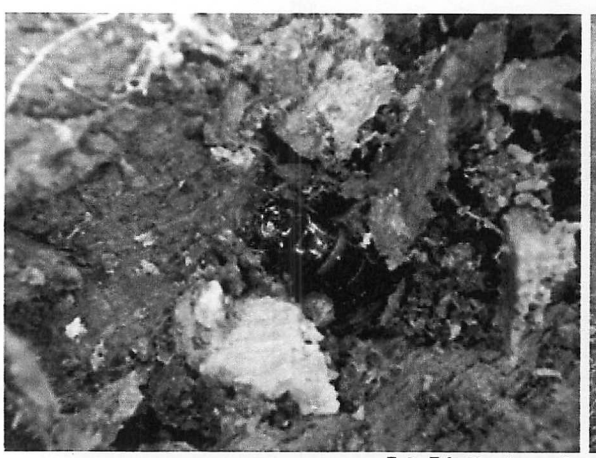
【行事名】「朽木の虫を観察しよう」　● 阿久比ブロック主催

【日　時】 2016年1月24日　 9:30～11:20
【場　所】 エスペランス丸山～箭比神社
【天　気】 晴天
【担　当】 平松裕、浅井一
【参加者】 一般　一般　大人　4　名，　子ども　3　名
（指導員：榊原正、浅井一、森下保男、森下栄子、牧野靖子、平松裕）
【内　容】
晴れていても寒い日でした。観察コースを歩く足取りも早くなりがちでした。
日差しのある風のない場所で何かの蛹やハエ、うどんげ（クサカゲロウの卵）などを観察しました。
子どもたちは氷をが張っているのを素手で掴んだり、水たまりの氷で遊んだりして元気でした。
朽木の虫はあまり見つからなかったし、正躬先生がキセル貝とオカチョウジガイを探していたがそれも見つかりませんでした。虫が入りやすい硬さの朽木が少ないのでしょうか？
道中美しいサネカズラの脇にフユイチゴを見つけてみんなで味わいました。

【観察した生き物】
◎昆虫　ダンゴムシ、トビズムカデ、ハサミムシ、キマワリ幼虫、モリチャバネゴキブリ、ミミズ、ジグモの仲間……（以上は朽ち木の中から）
クサカゲロウ卵抜け殻、イモムシ（セセリチョウの仲間？）、ハエの仲間、
◎植物　ヤシ、カワラタケ、茶色いキノコ、サネカズラ、フユイチゴ
◎鳥類　ハクセキレイ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、コゲラ

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつ　　【右】林内で冬眠中の虫探し。なかなか、いない



【左】朽ち木の中にキマワリの幼虫
【右】垂直な土手でいちご狩り（フユイチゴの実）。写真クリック→ビッグサイズ

【観察会の様子−追加】

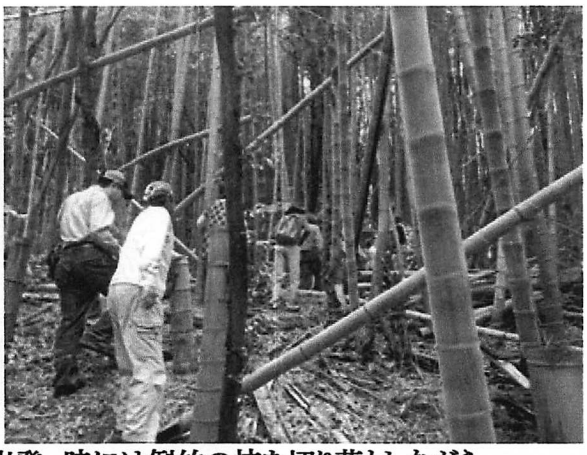
【行事名】「竹林であそぼう」　● 阿久比ブロック主催

【日　時】 2016年5月15日　 9:30～11:40
【場　所】 洋菓子サリュー近くの竹林
【天　気】 晴れ
【担　当】 平松裕、榊原正
【参加者】 一般　一般　大人　4　名，　子ども　6　名
（指導員：伊藤岱、門脇、榊原正、鈴木汎、平松裕、牧野靖子）
【内　容】
小雨でも竹林遊びはできないので天気だけが気がかりであったが数日前からその心配もなく当日となった。
常連の2家族と新規の2家族の参加があり、よかった。何がよかったかと言えば、子どもたちが遊具（？）でしっかり遊んでくれてこと…(^o^)/
（※指導員だけでは、せっかく遊具も表舞台に出られなかったので…）
新規の2家族には遊具ではないが孟宗竹の“皮はがし”を親子で頑張っていた。きっと、何かに使う目的があるのでしょう。
子どもたちはそれぞれ遊びの最中であったが、竹林探検に出かけた。小さい子どもほどこういう危険な道が好きだ。
コースの終了後、孟宗竹を1本切り倒し、それを目的の長さに切り取ったモノをお土産にして出発点に帰った。

以上が「竹林で遊ぼう」の概要ですが、実は、この観察会は集合場所（出発点）で楽しみがあるのが特色です。
・一つは、ヤギさんにえさやり
・それと、桑の実の試食
ほかにも、子ども相手用の草花遊び、葉っぱ遊びがありますが、とてもヤッテるような時間はとれません。（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】開始前。ヤギさんと遊ぶ。ヤギさんは桑の葉が大好き　【右】桑の実摘(つ)み→試食



【左】ハンモック遊び　　【右】竹林探検に出発。時には倒竹の枝を切り落としながら…

【観察会の様子−追加】

【行事名】 春の板山湿地周辺を観察しよう

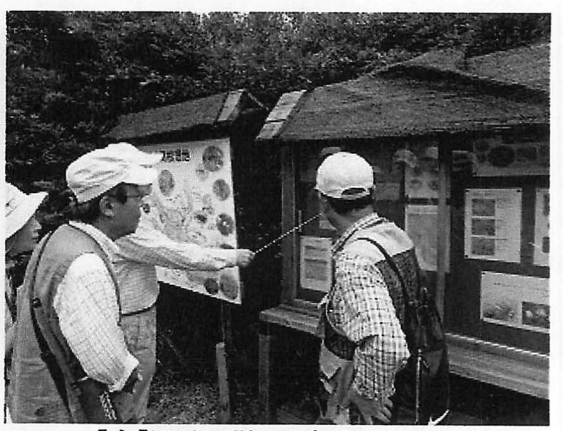
【日　時】 2016年5月28日（土） 9:30～12:00
【場　所】 阿久比ふれあいの森⇔板山湿地
【天　気】 曇り
【担　当】 宮内、伊藤祐
【参加者】 一般　1名　（大人1名）
　　（指導員：伊藤祐、宮内、降幡、古川、大矢、浅井(一)、岩本、森下夫妻）
【内　容】
　天候もどんよりとした週前半の暑さはなく観察には適している。出発前の挨拶とコースの説明をして予定時間の5分後に8名で出発する。少し遅れて2名が合流、樹木の花を見るには少し遅くネジキ、ハゼノキ、ネズミモチ、ノイバラ、ウメモドキの花を見る。すでに小さな実を付けているものが多くヤマクワについては色も付き食べごろ、皆で賞味するが感想の言葉は「まずい・・」誰一人、美味しいとの言葉は聞けませんでした。湿地では、日差しを浴びていればピンクのトウカイコモウセンゴケの花が見られるが天候のせいで残念ながらチラホラ。しかし食虫植物だけに腺毛で小さな虫をゲットしている状態を見る事が出来ました。今年はハッチョウトンボの数も多く通路から手の届く位置で見る事が出来、♂・♀撮影には最高でした。おそらく皆さん良い写真が撮れたと思います。また最近は外来種について耳にするが湿地内でもモウセンゴケの仲間であるナガエノモウセンゴケが猛烈に繁殖している現実を目にする。帰り道で竹藪の側に置かれている箱のミツバチの話題ではこの場所で何の花の蜜を求めて飛んでいるのだろうかと話しながら予定の時間に帰着しました。（記・宮内）

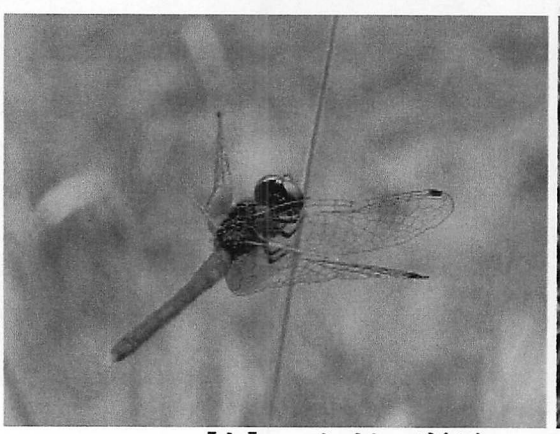
【観察した生き物】

◎植物
　キキョウソウ、サンゴジュ、ツルウメモドキ、ヤブジラミ、スイカズラ、イヌビワ、トラベ、カクレミノ、ヤナギハナガサ、ニワウルシ（シンジュ）、カクレミノ、リョウブ、カラスザンショ、アカメガシワ、ムラサキシキブ、クサギ、カマツカ（ウシコロシ）、ヤマモモ、マンテマ、オオバヤシャブシ、ヤマウルシ、ヌルデ、クマシデ、ナツハゼ、モチノキ、イボタノキ（トスベリノキ）、タブノキ、ツルニチニチソウ、ウラジオ、サルトリイバラ、ナワシログミ、クロバイ、ヒナギキョウ、ゲッケイジュ、シラタマホシクサ、モウセンゴケ、ミズゴケ、ササユリ、イソノキ、サワフタギ、ハクサンボク、スイレン、カンアオイ、ヒヨドリンバナ、サワヒヨドリ、マンリョウ、シャシャンボ、ミツバアケビ、アケビ、ツクバウツギ、ムクノキ、クコ、
◎昆虫
ハラビロトンボ、シオカラトンボ、ハッチョウトンボ
◎その他
　アメリカザリガニ、カタツムリ、イタチの糞、ザトウムシの仲間

【観察会の様子】

【左】板山湿地の生育観察


【右】湿地の様子を解説


【左】ハッチョウトンボ（♂）

【右】ハッチョウトンボ（♀）

【行事名】「福山川の生き物は今年も元気かな」　● 阿久比ブロック主催

【日　時】 2016年6月12日　　9:30～11:00
【場　所】 阿久比板山公民館、福山川
【天　気】 曇り
【担　当】 平松裕、浅井一
【参加者】 一般　一般　大人　5　名，　子ども　4　名
（指導員：浅井一、門脇、金内、榊原正、鈴木汎、田中和、田中央、平松裕、森田博）
【内　容】
薄曇りで、川に入るのには最適な気候でした。集合場所の公民館で資源ごみの回収日と重なってしまい迷惑をかけてしまいました。指導員も一般の参加者もたくさん来てくれたのに種類としては過去最少だったように思われます。採集場所の様子はあまり変化を感じないので、上流の荒れ方がひどいのでしょう。種類が少ないせいか早めに川から上がり分かち合いで金内さんの説明を聞きました。初参加の子どもが楽しんでくれたのが救いです。（記：平松裕）

【観察した生き物】
◎両生類・爬虫類：ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、ウシガエル、ナゴヤダルマガエル、ヌマガエル、オタマジャクシ(ウシガエル、ヌマガエル)
◎魚類：タモロコ、オイカワ、ドジョウ、メダカ
◎水生昆虫、昆虫：コオイムシ、ハグロトンボ幼虫、シオカラトンボ幼虫、ギンヤンマ？
◎貝類。その他：カワニナ、オカモノアラガイ、アメリカザリガニ

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつ　　【右】採集の様子

【左】ミニ水族館をみる（きれいな水が効果を高める）【右】獲物を一つずつ順番に説明

【観察会の様子−追加】

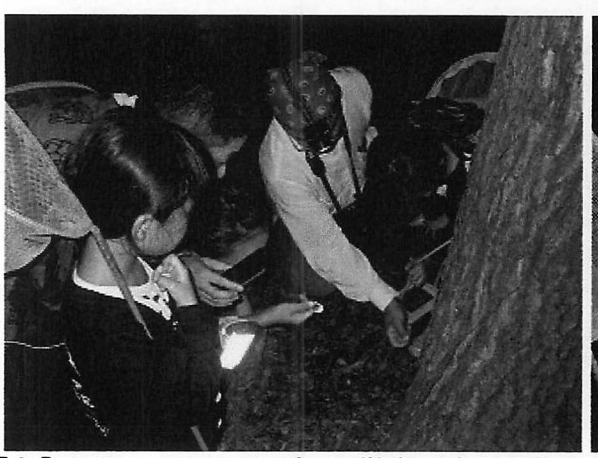
【行事名】「灯火に集まる虫の観察と虫の声」　● 阿久比ブロック主催

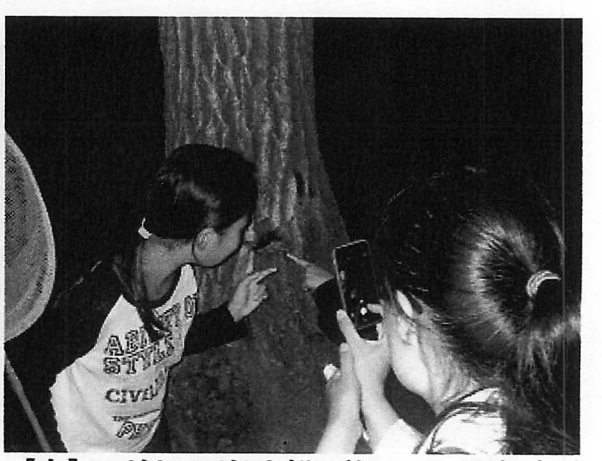
【日　時】 2016年8月13日　　19:30～21:30
【場　所】 阿久比町知多バイクトライアルランドP
【天　気】 晴れ
【担　当】 平松裕、平松俊
【参加者】 一般　大人　2　名，　子ども　2　名
（指導員：　榊原正、平松俊、平松裕）
【内　容】
今年は、場所を変えて初めての灯火採集で、何が来るか期待の始まりでした。Facebookでの呼びかけも初めての試みで、なんと弥富から虫好きの一家がやってきました。正躬先生と下見してみつけたノコギリクワガタは夜までいて掴みあげると、下にメスがいてびっくり。子どもたちはバッタやセミ、カマキリなどを捕まえては体にくっつけたりして楽しんでいました。虫好き家族との観察会はとても楽しかったです。（記：平松裕）

【観察した生き物】
クマゼミ、アブラゼミ、アオドウガネ、カブトムシ♀、ヒメコガネ、ミツカドコオロギ、エンマコオロギ、キリギリス、ノコギリクワガタ、ヨツボシケシキスイ、トビイロマルハナノミ、ヒメガムシ、ハネカクシ、ハマベアワフキ、ガガンボ、ヒメカメノコテントウ、チャタテムシ、スジベニコカゲ、シロモンノメイガ、コケガの仲間、アオシャクの仲間、ミズアブ、ヨコバイの仲間、クサギカメムシ、ハマキガの仲間、ムラサキオオゴミムシ、ハラビロカメムシ、モリチャバネゴキブリ、ハラビロカマキリ、コカマキリ、サビキコリ、
写真に収めた昆虫の全部を掲載→ここ　※ご覧ください

【観察会の様子】

【左】昆虫大好き家族(4人)の前で始めのあいさつ　【右】ナイトハイク。キリギリスつかみに挑戦





【左】ナイトハイク。トタテグモの巣（ふた）を説明　【右】ノコギリクワガタを観る（ちょっと、興奮ぎみ）

【観察会の様子−追加】
＜●ナイトハイク＞

大府ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/10(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑨野鳥のおもしろ生態Ⅱ」●セレトナ(1/4)	セレトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
2	16/02/21(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑩朽木にすむ虫たち」●セレトナ(2/14)	セレトナ 9:30	門脇(0562-46-6807)村瀬
3	16/03/06(日)	受託		大府	「セレトナの森の研究室⑪野鳥のおもしろ生態Ⅲ」●セレトナ(2/29)	セレトナ 9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
4	16/04/10(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室①植物おもしろ講座」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
5	16/05/15(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室②昆虫おもしろ講座」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
6	16/05/29(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
7	16/06/12(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
8	16/07/10(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
9	16/07/22(金)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室④灯火に集まる虫」●セレトナ	セレトナ 19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
10	16/09/24(土)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑤秋の夜の虫たち」●セレトナ	セレトナ 17:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
11	16/10/02(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
12	16/10/16(日)	受託	—	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
13	16/11/06(日)	協力	—	大府	「セレトナフェスタ」(自然観察ガイドミニツアー)●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
14	16/11/20(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑦小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
15	16/12/04(日)	受託	—	大府	「セレトナの森の研究室⑧野鳥のおもしろ生態Ⅰ」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇

武豊ブロック観察会　2016(平28)年　(1月～12月)

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/24(日)	募集	協	武豊	「冬の風物・渡って来た海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)畠
2	16/04/03(日)	募集	協保	武豊	「息吹いっぱい・春の野山探検」	別曽池公園P 9:30	畑中(0569-72-4050)古川
3	16/05/15(日)	募集	協保	武豊	「初夏の生きものに会おう」	壱町田湿地P 9:30	原(0569-72-2377)伊藤伸
4	16/06/18(土)	募集	協保	武豊	「光り飛ぶホタルに会おう」	市原農村広場P 18:30	畠(0569-73-3518)鈴木樹
5	16/07/03(日)	募集	協保	武豊	「新川の生きものを探ってみよう」	福寿園西500m新川沿い 9:30	原(0569-72-2377)金内
6	16/08/20(土)	募集	協保	武豊	「秋の鳴く虫と灯火に集まる虫を見よう」	武豊自然公園P 18:30	畠(0569-73-3518)平松俊
7	16/09/17(土)	募集	協保	武豊	「実り近し・秋の野山探検」	別曽池公園P 9:30	鈴木樹(0569-72-1393)畠
8	16/10/16(日)	募集	協保	武豊	「木の実や枝・自然物で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	原(0569-72-2377)畑中
9	16/11/19(土)	募集	協保	武豊	「遥か渡ってきた鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	

【行事名】 冬の風物・渡って来た海辺の鳥を見よう　● 武豊ブロック主催

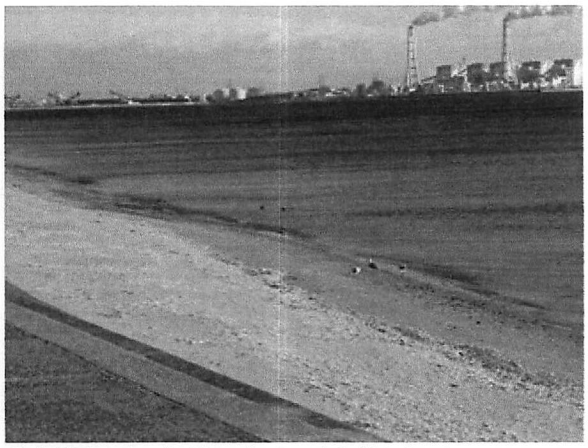
【日　時】 2016(H28)年　1月24日(日) 9:30～11:20
【場　所】 河和口駅前海岸
【天　気】 晴れ
【担　当】 古川、畠
【参加者】 一般　6人(大人　6人・子供　0人)
　　指導員:古川、鈴木樹、森田博、畠(記)

【内　容】
　この冬一番の冷え込み、中国地方から東北の日本海側が大雪、さらに九州・四国でも大雪で混乱の朝。当地も太陽はあるが冷たい風で手は縮み体ぶるぶる。
　そんな中集まった大人10人で出発。波打ち際は打ち上げられた海藻等もなく、きれいな海岸線が続いていた。
　カモ類の数が少なく、カモメの類が目だった。布土沖の角立網がない。聞けば昨年の今頃漁師さんが流され今も行方不明。後を継ぐ人もなく網は壊れたままとのこと。ミサゴやウの溜まり場であっただけに、風物がまた一つ消え淋しいことである。ただこの時頭上にミサゴが現れた。ゆったりと飛びながらもどんどん沖へ進みやがて消えた。
　イソヒヨドリ、シロチドリ、ハマシギなど定番種と、過去には機会が少なかったスズガモの大群に会えて、みなさん満足されたようでした。
「こんな色々な鳥に会えてよかった」「図鑑で見て知っていても、現地で実物を見ると迫力が違う」との感想に、次の機会の参加が期待できました。
＜観察できた鳥＞
　トビ、ツグミ、カワラヒワ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、カワウ、ヒドリガモ、カルガモ、スズメ、キジバト、メジロ、カモメ、オオセグロカモメ、ユリカモメ、イソヒヨドリ、スズガモ、ミサゴ、コサギ、シロチドリ、ハマシギ、ビンズイ、　　以上

【観察会の様子】

※写真をクリック→ビッグサイズ

【左】河和口駅前海岸の堤防上



【右】浜辺に鳥がみえる…写真クリック

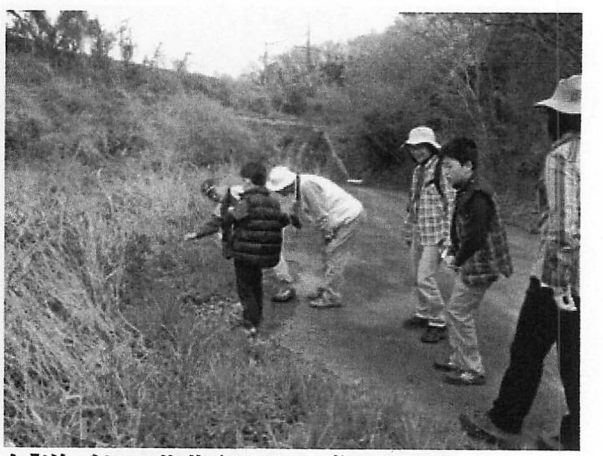
トップページへ

【行事名】 息吹いっぱい・春の野山探検　● 武豊ブロック主催

【日　時】 2016(H28)年　4月　3日(日) 9:30～11:30
【場　所】 武豊別曽池周辺
【天　気】 くもり
【担　当】 畑中、古川
【参加者】 一般　3名
　　指導員:畑中、古川、伊藤伸、畠、榊原正、森田博、森田琢、牧野、鈴木汎、森下栄、浅井一　　(畑中　記)

【内　容】
　4月の第一日曜日、薄曇りの中今年度初の観察会へ一般3人と指導員11名でいざ出発。別曽池南側のトンネル(上は名鉄)を抜けて里山へ。
　ウグイスやカエルの鳴き声を聞きながら、オタマジャクシを見つけたり、ドジョウ、ザリガニを捕えたり、ワラビやツクシを摘んだり散策を楽しんだ後池の西側へ回ると、木が切られ山が削られソーラー発電の広場(看板に9，900㎡の表示)が造られていました。別曽池の周辺では他にも大規模な造成が進んでいます。
　武豊自然公園周辺エリアでは、休耕田も年々増えています。里山風景もいつしか消えてしまうのでしょうか。いつまでも自然豊かな武豊町であって欲しいと思います。
＜観察できたもの＞
　ノボロギク、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ(外来)、ホトケノザ、タネツケバナ、
　セリ、ナズナ、ハハコグサ(ゴギョウ)ハコベ、コオニタビラコ(ホトケノザ)←※春の七草
　ミチタネツケバナ(外来)、アケビ、ミツバアケビ、サルトリイバラ、アセビ、
　ショウジョウバカマ、スミレ各種、ワラビ、ゼンマイ、ヤブジラミ、ツリガネソウ(栽培)、オオフサモ(外来)
　モンシロチョウ、ツチイナゴ
　ニホンアカガエル(オタマジャクシ)、アカメダカ、ヨシノボリ？、シュレーゲルアオガエル、アマガエル、カワニナ、シジミ、タニシ、ブルーギル(外来)、アメリカザリガニ(外来)
　ホウジロ、メジロ、ツグミ、ウグイス　他

【観察会の様子】


【左】担当指導員のあいさつ　　【右】道ばたの草花(ホトケノザ)の説明

【左】水路で魚(ドジョウ)を探したがいなかった　【右】アマガエルがいた(1匹のみ)

【行事名】 光り飛ぶホタルに会おう　● 武豊ブロック主催

【日　時】 2016(H28)年　6月18日(土)18:30～20:30
【場　所】 市原農村広場近辺
【天　気】 晴れ
【担　当】 畠、鈴木樹
【参加者】 一般　58人(大人28、子ども30)
　　指導員:畑中、伊藤伸、畠、浅井一　　(畠　記)
【内　容】

「梅雨のさ中の晴れ間」まさにその晴れた一日でした。蒸し暑くも風が少々あり、過ごしやすかった。早々と参加者が集まり駐車場が時間前に満杯となる。
最近では一番多い参加者数で、「ほたる」への関心がいかに高いかが伺える。
ホタルについての話と注意事項を伝え出発。西の空はまだ残照で明るい。駐車場から観察場所までは徒歩15分。草原のバッタや畔近くのカエルなどを追いかけながらゆっくり進んだ。
さてさて目当ての場所に着いたもののまだ明るい。まだかまだかと焦る気持ちを抑えながら待つこと15分。斜面中腹の木の葉の間で「一番ホタル」が光った。歓声と同時に一斉に集まる。だんだん光るホタルの数が増え、遂に飛び交い始めた。
今年も飛んでくれて主催者として胸を撫で下ろした。20時15分揃って駐車場に向け引き上げた。大人には郷愁が、子どもたちには夢が湧いたことでしょう。ここがいつまでも「ホタルの里」であって欲しいと願うばかりです。(遠来者＝名古屋、刈谷、知立)

以上

トップページへ

【行事名】 新川の生きものを探ってみよう　● 武豊ブロック主催

【日　時】 2016(H28)年　7月　3日(日)　9:30～11:30
【場　所】 新川中流部(福寿園西500m新川沿い)
【天　気】 曇り
【担　当】 原、金内
【参加者】 一般　15人(大人7、子ども8)
指導員:原、金内、榊原正、鈴木樹、田中央、浅井一、畑中、畠　(畠　記)

【内　容】
梅雨時独特の蒸し暑い日。ただ、今日は雲が太陽を薄く隠していてくれて助かった。注意事項の後早速川の中へ。初めて入る子が多く、恐る恐る入ったがすぐに慣れてジャバジャバ、水を飛ばして行動。エビ類やコオイムシ、カダヤシなど川の生きものが続々獲れる。「まだやりたーい」の声をよそに、40分ほどで川から上がり、分類しながらパットに移し、さらに一匹一匹を小さいケースに入れて掲げ、その魚・生きものについて説明。(分かち合い)
「魚がとれて楽しかった」「こんなに色々な生きものがいて驚いた」などの感想が聞かれ、ホッとしました。町環境課の方2名が、川の経過観察を兼ねて参加されました。

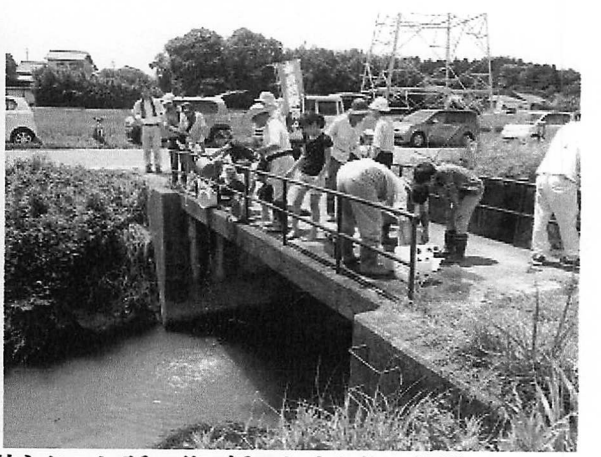
＜観察できたもの＞
カダヤシ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ヤリタナゴ、ギンブナ、マドジョウ、ハゼ、ゴクラクハゼ、ブルーギル、アメリカザリガニ、モクズガニ、ヌマエビ、テナガエビ、コオイムシ、アメンボ、ギンヤンマ(やご)ハグロトンボ(やご)カワニナ、マツカサガイ、ドブガイ、シジミ、ヌマガエル　ほか　以上

【観察会の様子】

【左】担当指導員のあいさつ

【右】ハシゴで降りるや、すぐに、採集活動

【左】採ったお魚などの説明



【右】終わりのお話の後、採った生き物を放流

トップページへ

【行事名】 秋の鳴く虫と灯火に集まる虫を見よう　● 武豊ブロック主催

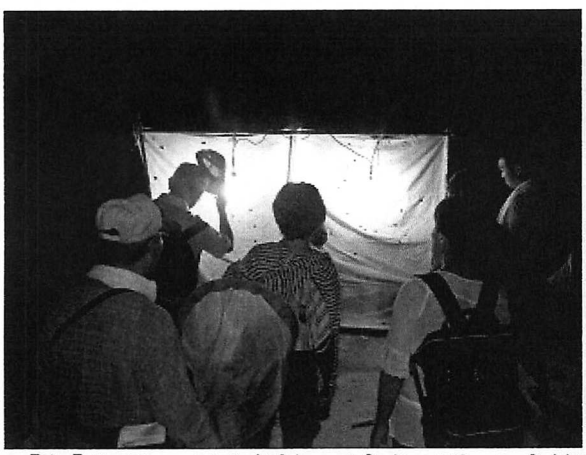
【日　時】 2016(H28)年　8月20日(土)18::30～20:20
【場　所】 武豊町自然公園
【天　気】 曇り
【担　当】 畠、平松俊
【参加者】 一般　6人(大人4、子ども2)
　　指導員:鈴木樹、古川、平松俊、畑中、伊藤伸、榊原正、畠　(畠　記)
【内　容】
　ことしは標題に「秋の鳴く虫と・・」と加えたが、参加者増の思惑は外れた感じ。しかし虫好きの小学男子2人の参加が有り賑やかに進んだ。
　発電機不調で慌てたが、何とか電灯を付け、公園の外周道路をナイトハイク。
　アオマツムシがやかましく鳴き、マツムシ、スズムシなど沢山の虫達の声を聞く。クツワムシは近づいていってついに姿をみつけた。大きい！
　灯火の所に戻り、集まった虫達を観察。居るわ、居るわ、子どもたちは大はしゃぎ。アオドウガネやサビキコリ、ガ、トンボ、アメバチ、そのほか沢山の虫が見られ、親の心配をよそにカゴにいっぱいとってご満悦。夏の良き思い出になったことでしょう。
解散後、指導員だけでクロマドホタル生息地に寄ったが、今年は少数。

＜観察できた生きもの＞
　アオドウガネ、サビキコリ、コカマキリ、ヒメカメノコテントウ、マルハムシ、アメバチの仲間、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、トリバガほかガの仲間
　アオマツムシ、マツムシ、スズムシ、エンマコオロギ、ツズレサセコオロギ、カネタタキ、ウマオイ　ほか
以上

【観察会の様子】

【左】担当指導員のあいさつ

【右】ナイトハイクの一場面



【左】ナイトハイクから帰ってすぐスクリーンを見る

【右】終わりのお話。子どもは虫取り真っ最中

【観察会の様子−追加】
　＜●ナイトハイク＞

【行事名】 実り近し・秋の野山探索　● 武豊ブロック主催

【日　時】 2016(H28)年　9月17日(土)　9::30～11:30
【場　所】 別曽池公園周辺
【天　気】 曇り
【担　当】 鈴木樹、畠
【参加者】 一般　10人(大人3、子ども7)
　　指導員:鈴木樹、古川、原、畑中、伊藤伸、榊原正、浅井一、畠　(畠　記)
【内　容】
　曇りで太陽はないが蒸し暑い日。元気な子たちが集まった。「蜂とヘビに注意」と促し出発。クズが甘いにおいを発し、ウスバキトンボが群飛。水路まで来たところ魚影が。すぐさまタモを入れる。メダカとドジョウが入る。子どものカメも。
　高さ20m程の赤土むき出しの斜面が見える。通りに沿って進み、斜面の上へ。
　緑に茂った山と谷であった所が赤土の平地に変えられ、数百面の太陽光発電パネルが敷き詰められていた。自然改変のすさまじさを見た感じであった。
　アケビの実の下を通りナンバンギセルの所へ。あるある、今年もちゃんと生きていた。
　跳ね馬、笹舟、クズの葉のお面にパッカン。自然遊びの面白さを大人も子供も満喫した様子。「色々なものに会えて楽しかった」との感想であった。

＜観察できた生きもの＞
　クサガメ、マドジョウ、ヒメダカ、ウスバキトンボ、キタテハ、キチョウ、アゲハ、オオスズメバチ、コガタスズメバチ、ウラギンシジミ、モンキアゲハ　他
　クズ、キツネノマゴ、アメリカミズキンバイ、アメリカセンダン、アレチヌスビトハギ、メドハギ、ヤマハギ、ガマ、ホシアサガオ、マメアサガオ、マルバルコウ、ナンバンギセル、ミツバアケビ、ノブドウ、　他
以上

【観察会の様子】

【左】担当指導員のあいさつ

【右】観察コース(一部)

【左】ウスバキトンボの説明

【右】クサガメの赤ちゃん

【観察会の様子-追加】

【行事名】 秋の自然公園探索と工作　● 武豊ブロック主催

【日　時】 2016(H28)年10月16日(日) 9:30～11:30
【場　所】 自然公園と同公園駐車場
【天　気】 晴れ
【担　当】 原、畑中
【参加者】 一般 23人(大人6、子ども17)
指導員:鈴木樹、原、畑中、伊藤伸、畠 (畠 記)
【内　容】
快晴の上天気。暑くなると予想して工作スペースを日陰側に設定。その方が電源にも近い。
今日は子どもたちが多く集まってくれた。「蜂とヘビに注意」するよう促し、自然観察と工作の材料を集めるため自然公園の中へ。
小枝、はっぱ、ツバキの実やその鞘、ムカゴやドングリマツカサなどいっぱい拾って戻ってきた。 さあ工作だ。
ホットボンドでくっつけながら、あるいは糸やひもで結びながら色々なものが形作られていく。子どもの発想はおもしろい。
自慢の作品を披露しあった後、解散。どの子もいい笑顔であった。

【観察会の様子】

【左】公園内で材料探し…木の実や枝など

【右】材料にはならないがクワガタ。嬉しい

【左】戻って、作戦を立てて、工作の開始

【右】作ったものを持って、記念写真を撮る

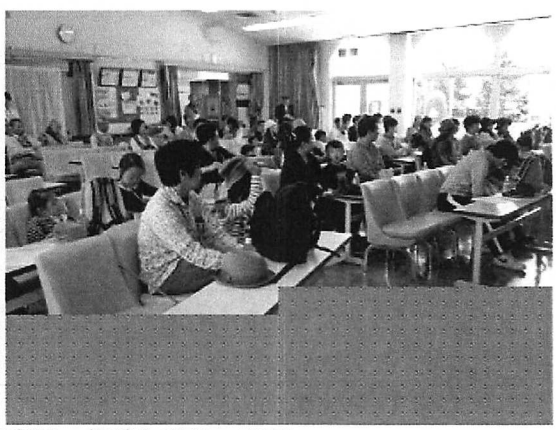
【観察会の様子−追加】

知多ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/23(土)	受募	—	知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)山田絹
2	16/01/30(土)	受募	—	知多	「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きものを観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	小島(0569-42-4537)山田絹
3	16/02/06(土)	受託	—	知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察しよう」●知多市こども未来館	知多市こども未来館 9:30	神野(080-5169-3964)平田
4	16/05/07(土)	受託	—	知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」●こども未来館	こども未来館 9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉川勉
5	16/05/14(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-1」●知多市環境政策課	中電知多火力発電所 9:30	南川(0569-42-5382)中井康
6	16/05/21(土)	受募	—	知多	「信濃川の生きものを観察を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	金内(0562-55-8614)野村
7	16/06/18(土)	受託	—	知多	「海辺の生きものを観察しよう」●こども未来館（干潮10:46）	新舞子海岸郷戸広場P 9:30	中井康(0569-43-0884)吉川勉
8	16/06/25(土)	受託	—	知多	「里山のヘイボタルを観察しよう」●こども未来館	水の生活館P 19:00	吉房(0562-55-9025)中井康
9	16/07/23(土)	受募	—	知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	梅の館 9:30	神野(0562-34-3964)藤井辰
10	16/08/06(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの」●知多市環境政策課	JX日鉱日石 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)沖田
11	16/09/03(土)	受託	—	知多	「水田や水路の生きものを観察をしよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	金内 (0562-55-8614)吉川勉
12	16/09/10(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-2」●知多市環境政策課	IHI愛知事業所 9:30	沖田 (0562-55-7250) 南川
13	16/10/01(土)	受託	—	知多	「企業緑地の生きもの-3」●知多市環境政策課	LIXIL知多事業所 9:30	中井康(0569-43-0884)近藤
14	16/10/09(日)	受託	—	知多	「身近にあるキノコを観察しよう」●こども未来館	旭公園北P 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
15	16/11/26(土)	募集	協保	知多	「日長神社の紅葉谷を愛でよう」	日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)霜鳥

【行事名】「企業緑地の生き物観察会」・・・・・知多市自然調査隊(知多市環境政策課)

【日　時】 2016年5月14日(土)　9:30～11:00
【場　所】 知多市　中電知多火力発電所
【天　気】 晴れ
【担　当】 中井(康)・南川
【参加者】 57名　(大人32名・子供25名)
　　知多市関係者2名・中電知多火力関係者3名
　(指導員:中井(康)・小島(高)・浅井(一)古川・吉房・沖田・吉川(勉)・霜鳥・森田(琢)・鈴木(汎)・南川以上11名)
【内　容】
　主催者の知多市環境政策課から今年度の知多市自然調査隊の1回目観察会は、中電知多火力発電所内でありに埋め立てられた土地にビオトープの池と人工の森で自然観察会を行ない埋立地の場所でも自然の環境を生かせばそれなりに生物多様性の人工の森が出来るということを見て感じて下さいとの挨拶があった。中電知多火力発電所の方からは工場内の説明とこの地の発電所の立場と役目の説明と「地球に優しい自然環境への取り組み活動」を語られた。観察時の注意事項と観察の仕方を説明後8グループに分かれてビオトープ回りと森周辺の生き物、植物の観察に入る。ビオトープ回りではコイとメダカ、オタマジャクシ(ウシガエル)が見られた今回の観察会は昆虫等あまり見られなかったが、人工的に植えられた樹木と鳥が運んだ(糞)等で成り立った、緑豊かな森を実感出来た観察会であった。(カタバミで10円玉磨きが喜ばれた)(記・南川　)
【ビオトープで見られるた生き物】
◎水の中
　コイ、メダカ、ウシガエルのオタマジャクシ
◎樹木
クスノキ、サクラ、カエデ、ヤブツバキ、カクレミノ, ヤマモモ、グミ、シャリンバイ、トベラ、　ヤマウルシ、イスノキ、アケビ、キョチクトウ
◎見聞きした鳥
　ハシボソカラス・ハシブトカラス・ヒヨドリ・カワラヒワ・セグロセキレイ・ムクドリ・スズメ、シジュウガラ
　巣箱が(10個位)3年前に設置されたが使用された実績はないとか(シジュウガラ用)
◎その他
　虫?が多く見られた。アワフキムシ
【観察会の様子】



中電知多火力発電所の観察地の経緯と現状の説明

【左】ウシガエルのオタマジャクシ

【右】カタツムリ(マイマイ)

知多市観察会

【行事名】信濃川の生き物を観察しよう

【日　時】2016年(平成28年)5月21日(土)午前9時30分～

【集合場所】梅の館

【実施場所】新七反田橋すぐ下流の小さな橋の上下流で実施

【天　気】晴れたり雲ったり

【参加者】21名

【指導員】1.金内 2.野村 3.門脇 4.山田絹子 5.吉房 6.石川 7.森田博文
8.霜鳥 9.田中央 10.岡田(刈谷)

【内　容】

5月14日(土)信濃川の下見、川の中は草だらけヤリにくい、捕獲した生き物は、カマツカ、オイカワ、カダヤシ、スミウキゴリ、テナガエビ、モクズガニ、コオイムシ、カワニナ、ハグロトンボ幼虫、アメリカザリガニ、シジミ、5月16日(月)信濃川の草刈りをしました大変、大変だよ、5月21日(土)信濃川観察会本番、天気も良く皆んな沢山捕れました、大よろこび笑顔でケガもなくて本当に良かったです。以上。

【観察出来た生き物は以下です】

【魚類】1.オイカワ(シラハエとも言う)稚魚もいました 2.カマツカ、3.ウキゴリ、4.スミウキゴリ

【貝類】1.シジミ 2.カワニナ、3.マルタニシ、

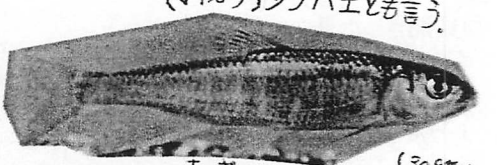
【甲殻類】1.モクズガニ、2.テナガエビ、3.ヌマエビ、

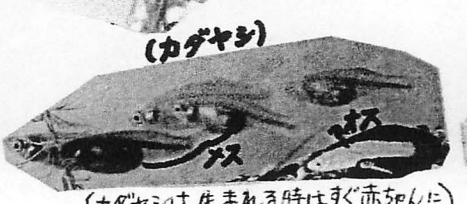
【水性昆虫】1.コオイムシ、2.ハグロトンボ幼虫、3.シオカラトンボヤゴ、4.アメンボ、
※ゴマダラカミキリがエノキに産卵していたそうです。

【爬虫類】在来種 1.ニホンイシガメ、

【両生類】在来種 1.ダルマガエル、

【その他】外来種 1.爬虫類 1.ミシシッピアカミミガメ、
外来種 魚類 1.カダヤシ(メス)、外来種 甲殻類 1.アメリカザリガニ、





【行事名】「海辺の生き物を観察しよう」●主催　知多市こども未来館

【日　時】2016年6月18日(土) 9:30～11:30
【場　所】知多市　新舞子海岸
【天　気】快晴
【担　当】中井康、吉川勉
【参加者】(一般)こども30名、おとな14名　(こども未来館職員)3名
　(指導員:中井康、榊原正、森田博、門脇、浅井(一)、吉房、降幡、吉川勉)
【内　容】
早朝から快晴、暑い日となり、また、干潮が午前10時44分と絶好の観察日和となりました。お母さん方は日焼けが心配かも？
砂浜に集まった子ども達に囲まれ、先ずは挨拶、お手伝いする知多自然観察会のメンバーの自己紹介の後、早速みんなで海辺に急行。まずは干潟の砂堀から.....
知多自然観察会のメンバーは、玉網で魚すくいに協力。子供たちと一緒になって幼魚と追っかけっこ、魚の素早さに負けていたね。
その後、捕獲した生きものをその都度それぞれ2つの"魚類のお店"、"魚類以外のお店"に用意された容器に移しながら、"これ何？"など、ワイワイ賑やかに交流が進みました。
そして、終わり頃にそれぞれのお店でお話しが始まり、途中でお店を交代して参加者全員が両方のお店で生きもの説明に聞き入って、みんなで順番に触ったりなどして、子供たちは楽しそうでした。
最後に、みんなで集合写真をパチッ。(記・吉川勉)
【観察した生き物】
◎魚
マハゼ、ミミズハゼ、ヒメハゼ、ウキゴリ、タツノオトシゴ、ヨウジウオ、スズキの幼魚
◎エビ・カニ類
テッポウエビ、アナジャコ、イシガニ、マメコブシガニ、ケフサイソガニ、タカノケフサイソガニ、イソガニ、イボニシ、ヤドカリ、ニホンスナモグリ(ボケ)、アナジャコ
◎貝類
ツメタガイ、フジツボ、クチバガイ、アサリ、カキ、イシダタミ、ナガスカケボラ、クロムシガイ、イソシジミガイ
◎海藻類
アナアオサ、ワカメ、テングサ
◎ゴカイ類
タマシキゴカイ(クロムシ)の卵、イシゴカイ、スゴカイ、イソメ、ツバサゴカイ、タマシキゴカイ(クロムシ)
◎その他
イカリナマコ、アカクラゲ、ミズクラゲ、フナムシ、ボケ
【観察会の様子】

【左】開始の挨拶　【右】【開始と同時に、みんな一斉に砂浜を掘り始めたよ！】

【左】【砂堀りに夢中な親子連れ、服は大丈夫かな.....？】

【観察会記録】

行事名　佐布里の野鳥と昆虫を観察しよう
主催　梅の館

日時　2016年 7月23日(土)　9.30～11.30
場所　知多市 梅の館
天気　晴れ
担当　神野悦夫．藤井辰子
参加者　一般（大人 3名．子供 5名）
指導員（浅井(一)．沖田正和．榊原(正)
神野．古川あきまさ．吉原．藤井）
梅の館　江尻

観察した生物

◎鳥　ハシブトガラス．メジロ

◎虫　コシアキトンボ．アリ．ベニシジミ
ニイニイゼミ．ウスバキトンボ
チョウトンボ．モンクロシャチホコ
（幼虫．成虫）
アオイラガ．ナガサキアゲハ

◎水生　ハイロゲンゴロー．アメンボー

◎植物　ユズリハの実．リンゴ椿
マテバシイ．アラカシ（モンクロシャチホコ）

手書きの記録の提出。
そのままスキャンして掲載
※ 実サイズは約B5判サイズ

（記録：藤井辰）

＜特別掲載＞

手書きの記録の封筒に“絵手紙”(版画?)が入っていた。傑作なのでここで紹介
※ 実サイズはハガキ大

【観察会の様子】

始めのあいさつ

ここの水場で、相当時間、楽しんだ

ここでは、まだ背中が割れていないセミの幼虫を見る

終わりのお話。全員で、直接観察できなかったけど、観察コースで見られた鳥の話もありました

【行事名】 企業緑地の生きもの(自然調査隊)(JX日鉱日石) ●知多市環境政策課

【日　時】 2016年8月 6日(土) 9:30～11:30
【場　所】 知多市北浜町 JXエネルギー㈱知多製造所
【天　気】 快晴
【担　当】吉川勉、沖田
【参加者】 一般 46名(15組)、知多市環境政策課:4名、JXエネルギー:2名
(指導員:沖田、藤井、古川、野村、浅井、南川、吉川勉)

【内　容】

最高気温が35度を上回ることも予想される快晴・無風でしたが、参加のお子さんの体調が心配されるようなお天気ともなりました。

9時ころから事務所玄関口で市職員による受け付けと参加者へのグループ別名札の配布があり、その後2階のホールで企業による知多製造所及び事業内容の簡単な説明と敷地内のビオトープや緑地内の生きものについての説明がありました。

市職員による自然調査隊や諸注意事項についての説明の後、指導員の自己紹介が行われ、10時過ぎには6班に分かれて、1～3班はビオトープから、4～6班は緑地からの逆コースで、ビオトープや緑地内の生きものの観察や捕獲に向かいました。

1～3班のグループは、まだ午前の早いうちで多少過ごしやすかったこともあり、ビオトープでトンボなどの捕獲に夢中になったようで、珍しいキイトトンボの捕獲に成功した親子グループもあったようです。大事にしてね！

4～6班は、緑地に入ってまず最初にドングリになる前の十分に大きな青いマテバシイの実の観察とセミの抜け殻の捕獲と調査から始めました。残念ながら入口付近ではほとんどクマゼミの抜け殻ばかりでした。

その後、樹林帯の中に分け入ったとき、クヌギやコナラがなく下見の時には確認できなかったカブトムシを指導員が見つけるやいなや子供たちやお母さん方は他の観察などそっちのけで殺気立って木の根元の枯葉をさばいてのカブトムシの探索と捕獲に夢中になっていました。

結局子供たちはカブトムシやクワガタを10数匹それぞれの虫かごに入れて大満足、また、樹林帯内は日陰で涼しく子供たちとお母さん方も大助かり、蚊や蜂も特に見かけずよかったです。

その後に、ビオトープに向かいましたが、すでに陽は高くまさに炎天下でのビオトープの観察となりました。

トンボは、捕獲を遠慮してくださいの注意があったチョウトンボが多数ヒラヒラと乱舞していましたが、シオカラやイトトンボはほとんどおらず、目立つショウジョウトンボが1匹飛んでいただけでした。

そのうち、子供たちからも”暑いよー！”の声が上がり、早々に緑地入り口に集合してしばしの休憩、樹林帯からカブトムシが見つからなかったと嘆息しながら出てきた1～3班グループと一緒に集合写真をパチリ。

参加者から気分が悪くなる人も出ず、それぞれトンボやカブトムシなどお土産に楽しいひと時を過ごせたようです。(記:吉川勉)

【観察した生き物】

◎植物

マテバシイ、イヅツバアケビ、オオフサモ、クサイチゴ、シナサワグルミ、アケビ、アカメガシワ、ハゼノキ など

◎昆虫

マイコアカネ、ノシメトンボ、ハグロトンボ、カトリヤンマ、チョウトンボ、アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、カブトムシ(♂・♀)、クワガタ、アメンボ、カタツムリ、アシナガバチ、ショウジョウトンボ、キイトトンボ、アジアイトトンボ、クロスジギンヤンマ、ギンヤンマ

◎魚類

クロメダカ ◎鳥類

ヒヨドリ、ハシブトカラス、

【観察会の様子】

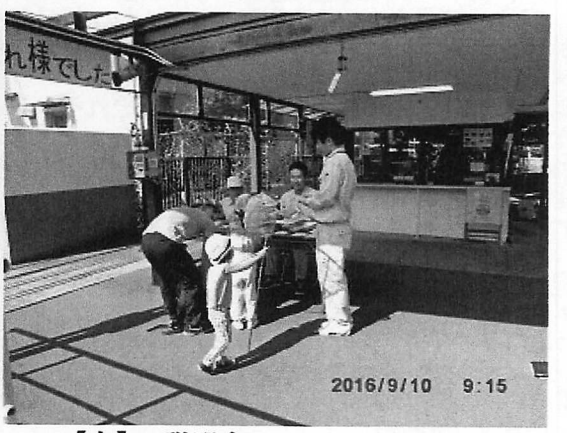
【左】 会社・知多市による説明

【右】敷地内の生きもの

【行事名】 企業緑地の生き物[自然調査隊] ● 知多市環境政策課 主催

【日 時】2016年9月10日(土) 9:30～11:45
【場 所】知多市 IHI愛知事業所
【天 気】晴
【担 当】沖田、吉房
【参加者】 一般 大人12名、子ども18名
(指導員:沖田、吉川勉、近藤、中井康、古川、浅井一、藤井、野村)
【内 容】
会議室で会社の様子やグリーンベルトの歴史と現在観察した生き物に付いての説明があり、4つのグループに分かれてグランドに出た。昆虫が楽しく活動できる好天気に恵まれ、上空にウスバキトンボやシオカラトンボ、足元の草むらにコオロギやバッタが沢山いて子供達の歓声が上がった。全員がなにがしかを捕らえ虫かごに入れることができ大喜びである。グランドでは4面使って、会社対抗のソフトボール大会が行われていたにもかかわらず、自然調査隊が緑地帯へ入るため、一時試合を中断し、皆さんにこやかに手を振って送り出して下さった。グリーンベルトの木々は年々立派に成長していて驚くばかりである。ただ台風で大きな木が数本倒れかかっている様子から、埋め立てのため地下に十分根を張ることができないのだと痛感した。子供達は木々には目もくれず、クワガタ、カブトムシ、セミ等を探すのに夢中である。鳥に食べられてばらばらになっているカブトムシの残骸がいくつもあり「何が食べたのだろうか？」とがっかりしていた。池の前でクワガタムシが沢山集まるというシラカシの穴を交代で探していたが、全員分は見つからなかった。いつも感心するのはどの親御さんも生き物が大好きで、その思いが自然に子供さんにも伝わっていることだ。さわやかな日で子供も大人も楽しめた半日である。 (記:吉房)
【観察した生き物】
◎ 植 物
クスノキ、トウカデ、エノキ、ケヤキ、ヤブツバキ、ホソバノイヌビワ、フヨウ、ナンキンハゼ、マサキ、ニセアカシア、キツネノママコ、アメリカヤマゴボウ、ヒヨドリジョウゴ、カラスウリ、セイバンモロコシ、イノコズチ、ヤブガラシ、 ススキ、カタバミ、
◎ 昆 虫
コクワガタ、オカメコオロギ、エンマコオロギ、モンキチョウ、テントウムシ、ウスバハゴロモ、ツクツクボウシ、オンブバッタ、イナゴ、ツチバッタ、
◎ 鳥
スズメ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ムクドリ、
◎ 魚
カダヤシ
【観察会の様子】

【左】全員集合



【右】 説明会

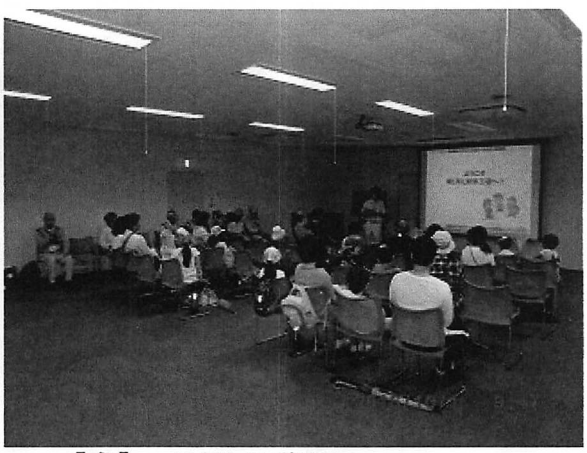
【左】説明会

【右】 バッタが採れたよ

【行事名】 企業緑地の生き物【自然調査隊】　知多市環境政策課　主催

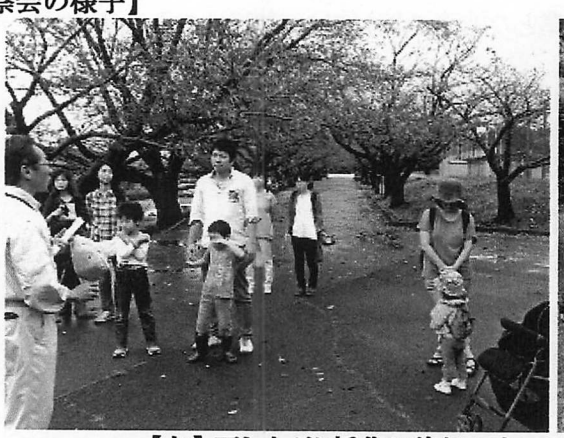
【日　時】 2016年10月1日(土)　9:30～11:30
【場　所】 知多市　(株)LIXIL知多工場
【天　気】 曇り
【担　当】吉房、近藤
【参加者】 一般　大人　11名、子ども　15名
　　(指導員:南川、吉川勉、吉房、古川、中井康、藤井、浅井一、野村、近藤)
【内　容】
　　会議室で会社の様子やグリーンベルトの歴史と、現在観察した生き物についての説明と、タヌキの通学路(隣の企業への通路)が現地の最北部にありますと説明があり、その後3つのグループに分かれて行動を開始しました。
　最初に事務管理棟の南側の小広場でシオカラトンボや、コオロギやバッタなどがたくさんいて、子供だけでなくお父さん、お母さんも一緒になって虫かごとタモをもって、大はしゃぎでした。その後、グリーンベルトに出て、南北に縦断して開けた管理用道路を北端のタヌキの通学路付近まで往復して、両側に生息している樹木や草花や、コオロギやトカゲや、バッタ、ナメクジなど、企業緑地の生き物観察を楽しみました。(記・)
【観察した生き物】
◎ 植物
アカザ、エノコログサ、オヒシバ、オオバコ、アメリカセンダングサ、アレチハナガサ、オッタチカタバミ、イガグリソウ、イヌタデ、コセンダングサ、コニシキソウ、クス、ギンモクセイ、キンミズヒキ、キツネノマゴ、スベリヒユ、ススキ、セイタカアワダチソウ、ツユクサ、ドングリ、ドクダミ、タカサブロウ、トウネズミモチ、トウサワグルミ、チガヤ、ニガナ、ハギ、ヒメジソ、マダケ、メヒシバ、メリケンカルガヤ、ムクゲ、ヤハズソウ、ヨシ、
◎昆虫
　アブラセミのカラ、ウスバキトンボ、チョウチョウ、イナゴ、キチョウ、バッタ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、クビキリギリス、クマゼミのカラ
◎鳥
　シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、
◎その他
ナメクジ、カナヘビ、コガネグモ、
◎動物 〈BR〉　タヌキ＝タヌキの通学路(隣の企業との越境通路)には、夜行性のため不在でした。
【観察会の様子】

【左】全員集合


【右】　見どころ説明

【行事名】 旭公園のキノコを観察しよう ● こどもの未来館主催

【日　時】 2016 年 10 月 9 日(日)　　9：30 ～ 11：40
【場　所】 知多市　旭公園
【天　気】 曇
【担　当】 降幡、吉房
【参加者】　一般：大人12名、子ども12名　地域文化センター：竹内、平木
　　(指導員：降幡、吉房、古川)
【内　容】
　観察会直前まで雨が降っていたので、参加者が少ないのではと案じていたが、その心配と関係なく次々と参加者が現れて感心した。
　はじめに降幡さんがキノコについての説明をしてから、①観察会では食べることのできるキノコを期待するが少ないこと、②毒キノコでも触ったり食べたりして現れる症状が人によって異なること、③カエンタケが出た地区があるのでオレンジ色のキノコを素手でさわらないこと、④観察会が終わったら必ず手を洗うこと、等の注意が4点あった。
　キノコ探しが始まると皆一生懸命。子供の目線は低いので、思いがけないところでのキノコまで探し出し、大人が驚くばかりである。観察会に参加する親御さんは自然に対する関心が強い方ばかりなので、子供達も日頃からその影響を受けていて、鋭い観察力を持っている。小さな子までが終わりの時間を告げるまで熱心にキノコ探しをしていた。1ヶ月近く天候不順だったせいか、全員が多くのキノコを採集することができた。最後に、皆で採集したキノコの名前や特徴等の説明が降幡さんからあった。ホコリタケを軽くたたくと胞子が埃のように舞い上がる様子に歓声が上がった。また、ヘビノキノコモドキの名前の由来は、柄が蛇の体に似ているからと聞くと子供達が興味深く見つめていた。動物がおしっこをしたところに出るカレバキツネタケ(オシッコタケ)もおもしろそうだった。この3つのキノコは子供達の記憶に残ることだろう。(記：吉房)
【観察した生き物】
◎ キノコ
カレバキツネタケ(オジッコダケ)、キツネノエフデ、ホウライタケ、オシロイタケ、シロハツ、ハラタケの仲間、カヤタケ、ヒイロタケ、カイガラタケイグチの仲間、、カワラタケ、クジラタケ、コフキサルノコシカケ、アラゲキクラゲ、チャクサハツ、カレエダタケ、チャダイゴケ、アマタケ、シロツルタケ、テングタケ、オチバタケの仲間、ホコリタケ、ヘビノキノコモドキ、コツブタケ、シロテングタケ？、モミジウロコタケ、ツルタケ、モリノカレバタケ？、オオホウライタケ、ハタケチャダイゴケ、ヘビノキノコモドキ、ウスキモリノカサ
◎その他
　アケビ、アマガエル、マイマイカブリ、イシクラゲ
【観察会の様子】



【左】雨も上がり採集に絶好です

【右】 草の中からキノコが

【左】かわいいキノコ

【右】　よく見つけたね

東海ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/23(土)	受託	—	東海	「公園の野鳥観察」●東海市施設管理協会　参加料100円	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
2	16/05/21(土)	受託	—	東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管理協会 参加料100円	上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)岩崎
3	16/07/09(土)	受託	—	東海	「オオケマイマイを見よう」●東海市施設管理協会 参加料100円	しあわせ村玄関前 9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
4	16/09/25(日)	受託	—	東海	「秋の虫を探そう」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園テニスコート前P 9:30	平松俊(052-601-1491)森田琢
5	16/10/08(土)	受託	—	東海	「公園のキノコ観察」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
6	16/11/05(土)	受託	—	東海	「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会 参加料100円	大池公園多目的室 9:30	早川(052-602-2992)降幡

【行事名】「公園の野鳥観察」　●東海市施設管理協会

【日　時】 2016年1月23日(土) 9:30～11:30
【場　所】 東海市大池公園
【天　気】 晴れ
【担　当】神野・岩崎
【参加者】 一般大人　10名　子供(幼児を含む)5名　協会職員　2名
　　(指導員:神野・岩崎・平松・降幡)
【内　容】
　最大級の寒波が来、大変寒い日となりました。この寒さにも負けず15人も(幼児を含む)参加されました。主催者の挨拶のあと、歩きはじめると早々に木のてっぺんに真っ黒な鳥の姿。望遠鏡で見るとカラスでした。皆で交代にのぞくと大きく見えるのに歓声が上がりました。池に出るとキンクロハジロの群れが迎えてくれ、パンの耳をやると争って食べていました。いろいろなカモが見られ、アオサギ・コサギなどが見られ喜ばれました。ガチョウ広場の近くの枝にオシドリが止まっているのを見つけ、きれいな羽をじっくり観察できました。歩道脇の杉の木に穴が空いているのを見つけ、コゲラの話で盛り上がりました。池を一回りして土手まで来ると近くの松にカワセミが居り背中のコバルトブルーがとてもきれいでした。管理事務所の多目的室で冬の鳥写真展を見、まとめをして終わりました。(記・神野)
【観察した生き物】
◎植物
　ツバキ　サクラ　ヒサカキ　カクレミノ　クスノキ　ネズミモチ
◎昆虫

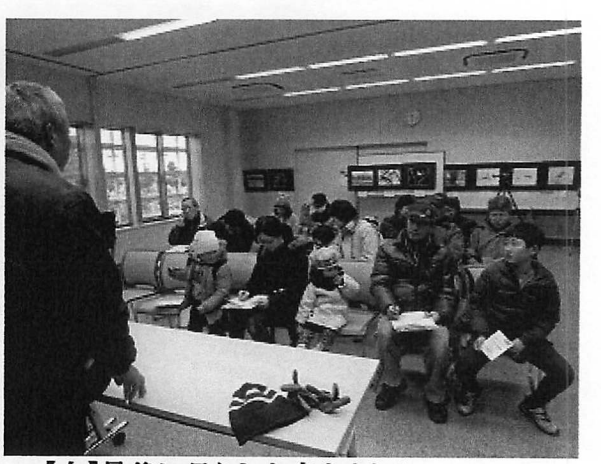
◎鳥
　スズメ　ハシブチガラス　ハシボソガラス　ドバト　キジバト ムクドリ　ヒヨドリ　ウグイス　シジュウカラ　ヤマガラ　メジロ　コゲラ　シロハラ　ツグミ　ハクセキレイ　カルガモ　マガモ　ホシハジロ　キンクロハジロ　ハシビロガモ　オシドリ　アオサギ　コサギ　カワセミ　カイツブリ
◎その他

【観察会の様子】

【左】本日の見どころ説明

【右】早速、ハシブトガラス観察

【左】ホシハジロが見える



【右】最後に見られた鳥をまとめ

【行事名】 秋の虫を見つけよう 主催 東海市施設管理協会(エコスクール)

【日 時】 2016年9月25日(日) 09:30～11:30
【場 所】 集合:大池公園P
【天 気】 晴れ
【担 当】 平松俊、森田琢
【参加者】 一般24名 (大人10名、子供14名)
(指導員4名:平松俊、森田琢、榊原正、藤原辰)、(主催者:2名)
【内 容】
昨日までの雨も止み観察会は好転に恵まれました。定時に集合、挨拶、諸注意の後散策コース脇の草原へ全員が移動、30分ほど自由に虫捕りを楽しんでもらいました。
エンマコオロギが沢山捕獲されましたが、ショウリョウバッタ、オンブバッタも目立ちました。ウスバキトンボも沢山飛び交っており、お父さんやお母さんのトンボ捕りが出番になりました。
皆が採集した昆虫たちについて質問を受けた後次の草地へ移動しました。
散策路を移動途中、道路脇の草地には茸(オオシロカラカサタケ)が沢山生えており話題になりました。公園休憩所隣の草地でも同様に30分ほど虫探しをしてイナゴ等を見つけました。
次いで菖蒲池周囲に移動して虫探しを継続、ここではドングリ(マテバシイ)拾いも楽しめました。池の排水溝近くではシマヘビが見つかり子供たちは恐る恐る近づいて歓声を上げていました。
最後に東屋へ移動して今日採集観察した虫たちについてまとめた後、アンケート記入を頂き、現地解散しました。
観察コース途上では「葉っぱ手裏剣」や「草バッタ」作り、「イヌマキの実の味見」など飛び入りのイベントもあり話題豊富な観察会になりました。
(記・森田琢)

【観察した生き物】
◎植物 (開花・結実)
セイバンモロコシ、ニラ、ハギ、エノコログサ、タマスダレ、ヒガンバナ (開花)
イヌマキ、マテバシイ (結実)
◎昆虫
バッタ科:ショウリョウバッタ、オンブバッタ、マダラバッタ、イボバッタ、クルマバッタモドキ
キリギリス科:クビキリギス、ホシササキリ
コオロギ科:エンマコオロギ、ツズレサセコオロギ(鳴き声)、オカメコオロギ、ミツカドコオロギ (声)、シバスズ、アオマツムシ(鳴き声)、
イナゴ科:コバネイナゴ
トンボ科:ウスバキトンボ
アゲハチョウ科:ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ?
セセリチョウ科:チャバネセセリ
シジミチョウ科:ウラギンシジミ、ヤマトシジミ
シロチョウ科:キタキチョウ、モンシロチョウ?
タテハチョウ科:ツマグロヒョウモン
メイガ科:マメノメイガ
カメムシ目:フタモンホシカメムシ、ツチカメムシ、クモヘリカメムシ、アブラゼミ (声)、ツクツクボウシ (声)
甲虫目:ナナホシテントウムシ、セアカヒラタゴミムシ、クロウリハムシ
ハチ目:ヒメバチ類、クマバチ、クロヤマアリ
ハエ目:ヤブカ類
◎菌類
オオシロカラカサタケなど
◎その他
クモ類:サツマノミダマシ、ハエトリグモ
カタツムリ(イセノマイマイ)
は虫類:シマヘビ

【観察会の様子】

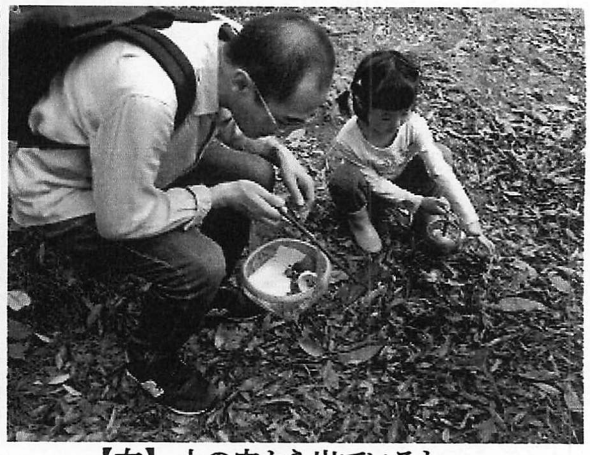
【左】開会、諸注意

【右】草はらで虫探し

【行事名】 東海市 大池公園のキノコ観察会　● 東海市施設管理協会○主催

【日　時】 2016 年 10 月 8 日(土)　9：30 ～ 11：50
【場　所】 東海市 大池公園
【天　気】 曇
【担　当】降幡、吉房
【参加者】　8名
　(指導員:降幡、吉房、浅井一、藤井)
【内　容】
はじめに管理協会の方から公園の諸注意があり、続いて降幡さんからキノコ全般の注意とつくりについてのお話をした。キノコを拡大した図で説明するので分かりやすく、参加者の小さい子までが、熱心に聞き入った。
9月は雨が多く予想どおり色々なところにキノコが生えていた。子供達は目線が低く思いがけないところでもキノコを見つけ、親御さんも童心に返り熱心に図鑑を観ながら採集していた。昨年立派なコウヤクタケが付いていたサクラの木に今年も立派なコウヤクタケが付いていた。不思議なことに付近のサクラには付いていなかった。カレバキツネタケ通称オシッコタケが沢山見つかり皆大笑いであった。(記:吉房)
【観察した生き物】
◎ キノコ
カレエダタケ、オオシロカラカサタケ、カニノツメ、ホコリタケ、キツネノエフデ、コフキサルノコシカケ、ウズラタケ、ノウタケ、コツブタケ、カレハキツネタケ、ホウロウタケ、アラゲキクラゲ、クジラタケ、ウスキモリノカサ、コウヤクタケ、カワラタケ、ツルタケ、ハカワラタケ、アラゲカワラタケ、ニオイコベリタケ、シバタケ、アカハツ、コウジタケ、イグチの仲間、ヒイロタケ、ベニナギナタタケ、ウスヒラタケ、カブラアセタケ、オオホウライタケ
◎植物
ヤブミョウガ、フユノハナワラビ、カニクサ
【観察会の様子】

【左】 芝生の中に大きなキノコ発見



【右】 土の中から出ているよ

【左】 たくさんキノコを見つけました

【右】 ウズラタケ

【行事名】「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会

【日　時】2016年11月5日(土) 9:30～11:30
【場　所】東海市大池公園多目的室
【天　気】晴れ
【担　当】早川、降幡
【参加者】一般8名、施設管理協会1名
　　(指導員:早川、降幡、平松俊)
【内　容】
　工作の材料を求めて、公園内の樹木、生物を観察しながら移動する。降幡さんがトウネズミモチの葉を巻いて先を少し押さえて笛を作って鳴らしてみせる。親や子どもたちが少しずつ音を出せるようになっていく。マテバシイのドングリを集め、葉を数枚採集する。他にも色々な葉で笛を作って鳴らせることを知り、すごいと思う。マツボックリを拾い集める。タイサンボクの葉を採集。ヤブミョウガ、サザンカ(白)を観察。イヌマキの葉を採集。オオクロバエ、ジョロウグモ、カナヘビ、クロウリハムシ、クロヤマアリ、モリチャバネゴキブリなど観察。公園内の観察を終えて、センターへ戻る。工作やゲームを体験する。
(工作)　タイサンボクの葉でぞうり　　イヌマキの葉で手裏剣　　マテバシイのドングリで笛　　イタドリの茎で笛(イタドリの茎は降旗さんが用意したもの)
(ゲーム)マテバシイのドングリを離れた入れ物に入れるゲーム　　ドングリをマツボックリに変えてゲーム
マツボックリをイヌマキの葉4枚で作った手裏剣に変えてゲーム
事後の参加者の話の中で楽しい時間が過ごせたと満足している様子がうかがえた。(記・早川)
【観察した生き物】
◎植物
　イヌマキ、タイサンボク、イタドリ、マテバシイ、トウネズミモチ、ヤブミョウガ、サザンカ、クロガネモチアメリカハナミズキ
◎昆虫
　モンシロチョウ、クロウリハムシ、クロヤマアリ、モリチャバネゴキブ
◎鳥
　ヒヨドリ、ハクセキレイ
◎その他
　カナヘビ、ハエトリグモ、ウスカワマイマイ？
【観察会の様子】

【左】手裏剣(しゅりけん)の材料としてイヌマキを採りました

【右】見てごらん虫が大きく見えるよ

【左】ドングリがうまく入るかな

【右】葉っぱの工作を真剣にしてます

常滑ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/01/31(日)	募集	協	常滑	「冬、雑木林の小鳥たち」	桧原公園東P 9:00	降幡(0569-43-8060)谷川
2	16/03/20(日)	受募	—	常滑	「春の息吹、朽木でうごめく生きものたち」●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708) 赤石
3	16/05/22(日)	受募	協保	常滑	「湿地の食虫植物たち」愛知用水沿道　●生きがい工房まなとこ	南陵市民センター P 9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
4	16/06/19(日)	受募	協保	常滑	「海辺のヤドカリたち」●生きがい工房まなとこ(干潮11:23)	蒲池漁港P 9:30	中井三(0569-42-2021)降幡
5	16/06/25(土)	受託	—	常滑	「雑木林のキノコたち」●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井三
6	16/07/10(日)	受募	協保	常滑	「里山のトンボたち」井間池・高砂山　●生きがい工房まなとこ	南陵市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)森田琢
7	16/08/07(日)	受募	協保	常滑	「川のメダカたち」前山川上流　●生きがい工房まなとこ	青海市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)金内
8	16/08/27(土)	受募	協保	常滑	「雑木林で夜鳴く虫たち」　●生きがい工房まなとこ	多賀神社P 19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊
9	16/09/18(日)	募集	協保	常滑	「草原のバッタたち」大曽公園内	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708)平松俊

【行事名】春の息吹、朽木でうごめく生きものたち　主催:大曽公園(岩間造園)

【日　時】 2016 年 3 月 20 日(日)　09:30～11:15
【場　所】 集合:大曽公園 P
【天　気】 晴れ
【担　当】 森田琢、赤石
【参加者】 一般 8 名（大人 3 名、子供 5 名）
(指導員 8 名:森田琢、赤石、中井三、降幡、平松俊、森下保、森下栄、森田博)
【内　容】 昨日、名古屋気象台では桜(ソメイヨシノ)の開花が宣言された。
春分の日の今日、大曽公園は北西の風が強く吹く肌寒い一日になりました。公園の桜は未開花でしたがヒサカキ、ヒメヤシャブシが満開でした。観察会は「危険な生きもの」(ムカデ、成虫越冬中のハチ、マダニ)についての注意と朽木の生きものの観察方法について説明してから始めました。
公園の雑木林には伐採・剪定された樹木や落ち葉が沢山積まれていましたが、朽木状態に至っているものは僅かでした。それでも腐った樹皮や落ち葉をめくると次々に期待した虫たちを採集・観察する事ができました。90 分程の間に採集された生きものは全部で二十余種になりました。中でもカメムシの仲間が多種観察できました。集めた生きものを観察容器に移し替え、脚(足)の本数別に分類して観察してもらいました。最後に生態系における朽木の生きものの役割について補足解説して閉会しました。　(記・森田琢)
【観察した生き物】
足の数 0 本:ミミズの仲間、コウガイビル、イセノマイマイ(貝殻)、キセルガイ
足の数 6 本(昆虫):コクワガタ(幼虫)、カミキリムシ(幼虫)、キマワリ(幼虫)、
ヒメホシカメ、ツマキヘリカメムシ、オオモンシロナガカメムシ、クモヘリカメムシ、ヨコズナサシガメ、ヒゲジロハサミムシ、シロアリ(成虫・幼虫)
足の数 8 本:クモの仲間　1 種　　足の数 14 本程:オカダンゴムシ
足の数 30 本程(百足の仲間)トビズムカデ、アオズムカデ、イシムカデむ言トビズムカデ、
アオズムカデ、イシムカデ
足の数 60 本程(学名千本足の仲間)マヤマトアカヤスデ?、クラギヤスデや言マクラギヤスデ
【観察会の様子】

【行事名】「海辺のヤドカリたち」 主催 生きがい工房「まなとこ」

【日 時】 2016年6月19日(日) 9:30～11:30
【場 所】 常滑市 蒲池港⇒海岸
【天 気】 くもり、一時雨
【担 当】 中井三、 降幡
【参加者】 大人5名、子ども10名
(指導員:降幡、中井三、森田琢、榊原正、森下保) 主催者 佐藤、肥田、鈴木
【内 容】 集合時間前に蒲池港で悠然と泳いでいるアカエイを見つけました。どうも一、二匹では無く、次々と発見しました。観察会前の観察を終わり、諸案内等をした後、海岸に移動しました。

それぞれ家族ごとに活動しました。タモを使って魚をねらう者、石を反転し石の下に隠れている生き物を探す者、捨て石やテトラポットに付着している生き物を見る者、それぞれ楽しそうに海辺の生き物に触れていました。 採集した生き物のお話をするため、参加者の皆さんに集合を掛けました。時に雨が降ってきました。お話をいつもより短めにして少し早めの解散をしました。

主催が生きがい工房「まなとこ」ということで、集合から解散まで「まなとこ」のスタッフの皆さんがお世話をしてくれました。(記・降幡)

【観察した生き物】
◎海藻
緑藻:アナアオサ(アオサ科)、ミル(ミル科)
褐藻:ワカメ、アカモク 紅藻:オゴノリ(オゴノリ科)、ツルツル
◎魚類 アカエイ、メバル、ミミズハゼ、カサゴ、イソギンポ、アカオビシマハゼ
◎軟体動物
腹足綱(巻き貝): イボニシ、イシダタミ、ツメタガイ、コシダカガンガラ
頭足綱: マダコ
◎節足動物 イシガニ、イソガニ、ヒライソガニ、ホンヤドカリの仲間、コブヨコバサミ、フナムシ
◎刺胞動物 ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク
◎海綿動物 ナミイソカイメン

【観察会の様子】

【行事名】「雑木林のキノコたち」大曾公園管理事務所

【日　時】 2016年6月25日(土) 9:30～11:30
【場　所】 常滑市大曾公園
【天　気】 くもり
【担　当】 降幡、中井三
【参加者】 大人3名、子ども4名　計7名
(指導員：降幡、中井三、森田琢、榊原正、浅井一、森下保、森下栄) 大曾公園担当者2名
【内　容】 キノコは梅雨の季節と秋雨の頃たくさんの種類が発生するのでキノコの観察にはいい季節です。たくさん出るキノコの中から食べられて美味しいキノコを採集したいところですがそう安く問屋はおろしません。食べられるもの、毒があるもの、幻覚作用あるもの、薬になるものそんないろいろな夢があるのがキノコです。そんなキノコに触れあう楽しさと夢を感じていただくよう観察会をしています。雨の心配がありましたがちょうど雨が上がり、暑くもなくキノコ観察には比較的良い日になりました。みんなでそぞろ歩きをしながら草原から森の中に入り探しました。キノコは草原、森の地面、木の幹などで見られ、期待通り、いろいろな種類のキノコに出会うことが出来ました。雨上がりが幸いしてコウガイビルやカタツムリにも出会うことが出来ました。(記・降幡)

【観察した生き物】

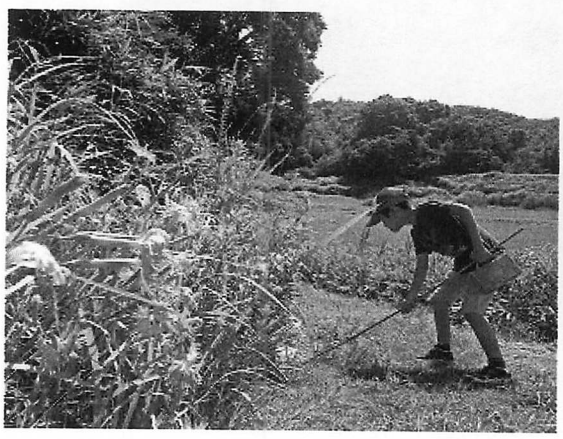
◎キノコ
シバフタケ、アカカバイロタケ、クサハツ、クロハツ、キニガイグチ？、ミドリニガイグチ、コウジタケ、ヒイロタケ、カワラタケ、アラゲカワラタケ、ハナオチバタケ、スジオチバタケ、アマタケ、コテングタケモドキ、テングツルタケ、カレバキツネタケ、カレエダタケ、 ツノマタタケ、 イタチタケ、

◎その他
コクワガタ、ゴミムシ、キマワリ、ショウリョウバッタ、カナヘビ、イセノナミマイマイ、ミスジコウガイビル

【観察会の様子】

【行事名】「里山のトンボたち」主催　いきがい工房まなとこ（常滑市境域委員会）

【日　時】 2016年7月10日(日) 9:30～11:30
【場　所】 常滑市　井間池、高砂山（集合:南陵市民センターP)
【天　気】 晴れ
【担　当】 降幡、森田琢
【参加者】 大人8名、子ども12名　主催者 稲葉(教育委員会)、佐藤・鈴木(まなとこ)
(指導員:　降幡、中井三、森田琢、浅井一、鈴木汎)
【内　容】 天気は最高ですが暑さも最高の日になりました。家族参加した子供たちは、集合時間前から元気に飛び回っていました。暑いときには暑いときにしか見られない生き物に出会うことが出来ます。恋人に会うような気持で野生の生き物に出会い、喜びを感じるのが自然観察です。自然はわからないことばかりです。そんな中、ちょっとわかった時のうれしさを味わうのが自然観察です。今回訪れた場所は、少し前の田舎の景色が残っているところで、愛知用水を使わずにため池を利用して水田にしているところです。何が見られたでしょうか。子供たちは、水田の畔や水田の水たまりで生き物探しをしました。保護者の方は暑い中、子供たちと熱心に付き合ってくれました。(記・降幡)
【観察した生き物】
◎トンボの仲間　　シオカラトンボ、ハラビロトンボ、ウスバキトンボ、ナツアカネ？、コシアキトンボ、チョウトンボ、オニヤンマ、コノシメトンボ ？
◎キリギリスの仲間　クビキリギス、キリギリス、ハネナガイナゴ、クルマバッタ？
◎バッタの仲間　ハネナガイナゴ、クルマバッタ？
◎その他の昆虫　ハイイロゲンゴロウ、アブラゼミ、キアシナガバチ、シャクガ？
◎クモの仲間　　シロオビトリノフンダマシ、コガネグモ、アシナガグモ？
◎両生類　　ヌマガエル、アマガエル
◎植物　カワラナデシコ、ミゾソバ、オニユリ、ササユリ、コウゾリナ、オトギリソウ
【観察会の様子】



【行事名】海辺で花しらべ（あいちの自然観察会、日本自然保護協会参加型プロジェクト）

【日　時】 2016年7月21日(木) 9:30～11:30
【場　所】 常滑市蒲池海岸
【天　気】 晴れ
【担　当】 中井三、降幡
【参加者】 一般　12　名（大人12名）
知多支部指導員11名：森田琢、畠、南川、榊原正、森下保、森下栄、鈴木汎、古川、吉房）
名古屋支部指導員4名:浅井聡、滝田、片倉和子、森
尾張支部2名:大久保恭、大久保守
【内　容】 空気が乾き、比較的過ごしやすい好天の中、実施されました。夏休みに入って直ぐの平日で子供達は、参加可能ですがほとんどの方の家庭は勤めになっているため、家族参加はほとんどありませんでした。大人の方で海浜植物に興味がある人がたくさん参加をしていただきました。受付の時に、この地方にたくさん生息している外来種で毒をもっているセアカゴケグモを会員の自宅で採取したものを持参していただき、見ていただきました。今回は、尾張支部と名古屋支部から協議会の仲間がたくさん参加していただき、交流会になりました。知多支部の会員が蒲池海岸の植生、貴重な植物、外来種、地元の住民の海岸植物への取り組みなどを紹介して終了しました別枠として、たまたまこの日が大潮でしたので合わせて名古屋の高校生物部の生徒が10名参加し、11時から海の生物の観察会を行いました。（記・降幡）
【観察した生き物】 ◎海岸植物
コウボウムギ(雌株・雄株)、コウボウシバ、ハマヒルガオ、ハマボウフウ(開花)、ハマゴウ(開花)、ビロードテンツキ(開花)、オカヒジキ、スナビキソウ、ハマダイコン、ハマエンドウ、ケカモノハシ(開花)、ツルナ(開花)、ホコガタアカザ、マルバアカザ、トベラ、ダンチク(外来種)コマツヨイグサ、オオフタバムグラ、アメリカネナシカズラ、アツバキミガヨラン、ウチワサボテン
【観察会の様子】

【行事名】 「川のメダカたち」主催　いきがい工房まなとこ（常滑市境域委員会）

【日　時】 2016年8月7日(日) 9:30～11:30
【場　所】 常滑市　前山川(上流)（集合:青海市民センターP)
【天　気】 晴れ
【担　当】 降幡、金内
【参加者】　大人11名、子ども13名　計24名+　主催者 佐藤(いきがい工房まなとこ)
(指導員5名：降幡、金内、中井三、森田琢、浅井一)
【内　容】 活動する場所は前山川の下手橋付近です。川に降りるのにクズ、アカメガシワススキ、チガヤが繁茂しているので事前に川に降りやすくするために事前に草刈りを行いました。 今年から堤防を降りやすくするように新兵器の折り畳み式の橋をを調達しました。

当日は青海市民センターに集合してから徒歩で下手橋まで移動し、橋の下の日陰で簡単なお約束をして川に入りました。それぞれ家族ごとに思い思いの場所でガサガサを行い、採集した獲物を橋の下に持ち寄り生き物の紹介と分かち合いを行いました。題名にあるメダカは確認できませんでしたが珍しいカワアナゴを確認することが出来ました。(記・降幡)

【観察した生き物】
◎魚類　マハゼ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、カワアナゴ、マドジョウ、ウナギ(稚魚)、カダヤシ
◎エビ・カニ類　テナガエビ、ミゾレヌマエビ、アメリカザリガニ、クロベンケイガニ、モクズガニ
◎貝類　シジミ
◎両生類　ミシシッピーアカミミガメ
◎昆虫類　コガタシマトビケラ、アカムシ(セスジユスリカの幼虫)、ハグロトンボ、ショウリョウバッタ、クマゼミ、アブラゼミ、アメンボウ
◎水辺の植物　オオフサモ、ジュズダマ、アレチハナガサ、ヤブガラシ、カナムグラ、クワ

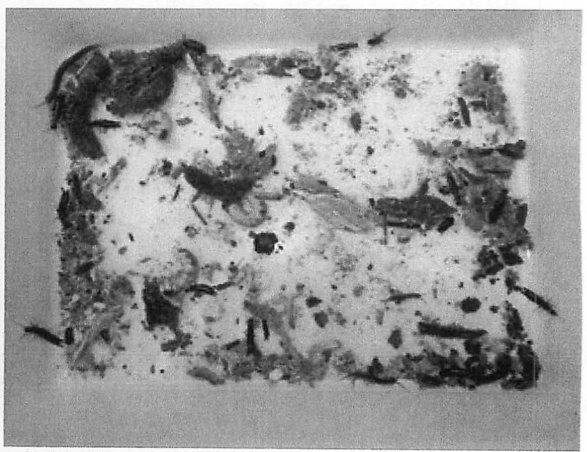
【観察会の様子】

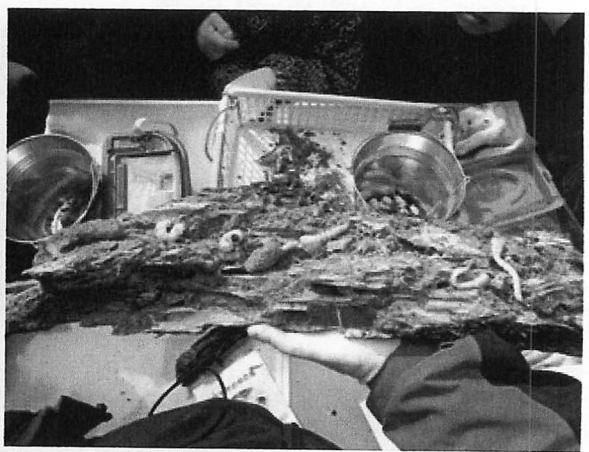
半田ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/02/06(土)	受託	—	半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)山田和
2	16/04/23(土)	募集	協保	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	加藤(0569-21-7702)榊原靖
3	16/05/22(日)	受託	—	半田	「亀崎海岸の生き物観察」●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)牧野
4	16/07/30(土)	募集	協保	半田	「矢勝川の生き物観察」	修農公民館 9:30	榊原靖(0569-21-3497)石川
5	16/08/07(日)	受託	—	半田	「稗田川・平地川の生き物観察」●半田市環境課	乙川東小学校 9:30	榊原正(0569-21-7000)加藤
6	16/08/20(土)	受託	—	半田	「神戸川の生き物観察」●半田市環境課	青山記念武道館 9:30	榊原靖(0569-21-3497)鈴木汎
7	16/10/02(日)	募集	協保	半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
8	16/10/16(日)	募集	協保	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川(0569-23-1101)牧野
9	16/12/10(土)	募集	協保	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正

【行事名】 任坊山の冬−朽ち木の中の生き物　● 半田市環境課主催
※この観察会は半田市環境課主催の「環境学習ボランティア養成講座−自然観察編−#1」を兼ねています
【日　時】 2016年2月6日（日）　9:30〜11:30
【場　所】 任坊山公園
【天　気】 晴れ
【担　当】 榊原正、山田和
【参加者】 一般: 親子で40名ほど
指導員: 榊原靖、森下保、森下栄、浅井一、鈴木汎、山田和、加藤、榊原正
【内　容】
事前申し込みが18世帯50名ほどと多人数だったので、主催者の環境課にブルーシート4枚にそれぞれ朽ち木を置き、受付が済んだ家族から好きな場所に座ってもらうようにお願いした。
主催者挨拶のあと、ブルーシート上の朽ち木の解体を練習した。平和に冬眠しているところを、突然、たたき起こすことだから“やさしく、やさしく…”バラしていくように…っと事前説明はしたものの…(^_^;)
任坊山公園は他所の自然公園と同様、伐採樹木を放置しておくわけでないので自然観察指導員の望む朽ち木は極めて貧弱であるが、それでも、結果的には多くの生きものが観察でき、参加者にとっても、冬場の生態の一部を実際に体験できたであろうと確信する。本日参加した子ども（幼児もいたが…）が成人したときに自然環境の保護に関心を抱くことを期待して…。　（記：榊原正）

【観察会の様子】


【左】ブルーシート上で朽ち木の解体練習　【右】解体練習での生きもの　※写真クリック→ビッグサイズの写真


【左】練習後の公園内。スズメバチ(成虫)の越冬を観察　【右】捕獲した生きもの説明の一場面　※写真クリック→ビッグサイズの写真

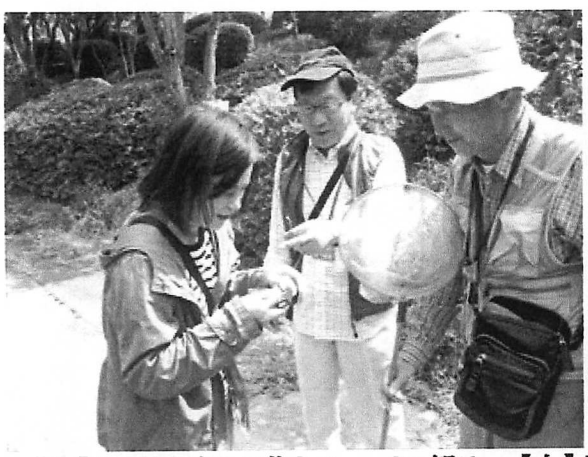
【観察会の様子−追加】

【行事名】 任坊山の春−虫や野草の観察　● 半田ブロック主催

【日　時】 2016年4月23日(土)　9:30〜11:30
【場　所】 任坊山公園
【天　気】 曇り
【担　当】 加藤、榊原靖
【参加者】 一般:　大人2名、子ども1名
　　指導員:　石川、加藤、榊原正、榊原靖、鈴木汎、古川、森下栄、森下保、
【内　容】
　いつものように、指導員の集まりは十分早めで良好でしたが、一般の、特に親子の参加が…って思っていたら、常連の親子がやってきたので一気にヤル気満々となった。
　親子の顔が見える前からカラスノエンドウの鞘(さや)でピーピーと鳴らしやっこをしていたので、母親にはそのまま鳴らかし方に参加してもらった。
　65歳以上の人はすぐに鳴らせるようになる。きっと、子どものころにヤッたことがあるからだろう。若いお母さんさんには、ちょっと無理だったので、上手になる前に開会の挨拶となった。
　コースは例年通り。駐車場の周りを観察してから展望台まで行く。今年はクロバイが早くから咲いていたのかコースの一部路上に花殻が一面に落ちていた。例年、満開状態を目の前で見ることができた展望台階段脇のクロバイも花が終わっていた。　　(記:榊原正)

【観察会の様子】

【左】集合場所。開始前の草花遊び　【右】開始後早々、お母さんがモンシロチョウをつかまえた



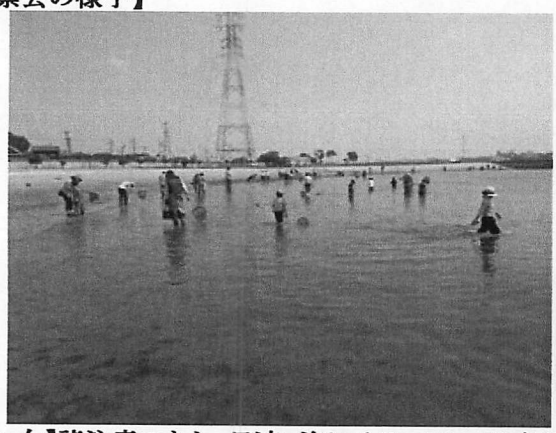
【左】キュウリグサの花をルーペで観る　【右】カラスビシャクがあった。当地では比較的珍しい

【観察会の様子−追加】

【行事名】 亀崎海岸の生き物観察　● 半田市環境課主催
※この観察会は半田市環境課主催の「環境学習ボランティア養成講座−自然観察編−[#1]」を兼ねています
【日　時】 2016年5月22日（日）　9:30〜11:30
【場　所】 亀崎海浜緑地の海岸
【天　気】 晴れ
【担　当】 山田和、牧野
【参加者】 一般：親子で40名ほど
指導員：加藤、門脇、榊原正、榊原靖、鈴木汎、牧野、森下栄
【内　容】
・結論からいえば、天気が良かったので、例年通り、楽しくできた。
・今年はアサリが極めて少なかった（ほとんどいないと同じ）。
・8:30頃には市職員によって芝生域に屋根だけのテントが設置されていた。今年は風が弱く、テントへの防風対策が必要なくよかった。
・9:00〜9:25は養成講座。この間、一般参加者の受付もしていた。講座参加者は一人であった。昨年は毎回3〜4名の参加者があったが…。
・9:30以降に海辺（波打ち際近く）で開会式。タモ網が必要な人には環境課のタモ網を貸し出していた。
・約1時間後に獲物を持って再集合し、魚と魚以外に分けた。この分ける作業に15〜20分は必要。ただし、この時間は大いに人気がある。
・獲物の解説（説明）は15分足らずで強制的にストップ。魚の説明を受けていたグループは魚以外の説明の場所に移動する。
・この後、主催者の終了の挨拶で解散であるが、解散後の一時（ひととき）が結構長くなる場合が多い。
＜主な獲物＞
ボラ、マハゼ、チチブ、ギンポの仲間、ヨウジウオ、
イソガニ、ケフサイソガニ、マメコブシガニ、チチュウカイミドリガニ、コメツキガニ、ユビナガスジエビ(?)、イソスジエビ(?)、モエビ、
アサリ、イソシジミ、ソトオリガイ、カキ、ミズクラゲ…など

（記：榊原正）

【観察会の様子】



【左・右】諸注意のあと、早速、海に入る。40〜50名ほどの人では海は広すぎる。魚は簡単には獲れない。

【左】獲物を魚と魚以外に分けているところ。どんなものがいるのか…このときが一番嬉しそう。
【右】説明中の1枚。「ミズクラゲ」を手のひらにのせてみる体験…順番に。初めての子が多い。

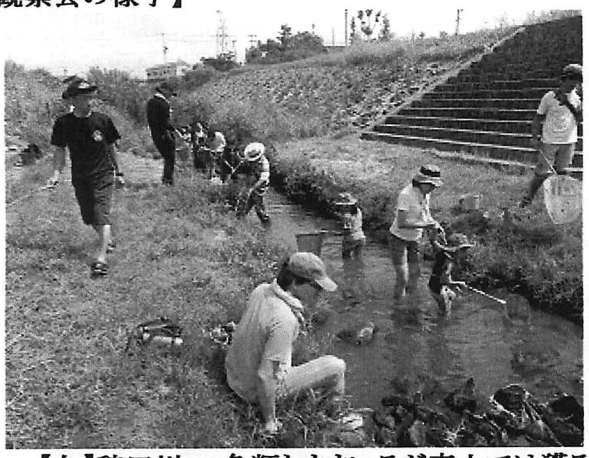
【観察会の様子−追加】

【行事名】 稗田川・平地川の生き物観察　● 半田市環境課主催
※この観察会は半田市環境課主催の「環境学習ボランティア養成講座−自然観察編−[#1]」を兼ねています
【日　時】 2016年8月7日（日）　9:30〜11:10
【場　所】 稗田川・平地川の合流地点
【天　気】 晴れ
【担　当】 榊原正、加藤
【参加者】 一般：　親子で40名ほど
指導員：　加藤、榊原正、鈴木汎、田中央、古川
【内　容】
ここ稗田川、平地川の合流点は親水ポイント（親水設計）になっている。ただし、いくら親水設計でも、夏場では、草刈が未実施の場合は、川に近づくことは不可である。もちろん、当然ながら、草が刈り込んであったので予定通り実施できた。
また、この場所は公園の一角にあるので、水道あり、“あずま屋”もあり、参加人数が多くても、屋根テント1ヶ設置すれば対応できることなど…主催者にとって有難いポイントである。
課題は採集物であるが、今回は時々みえる地元の名人はいなかったが、参加者のお父さんのお二人が子どもたちと一緒に頑張り、十分な漁獲量をキープしてくれた。
母子での参加も親子で協力して採集する姿を見るにつけ、感動とともに、この子が、将来、稗田川を守る子に成長してくれるかも…と思ったりする。

（記：榊原正）

【観察した生きもの】
マハゼ、ゴクラクハゼ、ウキゴリ、モツゴ、セイゴ、ウナギ(超稚魚)、カダヤシ、アメリカザリガニ、モクズガニ、おたまじゃくし(ウシガエル)、シオカラトンボ(ヤゴ)、アメンボ、カワニナ　など

【観察会の様子】



【左】稗田川。 魚類もままいるが素人では獲るのは難しい　【右】ここで、たくさんつかまえた

【左】獲物をバットにいれて、至近距離で観る　【右】魚類用ミニ水族館を作成中

【観察会の様子−追加】

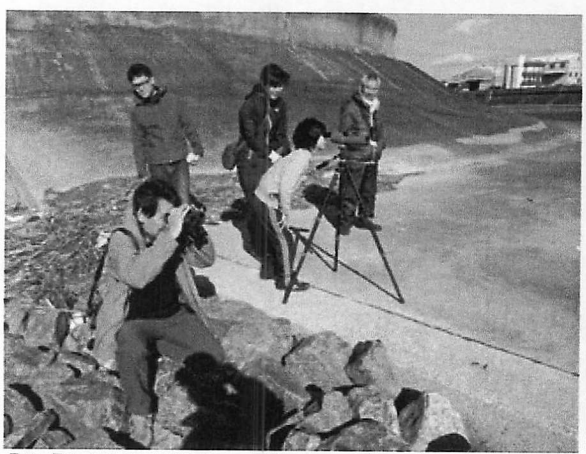
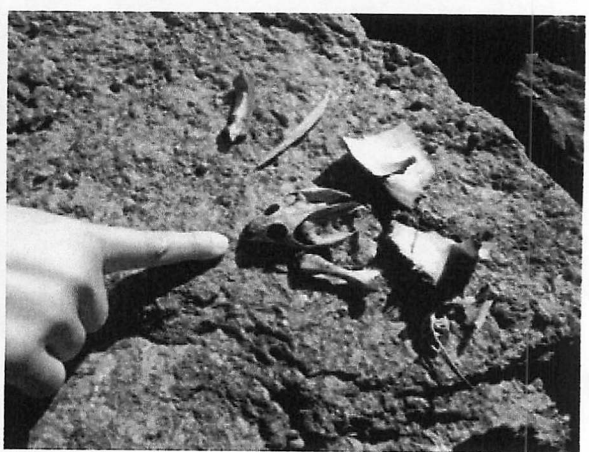
【行事名】 康衛池のカモと阿久比川河口の生き物

【日　時】 2016年12月10日(土)　9:30～11:00
【場　所】 瑞穂記念館P 集合　康衛池～阿久比川河口
【天　気】 晴れ
【担　当】 鈴木汎、榊原正
【参加者】 一般:大人2名　子ども2名
　　指導員:　浅井一、大榊原正、榊原靖、古川
【内　容】
　強風で体感温度5℃ぐらい。一般参加の家族は防寒が不十分そうにみえたので、いつでもリタイヤーOKですと集合早々話したほど。
　結果は全行程ご一緒でした。やっぱり、若さの違いですかね。もちろん、風が強すぎるので、いつもより、早く切り上げた。
　さて、康衛池では、池の中央あたりにセイタカシギが13匹集まってじっとしていた。
　それで、ビックリしたことは、『えっ、池の真ん中であの水深なの…』ってこと。セイタカシギの足が長いといっても30cmないハズ。それが膝まで出ている。ということは水深は10cm以下…！！。
　例年の観察コースどおり、康衛池の次は阿久比川河口へ。
ここで、また、ビックリしたことは、河口はは西から東へ流れるが、カルガモが十数羽、川面でほとんど定位置で休憩(？)している。
強風の西風の中でどうしてそんなに頑張っているのか…。無意味な(？)な努力にびっくりした。
＜観察できた鳥＞
・康衛池…キンクロハジロ、オオバン、オナガガモ、セイタカシギ、カイツブリ、タシギ
・阿久比川…キンクロハジロ、カワウ、カルガモ、ミサゴ、ケリ、コガモ

（記:榊原正）

【観察会の様子】

【左】始めのお話。例年、阿久比川で見えたセイタカシギがこの池に来ている…　【右】さっそく、セイタカシギを観察

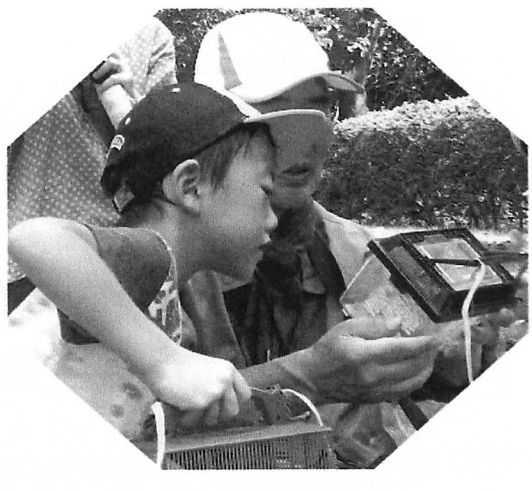



【左】阿久比川河口で遠方の杭の上にとまっているミサゴを観察　【右】亀の骨がまとまってあった

【観察会の様子-追加】

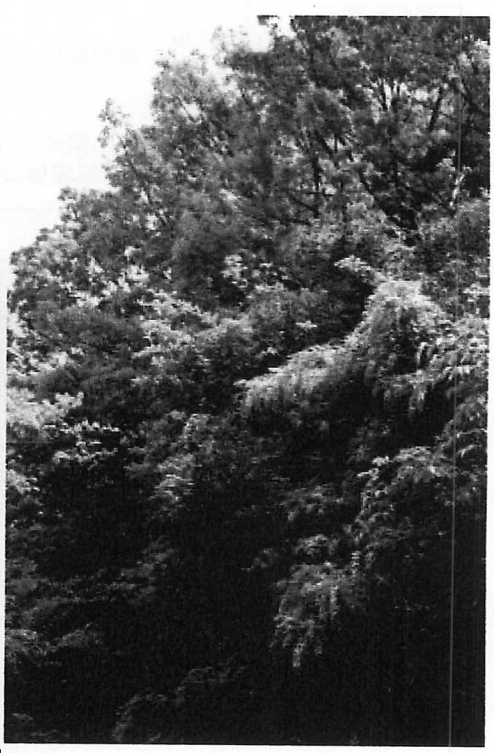
東浦ブロック観察会　2016(平28)年（1月～12月）

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/02/20(土)	募集	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
2	16/04/02(土)	受募	—	東浦	「春の野山を見よう」●東浦町環境課	東浦高校正門前 9:30	岩本(0569-58-0952)竹内秀
3	16/04/23(土)	募集	協保	東浦	「竹の芽吹きを観察しよう」(自然環境学習の森)	自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
4	16/05/14(土)	受募	—	東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-84-6040)岩本
5	16/06/11(土)	受募	—	東浦	「明徳寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-84-6040)山田公
6	16/07/02(土)	受募	—	東浦	「初夏の野山を見よう」●東浦町環境課	自然環境学習の森P 9:30	山田公(0562-83-3297)桑原
7	16/07/15(金)	募集	協保	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086)水野利
8	16/08/21(日)	募集	協保	東浦	「須賀川の生き物を探そう」	南部ふれあいセンターP 9:30	水野恭(080-3648-4467)桑原
9	16/10/08(土)	受募	—	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	高根の森P 9:30	山田絹(0562-34-8755)水野恭
10	16/10/22(土)	募集	協保	東浦	「秋の野山を見よう」	東浦高校正門前 9:30→飛山池	竹内秀(0562-83-9023)岩本
11	16/11/05(土)	受募	—	東浦	「森の宝物で工作」材料費100円 ●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	山田公(0562-83-3297)田中央



【行事名】 竹の芽吹きを観察しよう

【日　時】 2016年4月23日(土) 9:30～11:30
【場　所】 東浦自然環境学習の森
【天　気】 晴れ
【担　当】 竹内秀、桑原
【参加者】 50名
　　(指導員:伊藤岱、門脇、田中央、水野恭、南川)
【内　容】
　今年は、3月から4月にかけて雨が多かったこともあり、筍がニョキニョキとはえて、例年より筍の豊作の年となった。観察会当日は、春が過ぎ初夏を感じさせるとても心地よい新緑が眩しい日となった。観察会は、昨年同様石浜地区のコミュニティ行事と重なって、筍掘りグループと自然観察会グループに分かれて行われた。筍掘りグループは、里山の保全活動として、既に食べることのできない筍を蹴りたおす作業を並行して行ってもらった。観察会グループは、ゆっくり東浦自然環境学習の森の散策を行った。4月のこの時期は、頭上では藤の花の紫色やコナラな新芽の黄緑、常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンの薄ピンク色レンゲソウの濃いピンクなどさまざまな自然の色を観察することができるだけでなく、カラフルな蝶が飛び、テントウムシやカナヘビが日向ぼっこ・・・本当に冬の静けさがうそのように賑やかな季節です。
　参加者もたくさんの自然が発見できて大満足。観察会のあとは、みんなで竹林の中で筍掘りを行いました。(記・水野恭)
【観察した生き物】
◎植物
　モウソウチク、セイヨウタンポポ、ニホンタンポポ(トウカイタンポポ)、スイバ、イタドリ、ワラビ、ギシギシ、レンゲソウ、ムラサキケマン、カラスノエンドウ、オオイヌノフグリ、オオバコ、ハルジオン、セリ、ナズナ、スギナ、アカメガシワ、コナラ、フジ
◎昆虫
　ヤマトシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、アゲハ、ツマキチョウ、クロハネシロヒゲナガ、トラフトンボ、シオカラトンボ、コアオハナムグリ、ナナホシテントウ、コガタスズメバチ
◎鳥
　ウグイス、オオバン、ミサゴ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、カワセミ
◎その他
　ミシシッピアカミミガメ
【観察会の様子】



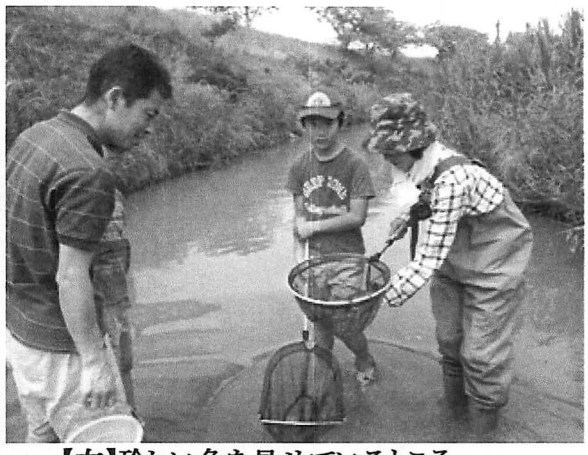
【左】　【右】

【行事名】「明徳寺川の中をのぞこう」　　●東浦町環境課主催

【日　時】 2016年6月11日(土)9:30～11:30
【場　所】 東浦町明徳寺川(東浦町うのはな館付近)
【天　気】 晴れ
【担　当】 田中央、山田公
【参加者】 一般:　11名
　　(指導員:田中央、桑原、岩本、山田公、門脇、榊原正、竹内秀)
【内　容】
　梅雨に入りましたが昨日今日は晴れです。空は青空、雲もなく梅雨を感じさせない観察会に最適な日でした。
　川の水は、付近の田んぼからの排水により一層濁りが目立ちました。脚立を川へかけ、いざ出陣(採集)。
　参加者は、川の中へ入ると思い思いの方法で魚やエビをゲット。やはりエビ類が多かったです。タモからするりと逃げるウナギが。
　数は少ないもののカマツカ、モツゴ、ボラの子、ヨシノボリ、ハゼなどのいつもの面々が見られてホッと。また、久しぶりにナマズの子が採れました。ナマズのひげが3対6本あることを確認しました。
　親子で楽しみながら生き物採集ができました。　　(記・竹内秀)

【観察した生き物】
◎魚類
　ウナギ、カダヤシ、モツゴ、オオクチバス(ブックバス)、ボラ(イナ)、ウキゴリ、トウヨシノボリ、カマツカ、ナマズの子、
◎甲殻、昆虫類
　アメンボ、ヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、コオイムシ、ハグロトンボヤゴ、ハグロトンボ、
◎その他
　ミシシッピアカミミガメ、ウシガエル(おたまじゃくし)、水に潜ったクモ仲間、ツバメ、

【観察会の様子】



【左】担当指導員の始めのあいさつ　　【右】珍しい魚を見せているところ

【左】それぞれが獲物を説明用バットに入れるところ　　【右】一種類ずつ獲物を説明

【行事名】 身近にあるキノコをみつけよう 主催 東浦町環境課

【日 時】 2016年10月9日(土) 9:30～11:30
【場 所】 東浦町 高根の森
【天 気】 晴れ
【担 当】田中央、竹内秀
【参加者】 一般6名
(指導員:古川、門脇、田中央、岩本、桑原、竹内秀)
【内 容】
秋晴れがほとんどなく、台風や雨の多い今年の秋、たくさんきのこが見られるだろうと期待して森へ。きのこに興味がある大人の方や秋の森を満喫したい親子の参加がありました。けれど、思ったほどのきのこが見られませんでした。それでも、種類は50種類ほどありました。雨が強く降る場合が増え、菌類を流してしまっているのではないかと思われる地面のところもありました。きのこの下をめくると白い菌糸が広がっているのを観察することができ、菌類の役目を考えることもできました。きのこの他にもどんぐり、カナヘビや蛇も見つけることができました。森のあちこちにジョロウグモが巣をかけていたので、オスメスを確認できました。おすは、カマキリのように命をかけて交尾をするけなげさになるほどという声が聞かれました。スズメバチが警戒音を鳴らしているところがあり、遠まわりをして進みました。直径30センチ以上もありそうなコナラの木があちこちでカシノナガキクイムシによって枯れており、早速に菌類が入り込んで分解しているところがたくさん見られた。(記・竹内秀)
【観察した生き物】
◎キノコ
カワラタケ、ハナビラミカワタケ、シロハカワラタケ、チャヒラタケ、アラゲカワラタケ、コウヤクタケ、ヒイロタケ、ホコリタケ、ホウロクタケ、モミジタケ、アオゾメタケ、キシメジの仲間、ツガサルノコシカケ、キツネノエフデ、クジラタケ、カイメンタケ、アミヒラタケ、ドクツルタケ、キクバナイグチ、ダイダイイグチ、シロオニタケ、キツネノチャブクロ、ノウタケ、
【観察の様子】

【左】 森の中を散策

【右】採集したキノコを観察

【左】【右】枯れた木に菌類が入り込んでいる様子_

【行事名】　「秋の森を探検しよう」

【日　時】　2016年10月22日(土)　9:30～11:30
【場　所】　東浦町　飛山池周辺
【天　気】　晴れ
【担　当】 竹内秀、岩本
【参加者】　一般　親子　3　名
（指導員：榊原正、田中央、古川、森田博、桑原、門脇、岩本、竹内秀）
【内　容】
暑さを感じる雲の多い晴れでした。富士塚の周りには外来種のコマツナギか、花が終わって豆型の種がいっぱい付いていました。その後飛山池目指して畑のふちをホシアサガオの小さな星形の花ややノブドウのすてきな青や紫の実、真っ黄色のセイタカアワダチソウを見ながら進みます。暖かく風もないので、チョウが飛ぶ姿がみられました。アサギマダラも林の縁を跳んでいました。アレチヌスビトハギやチヂミザサの種をいっぱいつけられながらヤブこぎをして草の中を進むととアケビの実やヤマノイモの実を見つけることができました。東和荘の周りに外来種の朝顔が青い花をたくさん咲かせていました。秋の初めに葉を食べ尽くされた桜が何輪か花を咲かせていました。林の中にミツバチの飼育箱がおいてありました。スズメバチが巣箱をおそおうとやってきているのですが、ミツバチの大きさしか通れない入り口になっていて、スズメバチをシャットアウトしていました。
【観察した生き物】
◎植物
ヤマノイモ、ホシアサガオ、カラスウリ、イヌホオズキ、アケビ、ハゼノキ、マテバシイ、アメリカキンゴジカ、ホソバイヌビユ、セイタカアワダチソウ、
◎昆虫
キチョウ、アサギマダラ、モンシロチョウ、ウラギンシジミ、ツマグロヒョウモン、オオカマキリ、アオクサカメムシ、ジョロウグモ、バッタいろいろ

【観察会の様子】

【左】家庭的な雰囲気で出発

【右】飛山池周り

【左】ヤブこぎ

【右】ヤブこぎ

美浜・南知多ブロック観察会　2016(平28)年　(1月～12月)

No	年/月/日(曜)	種	保	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	16/02/14(日)	受募	協	美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課 ﾊﾝﾏｰ、ﾊﾞｹﾂ、ﾙｰﾍﾟ持参	JAあいち知多みさき支店P 9:30	河原(0569-82-2307)永田孝
2	16/02/28(日)	受募	協	美南	「冬鳥と旅鳥カワウの子育」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87-5661)永田孝
3	16/05/21(土)	受募	協保	美南	「山で発見　ヒメボタル」●美浜町環境保全課	時志観音P 21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛
4	16/06/04(土)	受募	協保	美南	「アオウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	小佐県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)森田博
5	16/06/04(土)	募集	協保	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P 15:00	大矢晃(052-841-6048)田中達
6	16/06/19(日)	受募	協保	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	奥田農協P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田寛
7	16/07/03(日)	受募	協保	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	冨具崎港 P9:30	森田博(0569-87-0725)大矢晃
8	16/07/16(土)	受募	協保	美南	「山海川生き物観察」●南知多町環境課	旧山海小学校P 9:30	田中達(090-1626-3231)森田博
9	16/08/06(土)	募集	協保	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
10	16/09/03(土)	受募	協保	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	布土公民館P 9:30	斉藤(0569-82-3922)榊原靖

【行事名】 地層岩石調べ化石採集　　●南知多町環境課主催

【日　時】 2016年2月14日(日) 9:30～12:30
【場　所】 南知多町　農協みさき支店P⇒蛭子海岸の崖(片名)
【天　気】 雨のち晴れ
【担　当】永田(孝)、河原(欠席)
【参加者】 一般44名(大人17名　子ども27名)、化石専門講師3名、町職員2名
　　(指導員5名:永田(孝)、永田(寛)、降幡、森田(博)、田中(達))
【内　容】
前日から強く降り続いた雨も開催時間には少し治まり、小雨のぱらつく中15家族、44名の参加者に集まっていただきました。観察会当日は、「関東と東海、北陸、それに中国地方で春一番が吹いた。」と気象庁が発表。しかし会場周辺は風も静まり暖かな一日となりました。採集地の崖の前で、この地域の地層の成立ちや化石の出やすい石の説明、落石の危険性の説明ののち思い思いの場所で化石探しをおこないました。この辺の地層からは深海性の生物の化石が採取でき、シロウリガイや葉っぱの化石を見つけた参加者も見られました。参加者は割った石の中から化石を見つけると、講師の先生方に何の化石なのかを熱心に聞いていました。化石採取の後には、講師の計らいにより日本の鉱石がもらえるくじ引きがあり、参加者全員が楽しみました。(記:田中達)
【観察した生き物】
◎植物
　ハマダイコン
◎鳥
　トビ
◎その他
　各種の化石
【観察会の様子】

【左】地層や諸注意の説明

【右】安全な場所まで石を運びます

【左】化石見つかるかな？

【右】親子で探しています

【行事名】 アオウミウシを見つけよう　　● 南知多町環境課主催

【日　時】 2016年6月4日(土) 9:30～12:00
【場　所】 南知多町 県水産試験場P⇒峠海岸
【天　気】 曇り
【担　当】田中(達)、森田(博)
【参加者】 会員4名　一般30名(大人11名 子ども19名)　町職員4名
　　(指導員:大矢(晃)、門脇、田中(達)、森田(博))
【内　容】
　集合場所の県水産試験場駐車場から峠海岸まで小佐の港内の生き物の観察をしながら歩きました。指導員から危険な生き物の説明ののち、思い思いの潮溜りで生き物採集が始まりました。走ると滑って危険なので走らないように、指導員が触っても大丈夫だという生き物以外は素手では触らないようにと指導すると、元気よく「はい」という返事が返ってきました。昨年からこの場所で観察会が開催され2度目の開催となりますが、前回と今回の観察会の下見でも行事名に使用している「アオウミウシ」を発見することができず、もうこの場所では見ることができないのかと思い、来年の行事名は変更しようと考えていました。しかし、参加した2名の少年がアオウミウシを発見してくれました。「青い小さな生き物が見えた。」という少年の言葉に、親子で協力して粘り強くアオウミウシを探し続けてくれました。少年たちの観察力には驚かされましたが、よく聞いてみると師崎小学校が毎年開催している「海に親しむ会」に参加している少年でした。私自身も、参加者のほとんどがアオウミウシを見ることが初めてでとても感動しました。採取した生き物について分かち合いしたのち優しく海に返して観察会を終了しました。
　なお、今年の観察会についても、豊浜漁業協同組合さんの特別な許可を得て実施しております。
(記・田中達)
【観察した生き物】
◎ウミウシの仲間
　アオウミウシ、マダラウミウシ、クロシタナシウミウシ、アメフラシ
◎魚の仲間
メバル、ウミタナゴ、クサフグ、ダイナンギンポ、クジメ、ナベカ、ボラ、メジナ、イソギンポ、キヌカジカ
◎ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間
　マナマコ、ムラサキウニ、イトマキヒトデ、クモヒトデ、バフンウニ、サンショウウウニ、ヤツデヒトデ、クモヒトデの仲間
◎ホヤの仲間
　シロウスボヤ
　◎エビ、カニの仲間
　ヒライソガニ、クロフジツボ、イワフジツボ、カメノテ、イシガニ、イソガニ、オウグガニ、マツハモガニ
◎貝やイカ、タコの仲間
　スガイ、コシダカカンザシ、イシダタミ、ヒザラガイ、ウノアシ、マガキ、ヒメケハダヒザラガイ、ヘナタリ、カモメガイ、イボニシ、マツバガイ、ウミニナ、オオヘビガイ、キクノハナガイ、ナミマガシワ、ヨメガサ、マダコ
◎ゴカイの仲間
ヤッコカンザシ、エゾカサネカンザシ、ミズヒキゴカイ
◎クラゲやイソギンチャクの仲間
　ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、ミズクラゲ、アカクラゲ、カギノテクラゲ
◎カイメンの仲間
　ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン
◎海草類
ヒジキ、ワカメ、アナアオサ、ヒライボ、イシゲ、タンバノリ、アラメ、ウミウチワ、ヒョウノヒモ
◎その他
　生痕化石、フナムシ、イソヘラムシ、ヒラムシの仲間
【観察会の様子】

【左】危険な生き物の説明

【右】何か見つかるかな

【行事名】「クサフグの集団産卵を見よう」

【日　時】 2016年6月4日(土)　15:00～16:00
【場　所】 南知多町 聖崎公園
【天　気】 晴れ
【担　当】大矢(晃)、田中(達)
【参加者】 一般18名(大人9名、子ども9名)町環境課職員1名
　　(指導員:大矢(晃)、大矢(美)、田中(達)、宮内)
【内　容】
　受付準備のため観察会開始の30分前までには海岸に到着して、クサフグの状況を見ていましたが、まばらに見ることができるだけで、事前に作成した資料のようにクサフグが集まるのか半信半疑でした。しかし、午後3時を過ぎた頃からクサフグが集まりだし、午後3時半を過ぎた頃から何かスイッチが入ったかのように一斉に産卵が始まりました。押し寄せる波のリズムに合わせて、クサフグは波打ち際を行ったり来たりしながら水しぶきを上げ産卵をします。クサフグの産卵がピークを迎えた頃、担当指導員の合図で波打ち際まで降りて観察をしました。一斉に産卵が始まると波打ち際は白く変色し、あれだけ警戒心の強いクサフグも、人が近づいた程度では逃げないのは本能なのでしょう。また多くのクサフグは傷だらけの状態でした。今年も無事にクサフグ産卵観察会は終了しましたが、このクサフグの集団産卵がずっと見られる環境を守って行きたいです。(記・田中達)
【観察会の様子】

【左】水しぶきを上げて産卵が始まりました

【右】クサフグの産卵の様子

【左】クサフグの産卵の様子(アップ)

【右】クサフグの集団産卵を間近で観察

【行事名】 干潟の生き物　　● 美浜町環境保全課主催

【日　時】 2016年6月19日(日) 9:30～11:45
【場　所】 美浜町JAあいち奥田農協P⇒山王川河口部の干潟、砂浜周辺
【天　気】 曇りのち雨
【担　当】 森田(博)、永田(寛)欠席
【参加者】 一般11名(大人5名　子ども6名)、町環境課職員2名
　　(指導員:浅井(一)、大矢(晃)、門脇(綾)、門脇(重)、田中(達)、永田(孝)、森田(博))
【内　容】
　前日の猛暑とは打って変って朝から小雨がぱらつきましたが、何とか観察会の開催ができました。今回の干潟の生き物観察会には、4家族、11名の参加者に集まっていただきました。指導員から今回の観察会の予定説明があり、車で山王川河口の樋門近くの駐車場まで移動します。美浜町環境保全課の担当職員に持参していただいた双眼鏡を使用したチゴガニのウェービング観察をしたのち、干潟に下りて間近でチゴガニのウェービングを観察しました。静かに待っていると辺りを警戒しながらチゴガニが現れます。ウェービング観察を十分に楽しんだのち、参加者は砂浜に移動し、アマモ場で生き物の採取を始めました。魚とり名人のA指導員の指導により四手網を使った追い込みをおこなう親子やK指導員の作成した臨時水族館を眺めている子どもたち、小さな子どもたちは砂浜にあいた穴に興味津々で、O指導員がスコップで穴を掘るとゴカイの仲間を見ることができました。それぞれが思い思いの場所で生き物の観察を満喫できたことでしょう。(記:田中達)
【観察した生き物】
◎魚の仲間
ヨウジウオ、クサフグ、スズキ、ボラ、ギンポ、メバル、キヌカジカ、クロウシノシタ、アカエイ、タケノコメバル、イダテンギンポ、マハゼ、アナハゼ、メジナ、クジメ、アサヒアナハゼ
◎ホヤ、カイメンの仲間
シロボヤ、ダイダイイソカイメン
◎ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間
ハスノハカシパン、スナヒトデ、モミジガイ
◎エビ、カニの仲間
タカノケフサイソガニ、チゴガニ、コメツキガニ、イシガニ、イソガニ、マメコブシガニ、モクズガニ、ニホンスナモグリ、アナジャコ、コブヨコバサミ、イワフジツボ、モクズガニ、クロベンケイガニ
◎貝やイカ、タコの仲間
ウミニナ、ヘナタリ、タマキビ、ツメタガイ、マガキ、ハマグリの仲間、スガイ、ハツユキダカラ(貝殻)、マダコ、ヒザラガイ、ツメタガイ
◎ゴカイの仲間
タマシキゴカイの卵、スジホシムシモドキ
◎クラゲやイソギンチャクの仲間
タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャク
◎海草類
アナアオサ
◎種子植物
アマモ
◎その他
フナムシ
【観察会の様子】

【左】観察会の予定説明

【右】ウエービング観察

【行事名】 海辺の生き物　　● 美浜町環境保全課主催

【日　時】 2016年7月3日(日) 9:30～11:30
【場　所】 美浜町富具崎港→南側の磯場に移動
【天　気】 晴れ　月齢28.0　干潮10:58(師崎)　大潮
【担　当】 森田(博)、大矢(晃)
【参加者】 一般名(大人18名　子ども23名)、町環境課職員2名
　　(指導員:森田(博)、大矢(晃)、門脇(重)、斎藤(保)、永田(孝)、降幡)
【内　容】
　朝より気温があがり暑い1日となりましたが、多数の一般参加者に集まっていただき、たいしたケガもなく観察会の開催ができました。なお、観察会が始まる前に、富具崎港内をウミガメ(アカウミガメ?)が遊泳しているのを指導員が目撃しております。
　富具崎港駐車場から南側の磯場に移動、担当の森田(博)から今回の観察会の注意事項等の説明があり、その後磯場で生き物の観察、採取を始めました。
　当初は波が荒く、波打ち際はやや危険な気がしましたが、潮が引くとともに波もおさまり、観察には絶好の状況となり、潮だまりや波打ち際で親子ともども生き物の観察、採取に夢中になっていました。
　午前11時すぎより海辺に並べたバットに集められたいろいろな生き物について説明を聞いたのち、海辺の生き物観察会は解散となりました。(記:大矢　晃)
【観察した生き物】
◎魚の仲間
　ナベカ、アゴハゼ、キヌカジカ、アミメハギ、アイナメ、クジメ、コウライヨロイメバル、メバル(幼)、カゴカキダイ(幼)、クジメ、アイナメ、アゴハゼ
◎ホヤの仲間
　エボヤ ◎ウニ、ヒトデなどの仲間
　ムラサキウニ、サンショウウニ、ハスノハカシパン(殻)、イトマキヒトデ、マヒトデ、ナガトゲクモヒトデ、マナマコ、イシコ
◎エビ、カニなどの仲間
　イソガニ、ヒライソガニ、イシガニ、ヨツハモガニ、ヤワラガニ、ヨコブバサミ、ユビナガホンヤドカリ、クロフジツボ、イワフジツボ、カメノテ、オヒラキヘラムシ、フナムシ
◎貝やイカ、タコの仲間
　マガキ、スガイ、マツバガイ、ヨメガカサ、タマキビ、アラレタマキビ、ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ウスヒザラガイ、キクノハナガイ、カラマツガイ、アメフラシ、マダラウミウシ、クロシタナシウミウシ、マダコ
◎ゴカイの仲間
　ヤッコカンザシ、ウロコムシの仲間
◎クラゲやイソギンチャクの仲間
　ミズクラゲ、ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク
◎カイメンの仲間
　ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン、ナミイソカイメン、ムラサキカイメン
◎その他
　ヒラムシ類
◎海草類
　アナアオサ、ミル、ワカメ、イシゲ、タンバノリ、オゴノリ、ヒライボ、ビリヒバ
【観察会の様子】

【左】富具崎港駐車場の受付

【右】富具崎港南側の磯場

【行事名】 山海川生き物観察　　●南知多町環境課主催

【日　時】 2016年7月16日(土) 9:30～11:40
【場　所】 山海ふれあい会館P⇒周辺用水路⇒山海川(清水橋周辺)
【天　気】 晴れ
【担　当】田中(達)、森田(博)
【参加者】 指導員9名、一般18名(大人6名　子ども12名)、町職員3名
　　(指導員:浅井(一)、大矢(晃)、門脇(重)、金内、榊原(正)、榊原(靖)、田中(達)、古川、森田(博))
【内　容】
東海地方でもそろそろ梅雨明けかと言われ始め、たいへん暑い中、6家族18名の参加者があり、昨年に引続いて2回目の山海川生き物観察会が開催されました。今回の参加者は全て南知多町内からの参加でした。
観察会開始の挨拶と予定説明ののち、山海川まで農道を歩きながら、途中途中の用水路で生き物の採集、草花や飛び交う昆虫などの観察をしながら山海川まで向かいました。周りの田んぼでは稲が順調に育っており、あぜ道ではシロツメクサが可憐な花を咲かせ、アオサギの飛翔も観察できました。
山海川までの用水路では、アメリカザリガニや変態したばかりの小さなカエルがたくさん見られ、子どもたちは夢中になって採集していました。M指導員のすくうタモ網の中の獲物が特に気になるのか、多くの子どもたちの注目の的となっていました。
山海川本流では、減水した川底に潜んでいる大きなフナや水面を行き交うハグロトンボが観察できました。ハグロトンボについては、参加者から「初めて見た。」「こんな綺麗なトンボが昔からいたのか。」などの感想が聞かれました。また、最近ではこの知多半島内でもめっきり少なくなったと言われるウマノスズクサがこの場で観察でき、参加者からは「この植物は食虫植物なのか。」などの質問を指導員にしていました。
ふと、あぜ道を見ると「紫色のシロツメクサ」が咲いているのを見つけ、気になったので後で調べてみると、ムラサキツメクサ(紫詰草)、和名ではアカツメクサとも呼ばれ、一般的には赤クローバーと言われるそうです。参加したお母さん方により即席のシロツメクサの指輪と腕輪づくり教室が開催されるなど、思い思いの楽しみ方を見つけられた観察会だったと思います。(記:田中達)
【観察した生き物】
◎水辺の植物
オモダカ、シロツメクサ、アカツメクサ、ガマ、ウキクサ、ウマノスズクサ、オニユリ、コスモス
◎魚
メダカ、ボラ、フナ、マハゼ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、ヌマチチブ、ウナギ、マドジョウ、スズキ、カワアナゴ
◎昆虫
コオイムシ、ハグロトンボ、ハグロトンボヤゴ、シオカラトンボ、ミズグモ、ジャコウアゲハ、ナミアゲハ、ガガンボ、
◎その他
トノサマガエル、ダルマガエル、ヌマガエル、テナガエビ、ヒラテテナガエビ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、ヒメヌマエビ、マルタニシ、マシジミ、サカマキガイ、イシマキガイ、クロベンケイガニ、アメリカザリガニ(要注意外来生物)
【観察会の様子】

【左】 用水路で採集

【右】何か見つかるかな

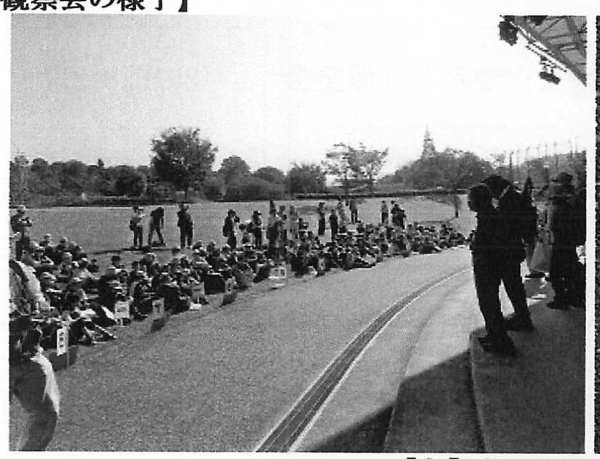
臨時の観察会

下記一覧表には、学校、役場、子ども会などの団体から自然観察会等の依頼を受け
実施したものの中からホームページにアップされたものだけを掲載しています。

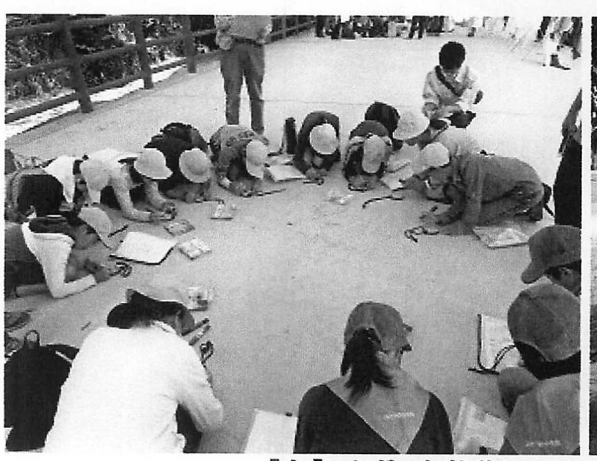
テーマ および 実施場所	主 催	実施日
知多地域みどりの少年団交歓会 （半田市運動公園）	県農林事務所・半田市	(2016. 10. 15)
横須賀新川の生き物観察	東海市生活環境課 (東海市ECOスクール)	(2016. 5. 22)
フナビオとふれあう会	東海市立船島小学校	(2016. 6. 11)
海に親しむ会 （南知多町師崎羽豆岬）	師崎小学校	(2016. 6. 20)
境川の生き物観察と水質調査	大府市環境課	(2016. 7. 31)
変わった生き物はいないかな （知多市野崎川）	八幡生き物みどり保全会	(2016. 8. 21)
上野新川で生き物を調べよう	東海市生活環境課 (東海市ECOスクール)	(2016. 8. 21)
加木屋緑地の生き物を調べよう	東海市生活環境課 (東海市ECOスクール)	(2016. 9. 4)

【行事名】 2016年度(平成28年度年度) 知多地域 みどりの少年団交歓会

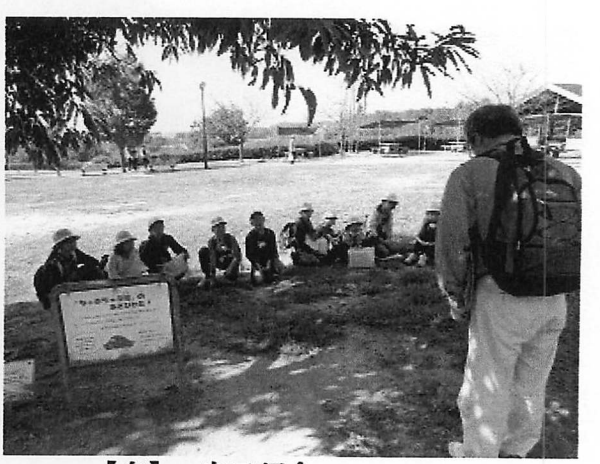
【日　時】 2015年10月15日(土) 9:00～12:00
【場　所】 半田市運動公園
【天　気】 快晴
【担　当】知多自然観察会・半田市会員
【参加者】　151名(みどりの少年団員126名、引率15名、市町担当者10名)
　　(指導員:南川・森田琢・中井三・榊原正・田中央・畠・門脇・山田和・桑原・吉房・吉川勉・浅井一・降幡・加藤・竹内秀・平松裕・森下保「・森下栄・鈴木汎・石川・鈴木樹・榊原靖)
【内　容】
　毎年恒例になっている行事で、知多地方の全てのみどりの少年団が集まるイベントです。みどりの少年団は地方公共団体が援助して運営され、それぞれの団体ごと緑の自然を増やすために活動しています。
　好天で暑さを感じるような日になりました。公園は広く、一部、大きなため池があり変化に富んでいる環境であるがほとんどが人工林であるが東部の一部に松林からヒサカキを中心とした照葉樹林が残っている環境でした。そんな中、それぞれ班に分かれたグループは思い思いの場所で生き物との出会いを楽しみながら活動できました。
　活動の日程は次のとおりです。
09:00　受付　　(ふれあい広場)
09:30　開会式(ふれあい広場)⇒主催者挨拶(半田市)⇒代表挨拶(南川代表)⇒予定説明(榊原正)⇒危険な生き物(竹内秀)
09:45　園内各所に班別別に移動
11:20　班別記念撮影・閉会式(芝生広場)⇒閉会挨拶(林務課長)
12:00　解散 みどりの少年団ごとに自由に昼食(半田市運動公園)
【観察会の様子】



【左】 朝から好天の中、開会式
【右】 豪華プレゼント⇒半田市ガイド、メモ帳、雨合羽、観察カップ、名札プレート(木の輪切)、ボールペン



【左】 まず、名札作り



【右】　自己紹介

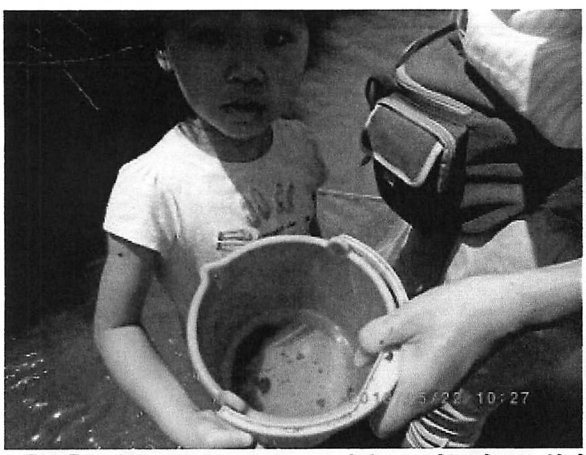
【行事名】「横須賀新川で生き物を調べよう」　東海市エコスクール

【日　時】 2016年5月22日(日) 9:30～11:00
【場　所】 横須賀新川
【天　気】 晴れ
【担　当】南川
【参加者】 36名　男性20人　女性16人(子供:男子12人・女子8人)
　(指導員:田中(央)・浅井(一)・水野(恭)・南川)
【内　容】
今年は穏やかな晴天に恵まれて、絶好の川の観察日和となりました。ガサガサ好きの方々がタモとバケツを手に持って集まって見えました。市の職員の方が東海市を流れる川の現状と自然環境についての説明があり、観察会を代表して田中さんが川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項を説明して現場に行きました。梯子から川に入るはじめの冒険後、子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になりタモに入った生き物を嬉しそうにバケツに入れたりし、川のあちらこちらで感激や感性の声をあげて楽しんでいました。今年は例年より種類多く見られた。特にウナギの幼魚が、いつもより多く見られ、この川では初めてのアユの幼魚も見つかりました。参加者の皆さんが身近な自然を体験できた川の観察会になりました。 ある男の子が「川を岸から見ていると、何も見えないがこんなに多くの生き物が居るのだなあー」と話しかけて来てくれたのに心を打たれました。(記:南川)

【観察した生き物】
◎さかな
アユの幼魚、ウナギ、ウナギの幼魚、ボラの幼魚、ウロハゼ、マハゼ、ゴクラクハゼ、ヌマチチ、アユカケ
◎その他
モクズガニ、ベンケイガニ、テナガエビ、イシマキガイ、カワニナ、シジミ、ミドリガメ(幼)
【観察会の様子】

【左】観察会についての挨拶

【右】川の様子　思い思いに観察しています



【左】おさかな取れたよ　小さなハゼとボラの幼魚

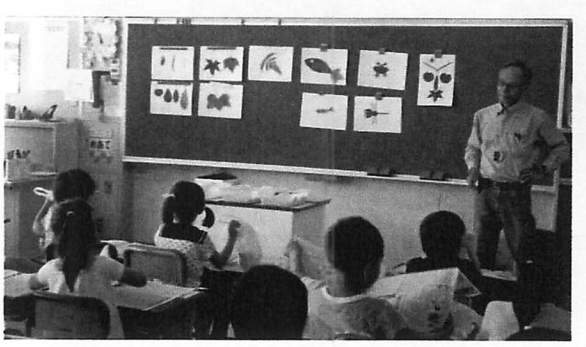
【右】 捕れた生き物を紹介します

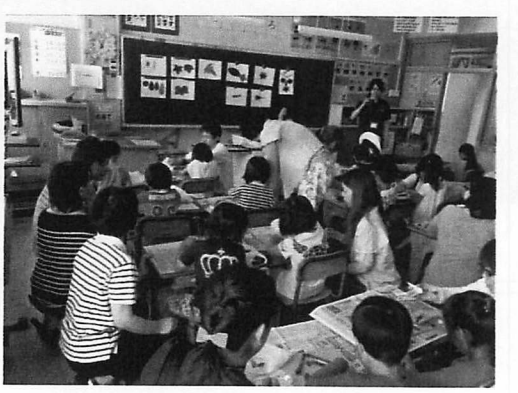
平成28年度　フナビオとふれあう会報告書

【行事名】　フナビオとふれあう会
【日　時】　2016年6月11日　9：30～12：00
【場　所】　舟島小学校
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松俊、岩崎
【参加者】　生徒256名　教師10人　（1年生～5年生）
　　指導員：平松俊・岩崎・森田琢・畠・降幡・古川・浅井（一）・南川（知多自然観察会関係）
【内　容】今年も天候に恵まれて、絶好の観察会日和となりました。会議室にて担当の先生と指導員が打合せして、校長先生の挨拶を後、各学年の代表の生徒が指導員を迎えに来てくれ、各学年別に講座内容ごとに分かれて観察と講座に入りました。各講座ごとに観察・講義を終えてまとめ終了後会議室に集まり、校長先生から最後の挨拶が受け、予定の観察会と講座を今年も無事に終えた。
【講座内容】

学年	主な内容	講師	単元・主題名	人数
1年生	・ネイチャゲーム ・自然物工作	吉鶴　弥生 森田　琢磨	フナビオとなかよくなろう （草花遊び、自然とふれあう）	４４
2年生	・草花や生き物の観察 ・しおり作り	畠　烈	フナビオと仲良くなろう （草花や生き物の説明）	５４
3年生	・生き物観察 陸生生物（昆虫） 水性生物	平松　俊彦 降幡　光宏	私たちの身近な環境・ビオトープの生き物（生き物を調査して、生き物の名前を覚える）	４８
４年生	・生き物観察 野鳥観察	古川　明正 岩崎　光明	樹木地図を作ろう	４７
５年生	・田植え ・川の生き物観察	深谷　若美 浅井　一光	集まれ、地域の生き物	６６
６年生	・水質調査	市生活環境課	フナビオの水を守る	

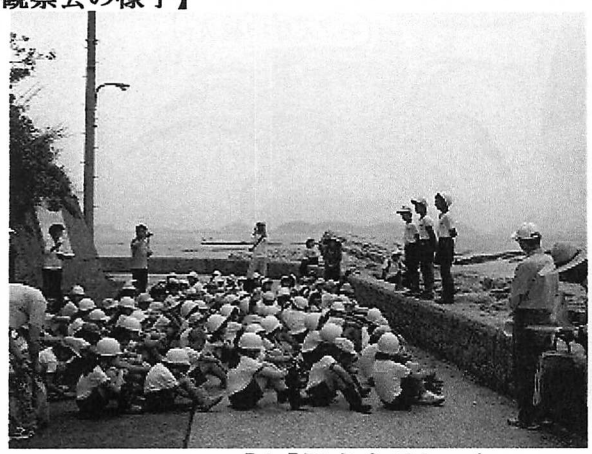
【各学年観察・講座内容】
◎１年生「フナビオ工作」　担当：森田琢磨
校内ビオトープで集めた木の葉、木切れ、どんぐりなどを使って父兄と一緒に図工工作を楽しみました。
卒園後約２ケ月を経た子供たちはもう、立派な小学生になっていました。



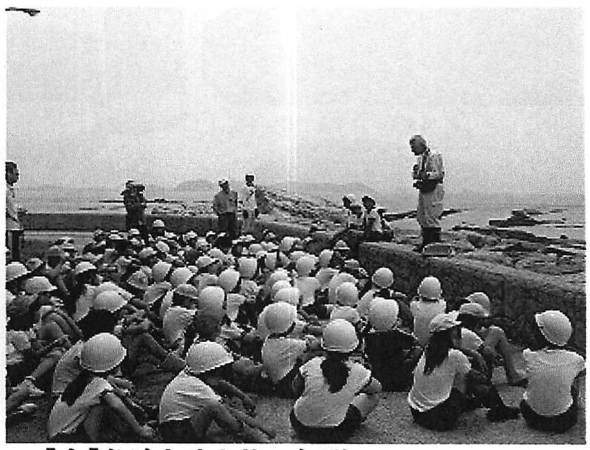


【行事名】「海に親しむ会」　　●南知多町立師崎小学校

【日　時】2016年6月20日(月)　10:40～12:15　大潮(師崎港干潮12:52)
【場　所】南知多町師崎羽豆岬海岸
【天　気】曇りのち晴れ
【担　当】森田(博)
【参加者】児童88名 (6班 顧問6名)
　　(指導員:森田博、大矢美、岩本妙、田中達)
＋県水産(漁業生産)研究所職員2名
【内　容】
師崎小学校主催の「海に親しむ会」は、地域の海辺にすむ生き物や自然、産業について、学んだり親しんだりする活動を通して、環境問題やその保全について考え、自然豊かな郷土を愛する心豊かな児童を育てること、なかよし班での活動を通して、学年の枠を越えた人間関係を育てることを目的として、毎年、この時期にこの海岸で開催されています。
前日の天気予報ではとても暑くなるとの予報でしたが、薄曇りで海辺の観察をするにはよい天候となりました。指導員から危険な生き物の紹介ののち、班ごとに分かれて講師の示した観察拠点を中心として、なかよし班での観察が始まりました。磯は滑るから走らないように、危険な生き物がいるから素手では絶対に触らないよう注意しましたが、誰ひとりとして勝手な行動をする児童は見られませんでした。それどころか、低学年の児童がなかなか生き物を見つけられず悪戦苦闘していると、高学年のお兄さん、お姉さんが優しく手を引いて教えている姿が見られました。
講師による解説を班ごとにおこない、講師に生き物について質問している瞳は輝いていました。怪我人もなく無事に「海に親しむ会」を終えることができホッとしています。(記:田中達)
【観察した生き物】
◎魚の仲間
　メジナ、ヘビギンポ、イソギンポ、ハオコゼ、ナベカ、アゴハゼ、ハゼの仲間
◎ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間
マナマコ、イシコ、ヤツデヒトデ、ムラサキウニ、イトマキヒトデ、クモヒトデ、バフンウニ、サンショウウニ、クモヒトデの仲間
◎エビ、カニの仲間
ヒライソガニ、クロフジツボ、カメノテ、イシガニ、オウギガニ、ヨツハモガニ、ババガセ、ワレカラ、ヨコエビの仲間
◎貝やイカ、タコの仲間
スガイ、ヒザラガイ、ウノアシ、マガキ、マツバガイ、オオヘビガイ、マダコ、キクノハナガイ、トコブシ、ヒメケハダヒザラガイ、ナミマガシワ、アメフラシ、マダラウミウシ、シロウミウシ、クロシタナシウミウシ、ミスガイ、サザエ、イボニシ、ハナマルユキ(貝殻)
◎ゴカイの仲間
　ヤッコカンザシ、クマノアシツキ、オトヒメゴカイ、エゾカサネカンザシ、ウミシダの仲間
◎クラゲやイソギンチャクの仲間
ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、アカクラゲ、ミズクラゲ
◎カイメンの仲間
ダイダイイソカイメン、ムラサキカイメン
◎海草類
ヒジキ、ワカメ、イシゲ、ミル、ピリヒバ
◎その他
フナムシ、シロボヤ、マンジュウボヤ、ヒラムシの仲間
【観察会の様子】



【左】児童会長あいさつ



【右】危険な生き物の解説

大府市観察会

(行事名)「境川の生き物観察と水質調査」

(日　時)2016年平成28年7月31日(日)午前9時30分

(集合場所)大府市神田公民館

(実施場所)境川清水橋付近

(天　気)晴

(参加者)(大人17名)(小人21名)

(指導員)1.門脇 2.金内 3.吉川洋行 4.今西美根子

神田公民館職員 大府市環境課職員

(内　容)

おはようございます。天気も良いし、皆さんやる気満々いいですね。子供たちもグーで、熱中症とケガに気をつけてゴーゴーです。子供たちの元気な声です。タモに何か入ったとの声、エビだあ、魚だあウナギだあとメダカだあ、カニだぞうと元気な声、皆んながンバたなあ熱中症もケガもなく良かったなあ

大きな◎だぞうで打ち上げです。

金内

(観察出来た生き物は以下です)

(魚類)在来種、1.ウナギ、2.マハゼ、3.チチブ、4.ヌマチチブ、

外来種、1.オオクチバスを(ブラックバス)と言う、2.ブルーギル、3.カダヤシ。在来種、5.ウキゴリ、6.クロメダカ、

(貝類)在来種、1.マシジミ、外来種、なし、

(甲殻類)在来種、1.モクズガニ(小さい稚ガニ)、2.テナガエビ、外来種、なし、

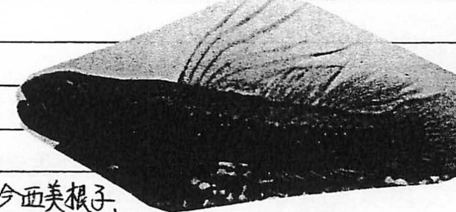
(水性昆虫)在来種、1.アメンボ、2.ヒメガムシ、(甲殻類)在来種、ヌマエビ、ミゾレヌマエビ、

(爬虫類)在来種、なし、外来種、1.ミシシッピーアカミミガメ、

(両生類)在来種、外来種、なし、

(その他)なし、

在来種、魚類、(チチブ)



(在来種、魚類)【マハゼ】

(在来種、貝類)シジミ貝

(在来種、魚類)ウナギ、

ヒメガムシ　体長10～12mm。全体に黒くて、つやがある。コガムシに似るが、体が小さい。前胸の前べりに、点の列が1対ある。前ばねには、不明瞭な4本の点の列がある。夏のころ、池や沼にいて、灯火にもくる。本州～沖縄。

(クロメダカ)(在来種、魚類)

(在来種、魚類)【ヌマチチブ】

(ウキゴリ)(在来種、魚類)

在来種、甲殻類(テナガエビ)

在来種(モクズガニの稚ガニ)甲殻類ち 小さい。

アメンボ　マツモムシとは反対に、中あしと後ろあしで水の上をすばやく走りまわる。

(外来種、魚類)オオクチバス(ブラックバスと言う)

(外来種、魚類)カダヤシ

(外来種・魚類 ブルーギル)

(外来種・爬虫類)(ミシシッピーアカミミガメ)

知多市観察会

【行事名】変った生き物はいないかな

【日　時】2016年(平成28年)8月21日(日)

【集合場所】寺本集会所.主催者.八幡生き物みどり保全会。

【実施場所】野崎.川中流域の上流

【天　気】晴たり雲ったり

【参加者】(大人10名)(小人20名)

【指導員】1.吉房2.中井康夫3.金内

【内　容】

こんにちは.今日は天気も良いし皆んな元気良くいざ川へ水深はおうむね30cm前後で上流へ下流へとシーシージャゴ.ジャゴとたもあみをのぞけば.おーおハゼだカメだ.あちこちであっドジョウだ、ザリガニだ.おなんだシジミだ.あこれはなんだ.ゲンコロウだと、元気いっぱい、いいネ.笑顔がステキ.それにこの川では今まで見た事ないタイリクスズキ、ウキゴリ.スミウキゴリ、ゴクラクハゼなどもいた.タニシなどもいたりで良かった、皆んなケガなどもなくて良かったです。以上。

【観察出来た生き物は以下です】

【魚類】1.マハゼ.2.タイリスズキ.3.ウキゴリ.4.ドジョウ.5.ゴクラクハゼ.6.スミウキゴリ、7.カダヤシは北アメリカのメダカです→外来種.

【貝類】1.マシジミ.2.カワニナ.3.マルタニシ.4.

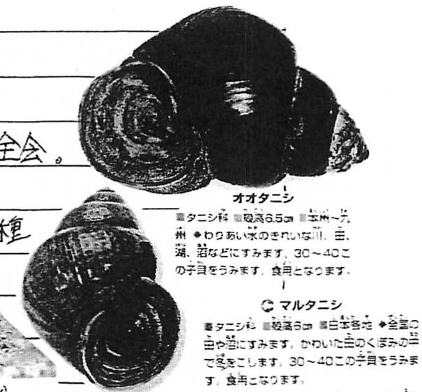
【甲殻類】1.アメリカザリガニ→外来種.

【水性昆虫】1.ハイイロゲンゴロウ.2.シオカラトンボヤゴ(幼虫).3.

【爬虫類】1.ニホンイシガメ.→在来種.

【両生類】1.ツチガエル.

【その他】



オオタニシ

■タニシ科 ■殻高6.5cm ■本州～九州 ◆わりあい水のきれいな川、田、湖、沼などにすみます。30～40この子貝をうみます。食用となります。

マルタニシ

■タニシ科 ■殻高6cm ■日本各地 ◆全国の田や沼にすみます。かわいた田のくぼみの土で冬をこします。30～40この子貝をうみます。食用となります。

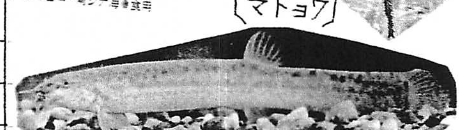
スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

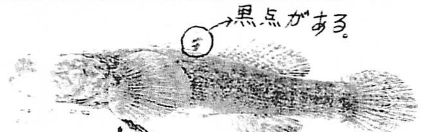
■リンゴガイ科 ■殻高6cm ■本州以南 ◆南米原産。食用にするために、1981年に日本に持ちこまれました。養殖池からにげ出して各地の水田にすみ、イネの苗を食い荒らして害をあたえています。濃いピンク色のたまごをうみます。

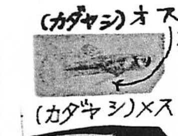
タイリクスズキ（スズキ科）

沿岸の浅い海や、汽水にすみます。日本では、西日本の沿岸部で養殖されています。●80cm

シオカラトンボ(幼虫)







ハイイロゲンゴロウ　体長約14mm。全体に灰色がかって見える。前胸に横にならぶ紋や、前ばねの先の横帯などは黒いが、彩、大きさに変化がある。平地の池や沼、プール、貯水池、水田、小川などにいる。本州～沖縄。

ツチガエル　無尾目アカガエル科

■体長37～53mm ■ロシア沿海州南部から朝鮮半島 ■日本各地 ◆背中にたくさんのイボがあり、捕まえるといやなにおいを出します。平地から低山地の水辺

知多自然観察会報告書

【行事名】　「上野新川で生き物を調べよう」　　東海市エコスクール
【日　時】　2016年8月21日（日）9：30～11：30
【場　所】　上野新川　（舟島小学校の前にて）
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川
【参加者】　３５名　（ 大人16名　・子供19名）
　　指導員：浅井（一）・水野（恭）・畠・森田（琢）・南川
【内　容】　今年の夏は特に酷暑が続き、暑さ対策等を心配されたが薄日が差す天候となり、川の観察日和となりました。ガサガサ好きの方々がタモとバケツを手に持って集まって見えました。市の職員の方が東海市を流れる川の現状と自然環境についての説明があり、観察会を代表して浅井さんが川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項を説明し観察に入りました。梯子から川に入るはじめの冒険後、子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になりタモに入った生き物を嬉しそうにバケツに入れたりし、川のあちらこちらで感激や感性の声をあげて楽しんでいました。今年は昨年見られたフナは見られず、ドジョウもかろうじて1匹であったが、大きなウナギが（30ｃｍ～40ｃｍ）3匹捕まり、こんなところにも、大きなウナギがいるのだね！と感嘆されていた。最近ではあまり体験できない川の観察会になりました。　（南川）

【観察した生き物】

（さかな）

ウナギ４匹、ドジョウ１匹、モツゴ、ウキゴリ、ビリンゴ、カダヤシ

（その他）

モクズガニ、テナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、ヌマガエル、ヤゴ（シオカラトンボの）、イシガメ、クサガメ、ミシッピアカミミガメ、オケラ、

＊この川の生物は年度ごとに変化があり生物の種類が安定しない。その都度（年度事）生息している川の生物に変化があり生物の固定化、固有化がされてない傾向があるのはなぜだろう？川の環境変化が多すぎるのか？・・調査する必要が考えられる。水量、水質の変化。川の中の植生変化等・・・・・

（２０１５年度はフナ・ドジョウ・ハゼ仲間・メダカ・タモロコ等が多く見られたが）

【観察会の様子】

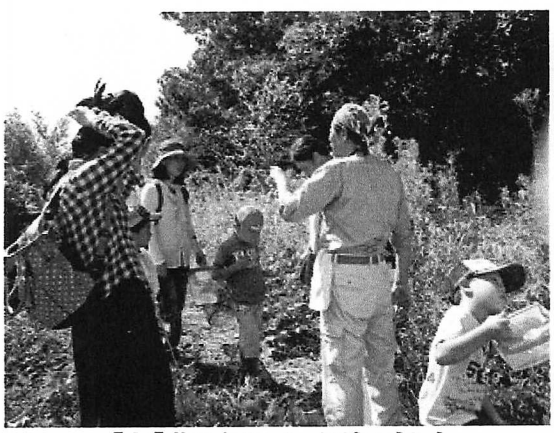
川の観察会はハシゴを使って始めの１歩

川の様子　思い思いに観察

【行事名】 東海市エコスクール「加木屋緑地の生き物を調べよう」

【日　時】 2016年9月4日9:30～11:30
【場　所】 東海市加木屋緑地
【天　気】 晴れ
【担　当】平松俊、降幡、南川、森田琢、岩崎
【参加者】 一般21名　市職員4名
　　(指導員:平松俊、南川、岩崎、伊藤岱)
【内　容】
　天気予報は曇りのち雨、心配しましたが晴れて暑くなりました。降幡さん、森田さんが欠席でハラハラしました。しかし伊藤さんが穴埋めしてくれ助かりました。第一駐車場付近で市生活環境課、花と緑の推進課のあいさつ、説明後注意事項を説明して御雉山周辺から観察を始めました。途中で御雉山について市の説明を受けました。御雉山観察後第一駐車場北の林の中を観察しました。昨年8月と異なりカブトやクワガタは全く見られず、子供たちはがっかりです。最後に林の下の図賀奈池周辺を観察しました。トンボやバッタなど最も多く昆虫が見つかり、子供たちにやっと笑顔が戻りました。最近珍しくなったマイコアカネも見つかりました。虫かごに集めた虫の名前と場所を調べ観察会を終了しました。スズメバチが多く見られ心配しましたが無事に終わってホッとしています。(記・平松俊)
【観察した生き物】
◎昆虫
　ヤマトシジミ(c)、ムラサキシジミ(a)、ウラギンシジミ(a)、キチョウ(abc)、ナミアゲハ(c)、クロアゲハ(c)、ナガサキアゲハ(a)、アオスジアゲハ(ac)、ゴマダラチョウ(a)、サトキマダラヒカゲ(b)、チャバネセセリ(b)、モンサシトンボ(a)、シオカラトンボ(c)、ナツアカネ(a)、マイコアカネ(a)、ウスバキトンボ(ac)、ギンヤンマ(a)、カトリヤンマ(a)、ショウリョウバッタ(abc)、オンブバッタ(ac)、クルマバッタモドキ(a)、マダラバッタ(a)、イボバッタ(ac)、ヒシバッタ類(bc)、キリギリス(声)(c)、クビキリギス(a)、クサキリ(b)、ツユムシ(a)、エンマコオロギ(ac)、ミツカドコオロギ(声)(c)、ツヅレサセコオロギ(声)(c)、アオマツムシ(声)(b)、シロテンハナムグリ(c)、クロウリハムシ(c)、アブラゼミ(c)、クマゼミ(声)(b)、ツクツクボウシ(b)、アオバハゴロモ(a)、キオビツチバチ(bc)、コガタスズメバチ(bc)、スズバチ(a)、クロヤマアリ(ac)、アリ類(c)、ヤブカ類(abc)、キンバエ類(b)、ニクバエ類(b)
　a・b・cは見つけた場所⇒　　a:図賀奈池周辺　　b:林の中　　c:御雉山周辺(第一駐車場含む)
◎鳥
　サンショウクイ(10羽)、キジバト、モズ、カワセミ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ハシブトガラス(伊藤氏より)
【観察会の様子】

【左】 観察会開始の挨拶　　【右】同じく


【左】草むらにバッタがいました

【右】ハチが樹液を吸っています。

調査活動 & 結果

【11】受託調査(2016年4月契約)…契約担当:南川, 平松俊

・委託機関　　東海市
・受託団体　　知多自然観察会
・受託業務名　　太田川等の生物調査
・調査期間　　2016年4月～2017年3月まで
・調査に関わる契約内容(一部抜粋)… 以下の通り

実施予定日	調査の対象 及び 実施予定回数	担当指導員
4月、10月～3月	太田川等生物調査 鳥類 大池公園 7回	神野
4月、10月～3月	太田川等生物調査 鳥類 土留木川河口部 7回	岩崎
4月下旬～10月	太田川等生物調査 魚類 太田川河口部 3回	原
4月下旬～10月	太田川等生物調査 魚類 太田川中流部 3回	原
4月下旬～10月	太田川等生物調査 魚類 横須賀新川 3回	原
6月、8月、10月	太田川等生物調査 水生昆虫 上野台公園 3回	平松俊
4月下旬～10月	太田川等生物調査 水生昆虫 太田川中流 1回	榊原靖
4月下旬～10月	太田川等生物調査 水生昆虫 横須賀新川 1回	榊原靖
4月下旬～10月	太田川等生物調査 水生昆虫 信濃川 1回	榊原靖
4月下旬～10月	太田川等生物調査 水生昆虫 土留木川河口 1回	榊原靖
4月下旬～10月	太田川等生物調査 水生昆虫 渡内川 1回	榊原靖
各四半期	太田川等生物調査 水生植物 名和新池 4回	降幡

・調査報告　結果は担当指導員が個別に、直接、委託機関へ提出 (※知多自然観察会には報告できない)

【10】東海市緑陽公園予定地の生き物調査(2016年調査)…担当:平松俊

1. 調査目的 … 昨年と同様

2. 調査計画
・1回目　4月24日(日)13:30～
・2回目　7月10日(日)13:30～
・3回目　10月　9日(日)13:30～

3. 調査結果
・1回目 → ここ
・2回目 → 担当者の都合で中止
・3回目 → 同 上

【9】東海市緑陽公園予定地の生き物調査(2015年調査)…担当:

【行事名】 調査活動－緑陽公園予定地生き物調査①

【日　時】 2016年4月24日(日)13:20～15:40
【場　所】 東海市　緑陽公園予定地
【天　気】 薄曇り
【担　当】 平松俊
【参加者】　3名
　　(指導員:平松俊、南川、浅井一)
【内　容】
　薄曇りで風の弱い暖かい日になりました。13:15に現地に到着、参加者を待ちました。13:30頃南川さんと浅井さんが来てくれて3人で調査を始めました。しかし私は左ひざと右の腰が痛く、歩くのもままならぬ状態で、駐車場東の高台へ上るのがやっとのことで、新池へ下りる坂道は二人に任せ、車で新池東の広場に回り車を止めて、平坦部だけ調査しました。したがって十分な調査はできませんでした。私の代わりがいなければ調査は今回で打ち切りにしたいと思います。すみません。高台付近で多くの虫が見つかりました。追跡調査対象種についてはヒゲナガハナノミ、クロヒメクビボソジョウカイともに見つかりましたが去年たくさん見つかったナナフシモドキ幼虫は見つかりませんでした。(記・平松俊)
【観察した生き物】
◎昆虫
ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、キチョウ、アゲハ、アオスジアゲハ、クロハネシロヒゲナガ、キバラゴマダラヒトリ、キリギリス幼虫、クビキリギス、ウスチャコガネ、ナナホシテントウ、サビキコリ、コガタルリハムシ幼虫、ヒゲナガハナノミ、ナガメ、ウズラカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒメヘリカメムシ、ヒメジュウジナガカメムシ、ヒメアメンボ、ヤチガガンボ、ホソヒラタアブ、ヤチバエ類、ニクバエ類、セスジハリバエ、カブラハバチ類、オスグロハバチ、セイヨウミツバチ、ハナバチ類、クロヤマアリ、

これまでの観察会へ　　トップページへ

発 表 の 場　（ http://chitakan.com/renraku/index.html ）

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

タ イ ト ル	投稿者 & 投稿日
【緬茄 & 象牙椰子 … 不思議な木の実 】	榊原正躬（平成28年1月14日）
【コンデジで蜘蛛(クモ) の接写 】	田中和夫（平成28年3月18日）
【サンショウウオの卵-発見 】	浅井一光（平成28年4月2日）
【有脇小学校にパネル寄贈 -ため池の魚 】	金内　力（平成28年4月14日）
【 ルナリア-大きな翼果…昔の園芸植物？ 】	中井三従美（平成28年5月18日）
【 タウナギ（田うなぎ）がいた 】	榊原正躬（平成28年6月22日）
【 カヤネズミ(茅鼠) の巣 】	榊原正躬（平成28年7月6日）

会員の発表の場への投稿は少ない。発表の場はこのページだけでなく、掲示板（http://chitakan.com/bbs2/imgbbs.cgi）もあるが、ここへの投稿は2016年は０（ゼロ）であったため、本年報には掲載できなかった。

ＳＮＳが進み掲示板は、既に、ＳＮＳではなくなり、本会員のなかにも魅力的なFacebookへはこまめに投稿している人もいる。また一方、Facebookに登録したものの頓挫している人もそれ以上にいる。

このページへの投稿もなくなるかも知れないが、掲示板のページと共に、当分の間は自然にかかわる貴重な情報記録として…このまま残して置こうと思っている。

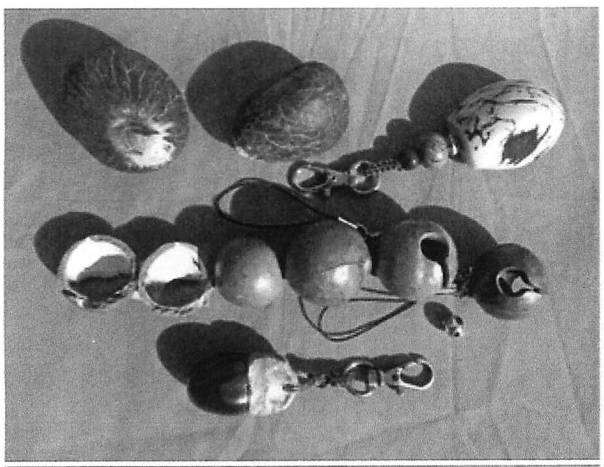
でありますので、投稿意欲のあります方は、是非、ご投稿を…(^_^)/~

象牙椰子（ぞうげやし）と 緬茄（メンガ）

先日(2016.1.9)の“持ち寄り会”では表題の「象牙椰子」と「緬茄」の話が、それなりに、盛り上がった。
普通ならば無視されるような話題であるが、ドングリや松ぼっくりにでも、ついつい、興味を示しちゃうような指導員の集まりなので、それなりの話題となったということでしょう。
それで、この象牙椰子と緬茄に私(榊原正)は、益々、興味が湧きましたので、ネットで更にチェックし、以下のようにまとめてみました。
多分にマニアックですが、これらの実は、ホント、不思議ですので是非ご覧あれ…。
※果実の常識を超えている？…(^o^)/~

2016.1.14 アップ

【持ち寄り会に関連して】 ※ここの6枚の写真…クリック→ビッグサイズ



【左】話題になった木の実の細工物。　上段…象牙椰子。中断…マカダミアナッツ。　下段(1ヶ)…緬茄

【中】象牙椰子。右端(1ヶ)…会員の作品　【右】右端の鈴…会員の作品→出席者へのお土産になった

コンデジのマクロでハエトリグモ

下記メールが届きました(2016.3.18 着)ので会員の皆様にも紹介します。

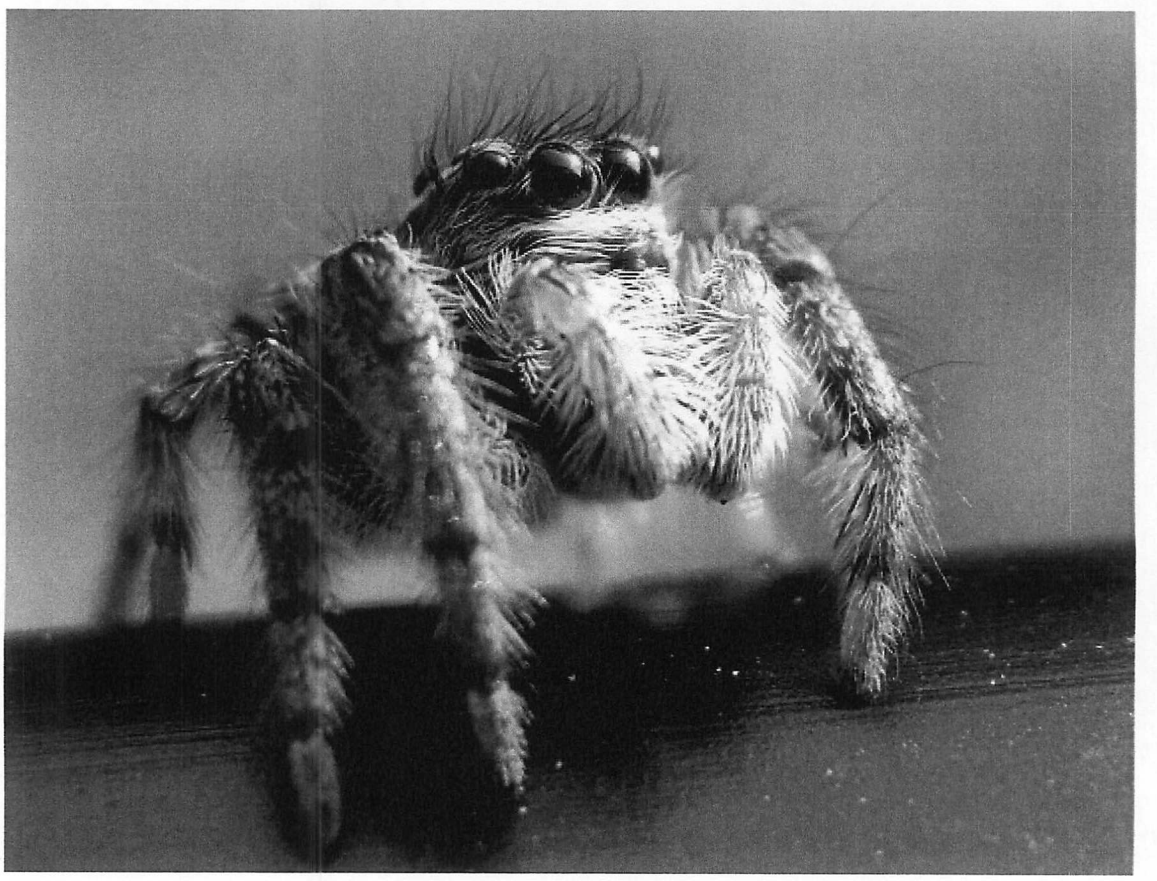
※ *このようにメールで届けば私(榊原正躬)がアップしますので送付下さい。*

---------- 記 ----------

田中和夫です

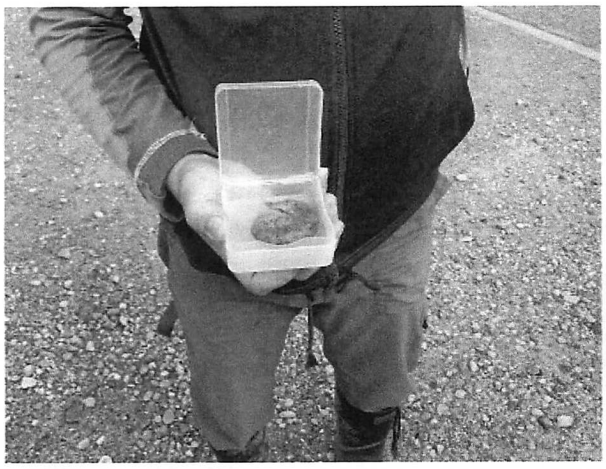
(※本文に続き…)
＊おまけ画像:コンデジのマクロでハエトリグモを撮ってみましたら意外とよく写ったので見てください。
体長は1cm程ですが、眼が夕日に輝いていて、ちょっと感動しました。

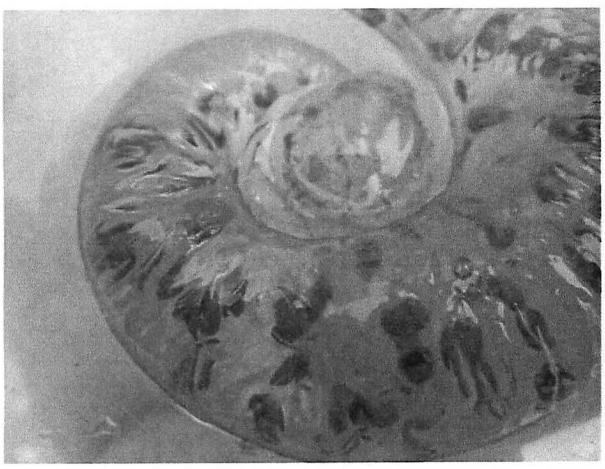
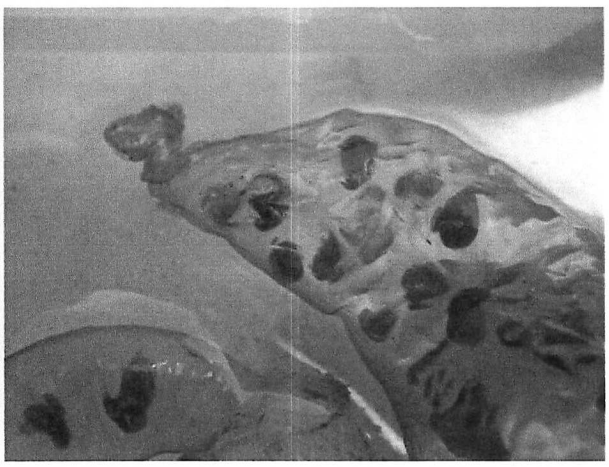
※ 写真クリック→巨大サイズの写真



サンショウウオの卵を持ってきた

本日(2016.4.2)、東浦の観察会の集合場所に浅井一光氏がサンショウウオの卵を持って来ましたので紹介します。



※当然のことながら、観察会終了後、生育場所に戻しに行きました。

金内氏、新聞に載る　－有脇小にパネル寄贈－

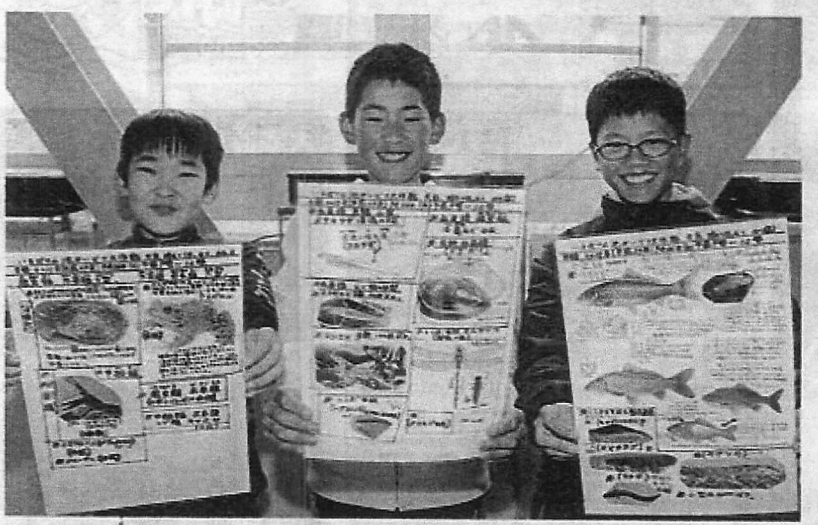
本日(2016.4.14)、中日新聞(朝刊)知多版のトップに知多自然観察会々員金内氏の下記記事がありましたので紹介します。

※ ホームページアップ：榊原正躬

中日新聞（朝刊）
2016年(平成28年)4月14日(木曜日)　知多 16

ため池の魚 特徴知って

金内さん 半田・有脇小にパネル寄贈



半田市の有脇小学校に、地元のため池に生息する魚を紹介するパネルが展示されている。池のかいどりに合わせて調査した成果を、知多市岡田の知多自然観察会員、金内力さん(七三)がパネルに仕立てて計十枚を寄贈した。金内さんは「子どもたちが魚や自然環境に関心を持ってくれたらうれしい」と話す。（三宅千智）

かいどりは、ため池の管理の一環で水を抜き、底泥やごみの除去、外来種の駆除、護岸の補修にあたる。併せて生物の観察や調査もする。

有脇小学校区では、地元の「有脇の農地・水・緑を守る会」が二〇〇七年から学区内の五つのため池で順番に実施。一四年は大洞池、一五年は私廻間池であり、私廻間では地元住民四百五十人が参加した。

パネルは、守る会代表の石川紘二さん(七三)＝半田市稲穂町＝が記録した魚の種類や数を参考に、金内さんがコイ、ウシガエルをはじめ、ため池に生息する在来種と外来種の特徴をまとめた。魚の写真も添えて図鑑風に仕上げた。一枚縦三十七㌢、横二十六㌢でラミネート加工されている。

有脇小には学校区の二つのため池の生物を紹介する七枚に加え、市内の他のため池の分も二枚届けた。

昇降口の水槽近くには、私廻間池のデータをまとめた二枚を掲示。水槽のメダカやハゼは金内さんが持ち込み、児童が育てている。六年生の石川周平君(一二)は「地元にすみついている魚について詳しく知れる」とパネルを笑顔で眺めた。

金内さんが作ったパネルを手にする有脇小の児童たち＝半田市有脇町で

知多版

T寺山門
村松　順道
あざみの会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

半田支局　〒475-0903
半田市出口町1－45－18
0569-21-0021　Fax23-2372
中部空港支局　〒479-0881
常滑市セントレア1－1
0569-38-1310　Fax38-1311
東海通信局
0562-32-0240　Fax33-5065
大府通信局
0562-46-2668　Fax46-6833
常滑通信局
0569-35-2248　Fax36-0040
内海通信部
0569-62-0055　Fax64-0005

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800　Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

大口式インプラント
骨をドリルで削らない手術です。
院長 大口弘が「お口の健康」をお守りします
診療科目／一般歯科、矯正歯科、歯科口腔外科
自由診療／大口式38万円～、ドリル式28万円～
※一部症例除く
大口弘歯科クリニック
岐阜市県町1-6 岐阜駅前 交通至便
TEL 058-264-4180
http://www.oguchi-dental.jp

※ 記事面をクリック→拡大（文字が大きくなります）

ルナリア(Lunaria annua)

過日(2016.5.14)の知多自然観察会役員会場で、中井三従美さんが紹介したした植物です。
パッと見、何ら目立つような花ではないのですが、その果実の状態をよく見ると、今までの体験にない、珍しいものと直感しましたので皆さんにも紹介します。
(当然、園芸植物です。ただし、田舎の道ばたでも見たことはない…あったとしても目立たなく気づかないかも…)
なお、中井さんがこの花壇の持ち主に種名を尋ねたら"コバンソウ(小判草)"と呼んでいたとのことでした。

写真提供:中井三従美　　ホームページアップ:2016.5.18 榊原正躬

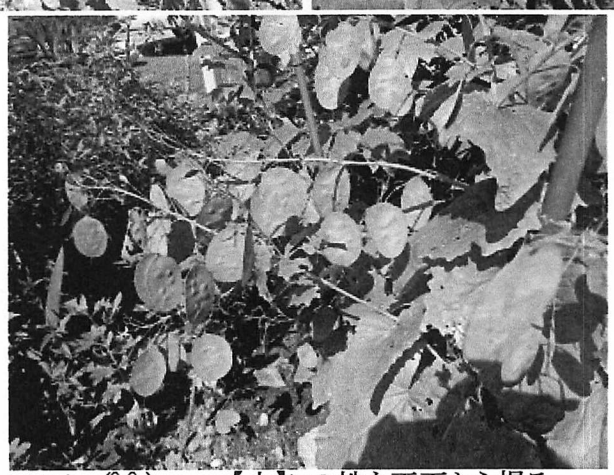
いつものように、帰宅後、ネットでチェックしたところ、この果実のドライフラワーが利用されるようですが、当然ながら、私は見たことがありません。
下記に示す「その他の名前」はこのドライフラワーが由来でしょう。

ルナリア

・和名…ゴウダソウ(合田草)

・その他の名前
ギンセンソウ(銀扇草)、オオバンソウ(大判草)、
マネープラント、コインプランツ、マニーツリー(Money tree＝マネーツリー)

写真クリック→ビッグサイズの写真



【左】葉と実が分かりにくいので…(^_^;)　　【中】この株を正面から撮る　　【右】実(果実)を近くから撮る

＜以下の写真について＞

タウナギ（田ウナギ）初めて捕獲

田ウナギは私にとっては初めてですので皆さんにも紹介します。※要らぬお節介かも…(^_^;)

本日（2016.6.22）、半田市環境課が請け負った乙川小学校からの「稗田川、平地川の生きもの」観察会（環境課の出前講座）へ助っ人として参加した。
そこで、ウナギと違う「うなぎもどき…」が獲れた。タウナギか？と思ったが、今まで一度も見たことがないので、『ウナギみたいだけどウナギじゃないよ…』という説明で終わった。当然、『おじさん（私）も初めて見たよ…』とも言いました。

生物多様性の観点からすれば、この川は極めて貧弱な川であるが、時にはこんなこともあるんだ…と、自然の何でもありに感心した次第です。

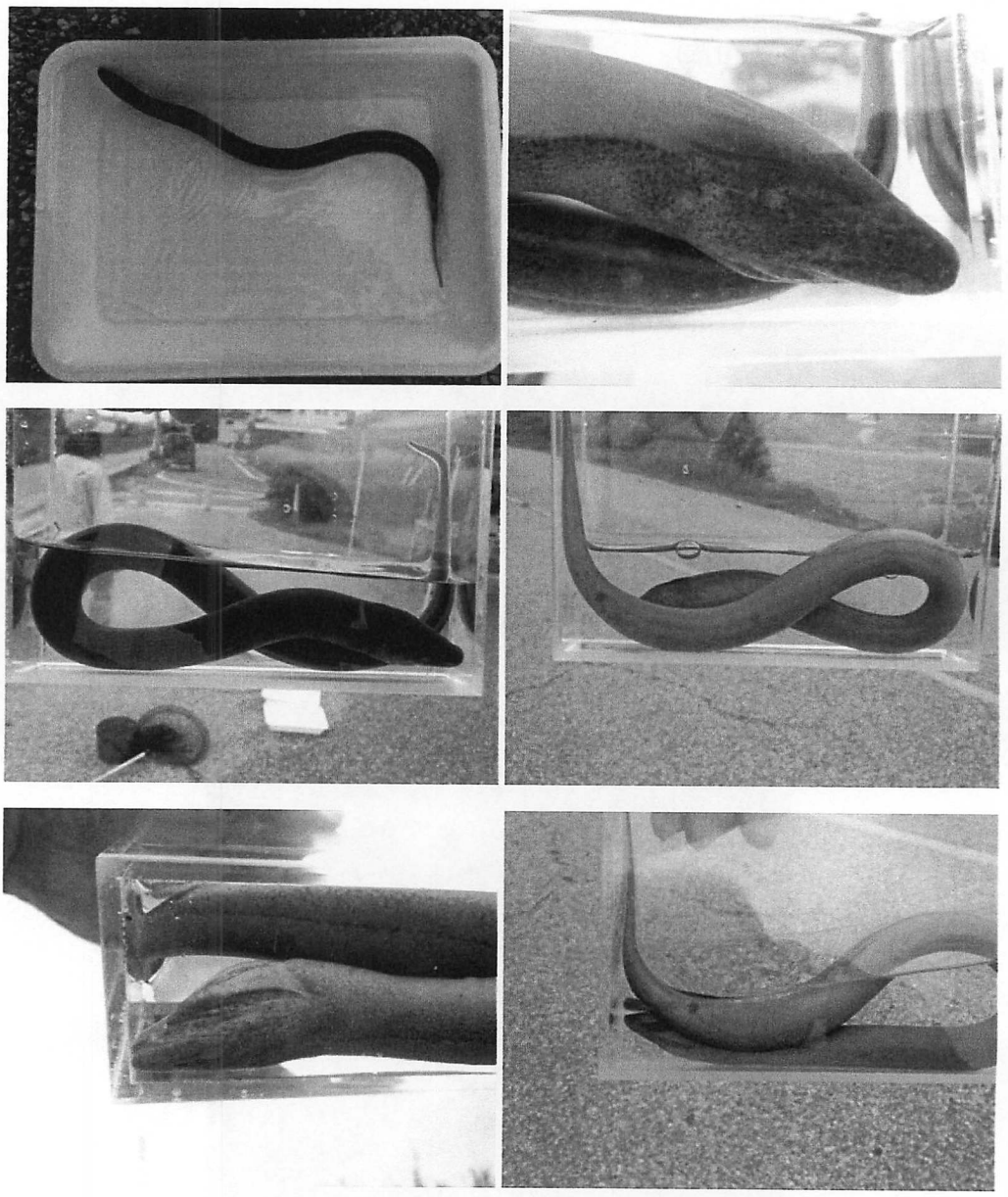
普通ならば、このようなお手伝い（助っ人）では写真は1枚も撮らないが、さすがに、終了後に獲りまくった。

（※ 榊原靖氏から同定に関しクレームがこなければ、このままの状態を継続）

以下がその写真です。コメントは付けません。

（撮影：2016.6.22）

※ 写真クリック→ビッグサイズの写真



カヤネズミ(茅鼠)の巣

先日、2016(H28)年7月2日の東浦の自然観察会で"カヤネズミの巣"を見ました。
本会員の皆さんの中には、「見たことあるよ」という人が、まま、いますが、私にとってはそんな記憶がない(あったとしてもすっかり忘れている)状態でしたので、この機会を逃さずしっかり撮ってきました。
毎度のことながら、多分にお節介ですが、若干のコメントをつけての紹介となります。

撮影:2016(H28)年7月2日(榊原正躬)　※ Webアップ:2016年7月6日

【左】目ざとい会員が「あれ、何か判る?」という。普通は気づかない　【右】望遠機能で撮るとこんな感じ

【左】近づいて真下から撮る。巣の位置は地上2mぐらいか　【右】巣を近づけて撮る。※写真クリック→拡大

※ 以下は、すべて、Webからの拝借

頭胴長 54～79mm、尾長 47～91mm、体重 7～14gの日本では一番小さなネズミである。青森県、秋田県、岩手県などの東北地方や南西諸島においてはまだ発見されていない。それ以外の地域では少しずつ発見の報告があり、東京都町田市など比較的都心に近い場所での発見例も多い。

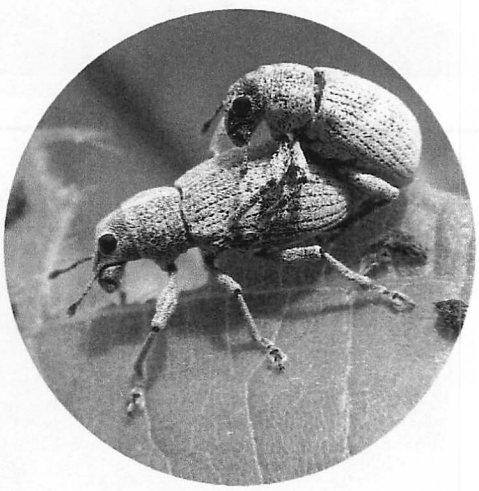
編　集　後　記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させて頂きます。

さて、今回も編集面では特別大きな変化はありません。古くから年報に携わってみえた方はお気づきのことと存じますが、この数年、会員へ今回の“年報に掲載するための記事”やイラストなどを募集していません。従って内容は編集にあたって…に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページの「掲示板」「会員個人の発表」のページはできるだけ投稿どおりに掲載するように心がけました。なお、掲示板や会員個人の発表のページに投稿したいが“やり方”が分からないという方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはＯＫです。ただし、内容含め構成については今後とも要検討です。　　（年報担当：榊原正躬）



平成29年1月10日　　作成
連絡先　知多自然観察会
代表　南川陸夫
r-minami@ktf.biglobe.ne.jp

メヒシバ群落でツチイナゴの脱皮
2016.10.2 半田市内にて